はしがき

この年報は、平成３０年度末における本市の消防現況を総合的に収録し、広く紹介したものです。

ただし、火災統計、救急救助統計および通信統計は暦年で表し、組織は、平成３１年４月１日現在で掲載しております。

この年報が、本市の消防事情を広く知っていただくための一助となれば幸いです。

令 和 元 年 ６ 月

秋 田 市 消 防 本 部

目　　次

◎　秋田市消防の概況

○　秋田市の概要 ---------- 1
○　秋田市消防のあゆみ ---------- 2
○　市勢と消防の現況 ---------- 11
　　消防組織図 ---------- 12
　　消防機関の配置 ---------- 13
○　火災の実態 ---------- 14
○　予　　防 ---------- 17
○　危 険 物 ---------- 22
○　救　　急 ---------- 24
○　救　　助 ---------- 28
○　通信指令 ---------- 30
○　消 防 団 ---------- 32
○　防　　災 ---------- 34

◎　資料

1　［総　　務］
○　消防建物 ---------- 37
○　消防職員
　　消防職員配置状況 ---------- 38
　　消防職員勤務年数 ---------- 38
　　消防職員年齢 ---------- 39
　　消防職員研修状況 ---------- 39
　　消防職員給料 ---------- 40
　　勤務時間・勤務体制 ---------- 40
　　消防特殊業務手当 ---------- 40
○　予　　算（歳出決算額）
　　年度別市一般会計予算と消防予算（歳出決算額） ---------- 41
　　人口に対する消防費 ---------- 41

2　［警　　防］
○　装　　備
　　消防車両等の配置状況 ---------- 42
　　消防車両等現有状況 ---------- 43
○　水　　利
　　消防水利の状況 ---------- 45
　　消防水利施設年度別整備状況 ---------- 45
○　消防相互応援協定 ---------- 46

○　救　　助
事故種別出動件数および活動件数 ---------- 47
事故種別救助人員および車両別搬送人員 ---------- 47
事故種別出動人員および活動人員 ---------- 47
事故種別出動車両台数および活動車両台数 ---------- 48
事故種別発生場所別出動件数および活動件数 ---------- 48
建物火災における消防隊出動状況 ---------- 49

3　［救　　急］
○　救　　急
月別救急活動状況 ---------- 50
年齢別・傷病程度別・不搬送別救急取扱状況 ---------- 51
救急隊別出動状況 ---------- 52
現場到着所要時間別出動状況 ---------- 52
救急隊別・病院別搬送人員状況 ---------- 53
救急高度化の推移 ---------- 54
心肺停止傷病者搬送における救急救命士の対応状況 ---------- 54
応急手当普及啓発活動状況 ---------- 55

4　［予　　防］
○　予　　防
防火対象物数および立入検査状況 ---------- 56
防火管理者選任対象物状況 ---------- 57
月別建築物等確認申請、計画通知処理状況 ---------- 58
消防用設備等の着工届状況 ---------- 58
火災予防条例による諸届出 ---------- 58
中高層建築物調 ---------- 59
○　危 険 物
危険物施設数の推移 ---------- 60
危険物施設等の事務処理状況 ---------- 60
危険物施設の許認可状況 ---------- 61
危険物許認可手数料等徴収状況 ---------- 62

5　［火災統計］
○　火　　災
火災発生状況比較 ---------- 63
月別火災発生状況 ---------- 64
建物火災（用途別）状況 ---------- 66
建物火災の用途別出火原因 ---------- 68
気象別火災発生状況 ---------- 70
季別火災発生割合 ---------- 71
時間別火災発生状況 ---------- 71
曜日別火災発生状況 ---------- 71
平成30年中の主な火災 ---------- 72
過去3年間の火災原因比較 ---------- 74

過去5年間の男女別・年齢別死者数 ---------- 75

6 ［通信指令］
○ 消防総合通信指令システム
指令運用・支援情報 ---------- 76
電話通信設備 ---------- 76
無線通信 ---------- 76
○ 通信統計
災害通報総件数 ---------- 77
災害通報119総件数 ---------- 78
固定電話通報件数 ---------- 79
ＩＰ電話通報件数 ---------- 80
携帯電話通報件数 ---------- 81
119番外通報件数 ---------- 82
月別通報件数 ---------- 83
出動指令状況 ---------- 84
指令外出動状況 ---------- 84
口頭指導状況 ---------- 85
問い合わせ状況 ---------- 85
119番外通報内訳件数の推移 ---------- 86
災害通報総件数の推移 ---------- 86
通報件数の推移 ---------- 87

7 ［消 防 団］
○ 消防車両等機械器具の配備状況（非常備）
消防団機械・人員等配備状況 ---------- 88
消防団員勤務年数 ---------- 89
消防団員年齢 ---------- 89
消防団員異動状況 ---------- 90
消防団員の年報酬および費用弁償額 ---------- 90
消防団消防ポンプ自動車配置状況 ---------- 91
消防団小型動力ポンプ付積載車配置状況 ---------- 91
消防団器具置場および小型動力ポンプ配置状況 ---------- 99

8 ［防 災］
○ 防 災
秋田市総合防災訓練実施状況 ---------- 113
避難看板設置状況 ---------- 114
自主防災組織結成状況 ---------- 114
指定緊急避難場所/指定避難所一覧・案内図 ---------- 115
津波警報サイレン吹鳴装置 ---------- 133
秋田市緊急救援物資備蓄状況 ---------- 134
○ 秋田市災害年表 ---------- 135

秋 田 市 の 概 要

1　位置、気象

東経140度06分13秒、北緯39度43分12秒（市役所）、日本海に面して秋田県のほぼ中央に位置し、北西の季節風が強く、春から夏にかけては日本海側特有のフェーン現象による南東の風が強く吹き、冬季積雪量は市街地で約0.5メートル、山村部で約1.0メートル、厳寒期の最低気温は零下10度に達する気象状況であります。

面積等

面　　積	東　　西	南　　北
906.07　Km^2	43.03　Km	46.20　Km
海　　抜　（市役所）　6.95m		

2　変　　遷

秋田の地が行政的役割を果たすのは、天平５年（733）に大和朝廷が蝦夷の地であった秋田を律令国家に組み込み、出羽国の政治、軍事、文化をとりしきるために秋田城を設けた時からとなります。

中世には日本海一円を制覇した安東（秋田）氏が、日本最古の海事法規集「廻船式目」で、三津七湊の一つに数えられた土崎湊（現在の秋田港）を、日本海海運の拠点として北国廻船の隆盛を築きました。この時代に秋田の経済、文化発展の基礎が築かれたとも言われています。

藩政期になって日本海を南下し下関、瀬戸内海を経て大阪に到る西回り航路が開通すると、土崎湊は直接上方市場と結びつき、往来する帆船は「北前船」と呼ばれ日本経済の大動脈となりました。

慶長７年（1602）常陸太田（茨城県）の城主佐竹義宣が、関ヶ原の戦いで中立的な立場をとったことにより秋田に国替となり、同９年、久保田城（現在の千秋公園）を築城し、約270年にわたって秋田は佐竹氏の城下町として栄えました。市内中心部のまちの構造は、城下町時代の町割りがその原型となっています。

明治22年（1889）全国38の市制施行地の一つとして「秋田市」が誕生しました。当時の戸数は約6,600戸、人口約29,300人、市域は6.9平方キロメートルで現在の132分の１でありました。以来、先人たちのたゆまぬ努力により幾多の困難を克服し、輝かしい歴史を築いてきました。

日本海のなだらかな海岸線に面し、太平山の緑濃い山並みに抱かれ、雄物川、旭川、岩見川が静かに流れる「自然豊かな」秋田市は、人、まち、くらしをともにつくり、ともに生きることを基本理念とし、豊かで活力に満ちたまち、緑あふれる環境を備えた快適なまち、健康で安全安心に暮らせるまち、家族と地域が支えあう元気なまち、人と文化をはぐくむ誇れるまちを目指しています。

秋 田 市 消 防 の あ ゆ み

昭和23. 3　秋田市消防本部発足、秋田、土崎常備消防部を秋田、土崎消防署と改組した。
〃　初代消防長に猪股量造が就任した。
〃　秋田市消防団設置条例設定。秋田消防団12分団526人、土崎消防団５分団293人とした。
24. 10　消防職員定数を122人とした。
12　秋田市火災予防条例、秋田市危険物保安条例を制定した。
〃　消防職員定数122人を126人とした。
25. 3　保戸野大火が発生した。
4　消防職員定数126人を154人とした。
9　消防職員定数154人を155人とした。
11　第２代消防長に坂本秀雄が就任した。
26. 1　秋田消防署電話交換台一斉指令装置を設置した。
6　秋田市隣接町村消防応援協定を締結した。（河辺郡和田町外14ヵ町村）
11　秋田市消防団設置規則公布、新屋分団を消防団とし、３団、22分団819人とした。
10　消防職員定数155人を161人とした。
27. 4　消防職員定数161人を160人とした。
28. 1　第３代消防長に手賀義雄が就任した。
10　秋田市消防関係条例、規則の改廃を行った。分遣所を出張所と改称した。
29. 10　周辺12か村を秋田市に合併。秋田市消防団を１団、16地区隊、75分団、定数2,138人とした。
〃　消防団長に小泉四郎が就任した。
30. 1　南秋田郡金足村を秋田市に合併し、1団、17地区隊、83分団、定員2,361人とした。
〃　消防無線局を開局した。（中短波）
3　国家消防本部から秋田市消防本部、秋田市消防団に表彰旗が授与された。
〃　消防長事務取扱に助役藤井喜太郎が就任した。
5　第４代消防長に伊藤千代吉が就任した。
31. 3　金足地区隊５分団を３分団とし、１団、17地区隊、81分団、定員2,361人とした。
5　消防職員定数160人を169人とした。
32. 3　秋田県市町村非常勤消防団員等公務災害補償組合に加入した。
33. 3　放水長制度を定め24人を選任した。
34. 1　消防団地区隊内の分団合併により、１団、17地区隊、65分団、定員1,867人とした。
3　消防団運営に関する規程を制定。顧問制を設け初代顧問に小玉孝次郎、鈴木伝八、藤井雄治、穂積孝悌の４人が就任した。
4　水防倉庫を太平、中島に建設した。
6　消防職員定数169人を175人とした。
35. 5　消防出張所の名称を方位名から地名に変更した。
6　秋田消防署手形出張所を新築開所した。

37. 1　消防無線局を変更開局した。（超短波無線）
　　3　火災予防条例を全部改正した。
　　〃　土崎消防署寺内出張所を新築移転した。
　　6　消防職員定数175人を185人とした。
　　〃　秋田消防署新屋出張所に消防車1台、職員10人を増配置した。
　　12　消防団長に阿部広治が就任した。
38. 4　救急病院10か所を指定し、救急車１台、救急隊員８人で救急業務を開始した。
　　6　消防職員定数185人を188人とした。
　　10　消防長事務取扱に第二助役斎藤石雄が就任した。
　　12　秋田消防署牛島出張所を新築開所した。
39. 11　消防本部と秋田消防署を八橋字片田添に新築移転した。
　　〃　旧秋田消防署庁舎に秋田消防署保戸野出張所を開所した。
　　〃　秋田消防署川尻出張所を廃止した。
　　〃　秋田市地域防災計画を作成した。
40. 4　消防団を改組（地区隊を分団、分団を部、部を班に改称）し、１団、30分団、
　　定員1,669人とした。
　　〃　第５代消防長に中山正一が就任した。
　　〃　消防団長に銭谷小太郎が就任した。
　　8　秋田消防署保戸野出張所を保戸野愛宕町に新築移転した。
　　12　屈折梯子付消防ポンプ自動車（15m級）１台を秋田消防署に配置した。
42. 4　「秋田市職場家庭防火の日」を毎月10日と定めた。
43. 8　消防副士長を階級制とした。
44. 4　消防職員定数188人を191人とした。
　　10　船舶火災の消火に関する秋田海上保安部と秋田市消防本部との業務協定を交わした。
45. 5　専任救急隊を秋田消防署に編成した。
　　12　救急指令センターを開設した。
　　〃　土崎消防署を土崎港西三丁目に新築移転した。
46. 9　秋田空港における航空機事故に対する消防救難活動に関する協定を締結した。
47. 3　秋田消防署長野下出張所を南通宮田に新築移転した。
　　〃　消防職員定数191人を200人とした。
　　5　消防本部に庶務、警防の２課を設置した。
48. 4　消防職員定数200人を215人とした。
　　6　火災予防条例を全部改正した。
　　10　小型動力ポンプ付積載車６台を消防団に配置した。
　　11　土崎消防署将軍野出張所を土崎港東四丁目に新築開所した。
　　12　梯子付消防ポンプ自動車（32m級）１台を秋田消防署に配置した。
　　〃　消防ポンプ自動車２台を消防団に配置した。（計画台数10台）
49. 4　消防職員定数215人を224人とした。
　　6　秋田県下消防本部相互応援協定を締結した。（17消防本部）

49.11　救助工作車1台を秋田消防署に配置した。
50.４　消防職員定数224人を226人とした。
51.３　消防署の望楼監視を廃止した。
４　第６代消防長に越後谷忠光が就任した。
〃　消防職員定数226人を228人とした。
〃　救急業務規程の全部を改正した。
52.３　石油コンビナート防災用大型化学車、大型高所放水車、泡原液搬送車各１台を土崎消防署に配置した。
４　消防職員定数228人を232人とした。
５　消防団組織を改正し、１団、25分団、56部、130班、1,604人とした。
〃　消防団長に辻兵吉が就任した。
53.４　消防職員定数232人を238人とした。
〃　消防本部に予防課を新設し、警防課を警備課と課名を改称して３課とした。
８　消防団員服制要綱を制定し、袢天を略服に改めた。
54.３　秋田消防署保戸野出張所を保戸野中町に新築移転した。
４　消防職員定数238人を240人とした。
55.４　秋田消防署長野下出張所を廃止し、城東消防署を手形字西谷地に署員42人を配置し、新築開署した。
〃　秋田消防署の屈折梯子付消防ポンプ自動車（15m級）を城東消防署に移動配置した。
〃　消防職員定数240人を243人とした。
56.４　消防職員定数243人を245人とした。
６　秋田空港における航空機事故に対する消防救難活動に関する協定を再締結した。
57.３　照明電源車１台を城東消防署に配置した。
４　第７代消防長に畠山吉次が就任した。
59.４　秋田消防署牛島出張所を隣地に新築移転した。
〃　第８代消防長に近藤政義が就任した。
〃　消防職員定数245人を250人とした。
〃　消防本部に防災対策室を新設し、３課１室とした。
６　津波警報用サイレン３基（下浜長浜公民館・向浜事業所・雄物川左岸）を新設した。
10　秋田市地域防災計画を全面修正した。
12　秋田消防署新屋出張所を新屋比内町に新築移転した。
60.４　消防団員の定年等に関する要綱を制定した。
〃　消防職員定数250人を253人とした。
５　消防職員安全衛生管理規程を制定した。
６　危険物の規制に関する規則を制定した。
９　当市初の幼年消防クラブを結成した。
11　消防本部、秋田消防署庁舎を改築した。
12　消防警防規程を制定した。
〃　消防通信規程を制定した。

60.12　消防本部に通信指令課を新設し、４課１室とした。
61.３　土崎消防署寺内出張所を隣地に新築移転した。
12　泡消火薬剤備蓄タンク（20kℓ）を土崎消防署に設置した。
62.４　消防署配置の司令車を廃止し、通信指令課に指令車を配置した。
〃　４週６休制の試行を開始した。
〃　消防本部にファクシミリ専用加入電話を設けた。
８　大雨洪水により、市内各河川が氾濫し災害対策本部を設置した。
10　消防長が姉妹都市（パッサウ市）提携３周年記念式典に出席のため西ドイツを訪問した。
12　屈折梯子付消防ポンプ自動車（25m級）１台を秋田消防署に配置した。
〃　秋田消防署の梯子付消防ポンプ自動車（32m級）を城東消防署に移動配置し、屈折梯子付消防ポンプ自動車（15m級）を廃車した。
63.９　消防団員の定年等に関する規程を制定した。
12　秋田消防署の救助工作車をクレーン付救助工作車に更新した。
平成元.３　城東消防署手形出張所を廃止し、城東消防署広面出張所を広面字堤敷に新築移転した。
４　４週６休制を開始した。
２.１　消防本部毎日勤務部署の土曜（第２、第４）閉庁を開始した。
４　第９代消防長に菅原貞治が就任した。
６　火災調査規程を制定した。
〃　消防団長に加賀屋三郎が就任した。
８　秋田市地域防災計画を全面修正した。
３.２　秋田消防署勝平出張所を新屋勝平町に新築開所した。
４　第10代消防長に中山富治が就任した。
〃　警備課を警防課と課名を改称し、救急救助係を設置した。
６　通信指令課指令台と無停電電源装置（ＣＶＣＦ）の接続工事を施工完了した。
７　秋田自動車道消防相互応援協定を締結し、覚書を交わした。
８　職員任用規程を廃止した。
４.４　消防職員定数253人を291人とした。
〃　秋田南消防署を御野場二丁目に新築開所し、署員36名、クレーン付救助工作車等を配置した。
５　当市消防本部初の救急救命士が誕生した。
７　第21回東北地区支部消防救助技術指導会を秋田市八橋運動公園で開催した。
８　隔日勤務部署の４週７休制を開始した。
９　消防長が姉妹都市（蘭州市）提携10周年記念式典に出席のため中国を訪問した。
12　土崎消防署大型高所放水車を梯子付消防ポンプ自動車(40m級)兼高所放水車に更新した。
５.１　毎日勤務部署の４週８休制を開始した。
３　消防職員および機械器具の定数等に関する規程を廃止した。
４　第11代消防長に桜田博道が就任した。
〃　消防団長に長谷部周治が就任した。
〃　秋田消防署に高規格救急自動車を配置し、救急救命士が搭乗、運用を開始した。

５.11　秋田県広域消防相互応援協定を締結した。(18消防本部)
６．３　秋田市消防団旗を更新した。
　４　消防職員定数291人を340人とした。
　〃　秋田消防署新屋出張所を新屋分署とした。
　〃　土崎消防署に高規格救急自動車を配置し、救急救命士が搭乗、運用を開始した。
　〃　土崎消防署に水難救助車を配置した。
　12　秋田県広域消防相互応援協定の再締結を行い、覚書を交わした。
　〃　一般市民に対しての普通、上級救命講習会を開始した。
７．４　第12代消防長に細部　勲が就任した。
　〃　城東消防署に高規格救急自動車配置し、救急救命士が搭乗、運用を開始した。
　９　高規格救急自動車および救急救命士の愛称を市民から募集し、それぞれ「ドルフィン」「ネオセイバー」に決定した。
　〃　緊急消防援助隊秋田県隊代表機関として、秋田市消防本部が登録された。
　〃　水難救助隊員認定制度を開始した。
　〃　第一製薬株式会社から高規格救急自動車１台を寄付受納した。
　10　隔日勤務部署の４週８休制を開始した。
　〃　秋田消防署に調査担当員２人を配置した。
　〃　本部原調車を配置した。
　11　秋田市消防救助隊員資格認定要綱を策定施行し救助隊員の認定登録制度を開始した。
８．３　秋田マリーナに津波警報サイレンを1基増設した。（計４基）
　〃　災害監視システム整備工事を完了した。
　４　土崎消防署飯島出張所を飯島前田表に新築開所し、所員12人、普通消防ポンプ自動車１台を配置した。
　〃　防災対策室が市長部局へ配置替えとなる。
　〃　第１級陸上特殊無線技士を通信指令課に配置した。
　〃　消防署に調査係を設置した。
　10　秋田市消防本部消防職員委員会に関する規則を制定した。
　12　緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練が初めて開催された。
９．３　通信指令課の災害地点検索装置を更新した。
　〃　消防団員の定年等に関する規程を改正し、団員の定年を65歳にするとともに、任用資格の上限を45歳に引き上げた。
　４　土崎消防署の普通消防ポンプ自動車を救助工作車兼消防ポンプ自動車に更新した。
　〃　第13代消防長に高橋 弘が就任した。
　〃　庶務課を総務課に、通信指令課を指令課と課名を改称した。
　〃　消防本部予防課に調査係を設置した。
　５　平成９年度、総務庁から交通事故における一般市民による応急手当普及促進方策のためのモデル地区事業の委託を請けた。
　12　資機材搬送車を新規購入した。
10．２　新屋救急を災害対応特殊救急車（高規格救急車）として更新した。

10. 2　後方支援車を新規購入した。
　　3　救急指揮支援車を新規購入した。
　　4　自動車電話・携帯電話からの119番通報受信（代表受診）を開始した。
　　〃　ファックスによる119番通報受信を開始した。
11. 3　秋田市地域防災計画の第16次修正を行った。
　　4　第14代消防長に高橋秀夫が就任した。
　　〃　消防団長に中泉松之助が就任した。
　　〃　秋田県消防防災ヘリコプターの救助隊員として職員２人を派遣した。
　　〃　消防職員定数340人を355人とした。
　　7　土崎消防署外旭川出張所を外旭川字八幡田に新設開所し、所員12人、普通消防ポンプ自動車１台を配置した。
　　12　秋田市消防計画を作成した。
12. 2　財団法人日本宝くじ協会から救急普及啓発広報車１台を寄付受納した。
　　8　緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練を新屋旧空港跡地で開催した。
　　10　国際消防救助隊編成協力市町村として登録した。
13. 3　通信指令システムを更新し消防総合通信指令システムとして運用開始した。
　　4　第15代消防長に佐藤正敏が就任した。
　　〃　国際消防救助隊員として職員８人が登録された。
14. 4　警防課の救急救助係を救急係と係名を改称した。
　　11　城東消防署広面出張所に高規格救急自動車を配置し、救急救命士が搭乗、運用を開始した。
15. 4　第16代消防長に畠山　茂が就任した。
　　〃　消防本部に救急課を新設し、５課とした。
　　〃　消防団員定数を1,544人とした。
　　〃　署および分署の係制から職および事務分担制とした。
　　8　秋田市消防職員姉妹都市等交流国際研修のため職員をアメリカ合衆国アラスカ州キナイ半島郡に派遣した。
　　10　ドイツ・パッサウ市秋田市長公式訪問に職員が同行し、パッサウ市を訪問した。
　　〃　秋田県民共済から広報１を寄付受納した。
16. 3　秋田消防署の救助工作車Ⅱ型をⅢ型に更新した。
　　〃　秋田消防署保戸野出張所を廃止し、秋田消防署本署へ編入した。
　　〃　秋田市地域防災計画の第17次修正を行った。
　　4　第17代消防長に藤枝　禮助が就任した。
　　12　ＩＰ電話からの119番通報受信を開始した。
17. 1　消防職員定数355人を400人とした。
　　〃　河辺町、雄和町を秋田市に合併し、消防団組織を１団、32分団、定数2,204人とした。
　　6　救命ボート（船外機付）１隻を新たに外旭川出張所に配備した。
　　9　第一ファルマテック株式会社から高規格救急自動車１台を寄付受納した。
　　12　自動車電話・携帯電話からの119番通報（直接受信）を開始した。

18. 2　財団法人日本消防協会から秋田市消防団指揮車の寄贈を受けた。
　　4　市町合併に伴い、指令システムの一元化を行うとともに、河辺戸島に「無線中継所」を設置し、運用を開始した。
　　〃　新たに女性消防団員３人を採用し、団本部に配置した。
　　7　秋田市御所野下堤五丁目地内に秋田市消防訓練場を整備した。
　　〃　一般消防職員によるＡＥＤの運用を開始した。
　　9　気管挿管認定救急救命士の運用を開始した。
19. 1　第18代消防長に石川勝直が就任した。
　　2　薬剤投与認定救命士の運用を開始した。
　　4　消防救助規程を制定した。
　　〃　高度救助隊を設置し運用を開始した。
　　〃　女性消防団員２人を採用し団本部に配置した。
　　9　第62回国民体育大会（秋田わか杉国体）、第７回全国障害者スポーツ大会（秋田わか杉大会）消防特別警戒を実施した。（９／28～10／９、10／13～10／15）
20. 4　女性消防団員５人を採用し、団本部に配置した。
　　12　土崎消防署の高規格救急自動車を更新した。
21. 2　土崎消防署の化学消防ポンプ自動車を更新した。
　　4　第19代消防長に加藤哲実が就任した。
　　〃　消防団員定数を2,100人とした。
　　〃　女性消防団員４人を採用し、団本部に配置した。
　　12　城東消防署の高規格救急自動車を更新した。
22. 1　城東消防署の化学消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車に更新した。
　　2　城東消防署広面出張所の消防ポンプ自動車を更新した。
　　3　土崎消防署の指揮車を更新した。
　　〃　統合型位置情報通知システムの運用を開始した。
　　4　第20代消防長に佐藤賢治が就任した。
　　7　女性消防団員３人を採用し、団本部に配置した。
　　8　キナイ半島郡交流訪問団を受け入れた。
　　〃　秋田消防署勝平出張所の外壁改修工事（第２期）を実施した。
　　9　秋田消防署の屈折はしご付消防ポンプ自動車を更新した。
　　〃　土崎消防署飯島出張所の屋上防水工事（第２期）を実施した。
　　11　秋田消防署新屋分署の消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車へ更新した。
　　12　城東消防署広面出張所の高規格救急自動車を更新した。
23. 1　秋田消防署牛島出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新した。
　　3　総務省消防庁から支援車の無償貸与を受けた。
　　4　第21代消防長に佐藤肇が就任した。
　　〃　消防団に方面制を導入した。（中央、北部、南部、河辺、雄和）
　　7　女性消防団員４人、また新たに機能別団員９人を採用し、団本部に配置した。
　　9　城東消防署庁舎の耐震補強および庁舎改修工事を実施した。

23.12　河辺消防署の高規格救急自動車を更新した。
24.１　秋田消防署勝平出張所の屋上防水工事（第３期）および内装改修工事を実施した。
〃　秋田消防署新屋分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新した。
２　土崎消防署将軍野出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新した。
３　日本消防協会から秋田市消防団（秋田中央分団）に救助資機材搭載型車両が交付された。
４　第22代消防長に海野達雄が就任した。
〃　総務省消防庁から県指揮隊車が無償貸与された。
６　機能別団員10人を採用し、団本部に配置した。
10　東日本大震災を受け既設の津波警報用サイレンを改修するとともに３基（土崎港相染町地内・境川街区公園・国土交通省秋田防災ステーション）を新設した。（計７基）
25.１　秋田南消防署の救急自動車を更新した。
〃　河辺消防署本署の水槽付消防ポンプ自動車を更新した。
２　秋田南消防署の屋上防水工事を実施した。
〃　救急指揮支援車を更新した。
〃　総務省消防庁から支援車Ⅲ型が無償貸与され、人員輸送車として配置した。
３　土崎消防署本署の救助工作車を更新した。
４　第23代消防長に小林博美が就任した。
〃　消防団長に海野達雄が就任した。
〃　秋田市消防団機能別団員設置要綱を制定した。
〃　消防団員の定年等に関する規程を改正し、任用資格の上限を50歳に引き上げた。
５　土崎消防署を秋田市土崎港西四丁目地内に新築移転した。
〃　女性消防団員１人を採用し、団本部に配置した。（計20名）
〃　退職した消防団員13人を機能別団員（１号団員）として採用し、所属分団に配置した。
７　社会医療法人明和会中通総合病院から煙中体験訓練資機材が寄付され、城東消防署へ配置した。
11　秋田南消防署の化学消防ポンプ自動車を更新した。
12　土崎消防署寺内出張所の消防ポンプ自動車を更新した。
26.１　秋田市防火基準適合表示要綱を制定した。
２　津波災害時の秋田市消防団活動･安全管理マニュアルを策定した。
〃　総務省消防庁から秋田市消防団（土崎北分団）に救助資機材搭載型車両が無償貸与された。
３　河辺消防署雄和分署の救急自動車を更新した。
10　秋田消防署牛島出張所の改修工事を実施した。
11　市立病院救急ワークステーション試行運用を開始した。
〃　城東消防署の梯子付消防ポンプ自動車を更新した。
12　城東消防署の消防ポンプ自動車を更新した。
〃　水難救助車を更新した。（土崎消防署配置）
27.４　第24代消防長に森合和美が就任した。
〃　秋田南消防署と河辺消防署を統合した。

〃　総務課に消防団担当を設置した。
〃　予防課に違反処理担当を設置した。
27．6　秋田南消防署河辺分署を秋田市河辺和田字北条ヶ崎27番地１に新築移転した。
11　秋田消防署勝平出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新した。
12　土崎消防署飯島出張所の消防ポンプ自動車を更新した。
28．3　秋田消防署の救急自動車を更新した。
4　第25代消防長に佐藤好幸が就任した。
〃　消防職員定数400人を410人とした。
〃　消防無線のデジタル化に伴い新指令システムに移行した。
〃　津波警報サイレンを防災安全対策課へ移管した。
5　秋田南消防署雄和分署を秋田市雄和妙法字上大部48番地1に新築移転した。
29．1　土崎消防署外旭川出張所の水槽付消防ポンプ自動車を更新した。
3　土崎大型化学高所放水車の運用を開始した。
〃　土崎消防署の救急自動車を更新した。
〃　秋田県広域消防相互応援協定を見直した。
9　城東消防署の救急自動車を更新した。
〃　「ねんりんピック秋田2017」が行われ消防警備を実施した。
30．1　秋田消防署の消防ポンプ自動車を更新した。
2　秋田南消防署の救助工作車を更新した。
3　土崎消防署に救急自動車を配備し、土崎救急２として運用を開始した。
〃　秋田消防署の指揮車を更新した。
4　消防力適正配置調査を実施した。
〃　違反対象物に係る公表制度を実施した。
8　モバイル映像伝送システムを開始した。
9　北海道胆振東部地震が発生し、秋田県統合機動部隊が出動した。（秋田市隊７隊30名）
31．2　秋田南消防署雄和分署の化学消防ポンプ自動車を更新した。
〃　秋田南消防署の指揮車を更新した。
〃　秋田消防署の救助工作車を更新した。

市 勢 と 消 防 の 現 況

人口・世帯

世帯数	人口			人口密度
	計	男	女	
135,822	305,944	144,087	161,857	337.7/ km²

署別管轄状況

署別	面積 (km²)	市街地面積 (km²)	人口
秋田消防署	161	28.46	100,900
土崎消防署	143	19.39	76,184
城東消防署	115	12.19	78,512
秋田南消防署	487	5.92	50,348
計	906	65.96	305,944

消防力

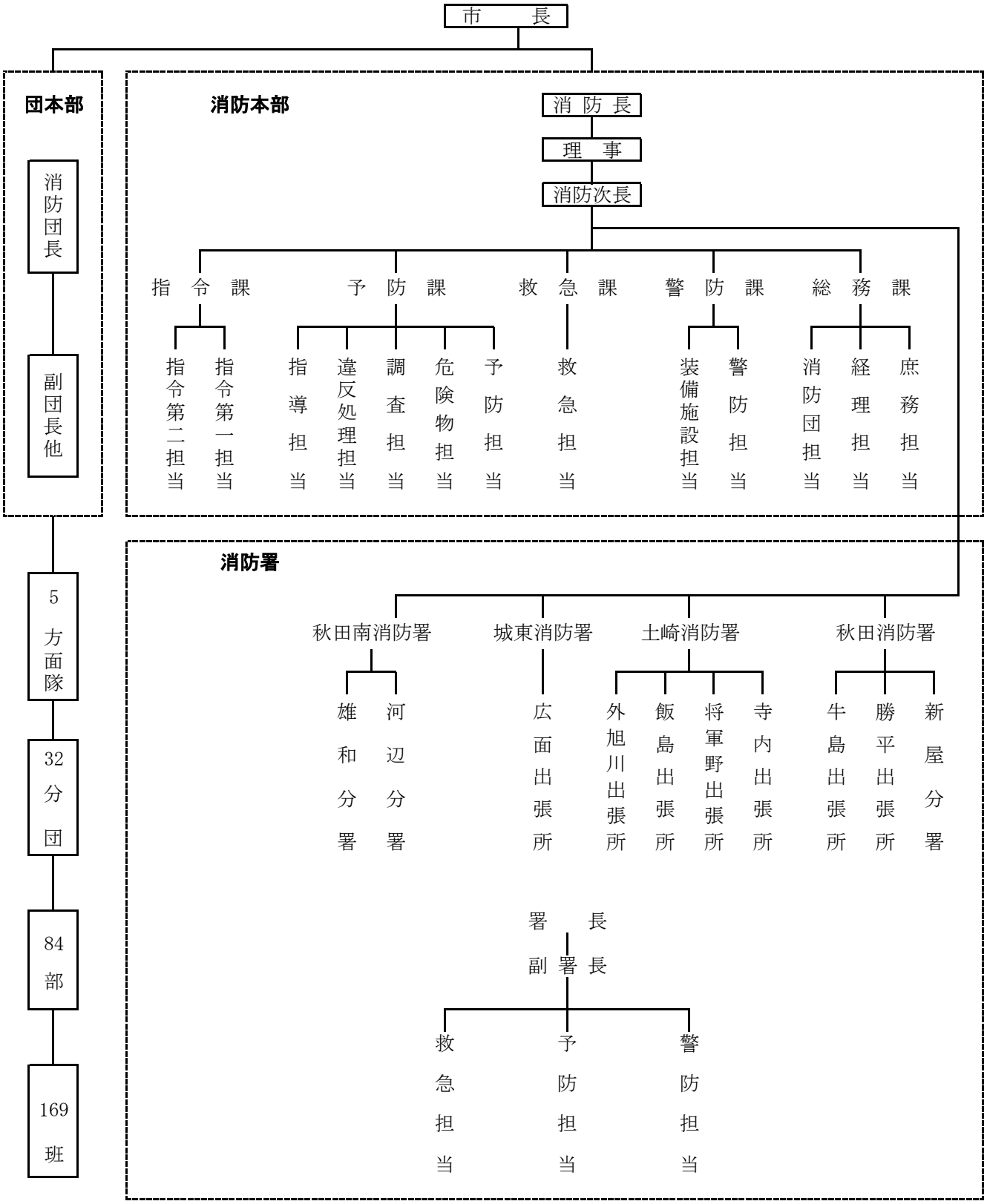
常備	1本部	4署	3分署	7出張所				
	職員	消防自動車等	救急車	その他車両	消防・救急無線局			
					基地局	移動局	固定局	可搬局
	412	56	12	3	6	142	6	1

非常備	1団	5方面隊	32分団	
	消防団員	ポンプ自動車	小型動力付積載車	小型動力ポンプ
	1,810	13	97	59

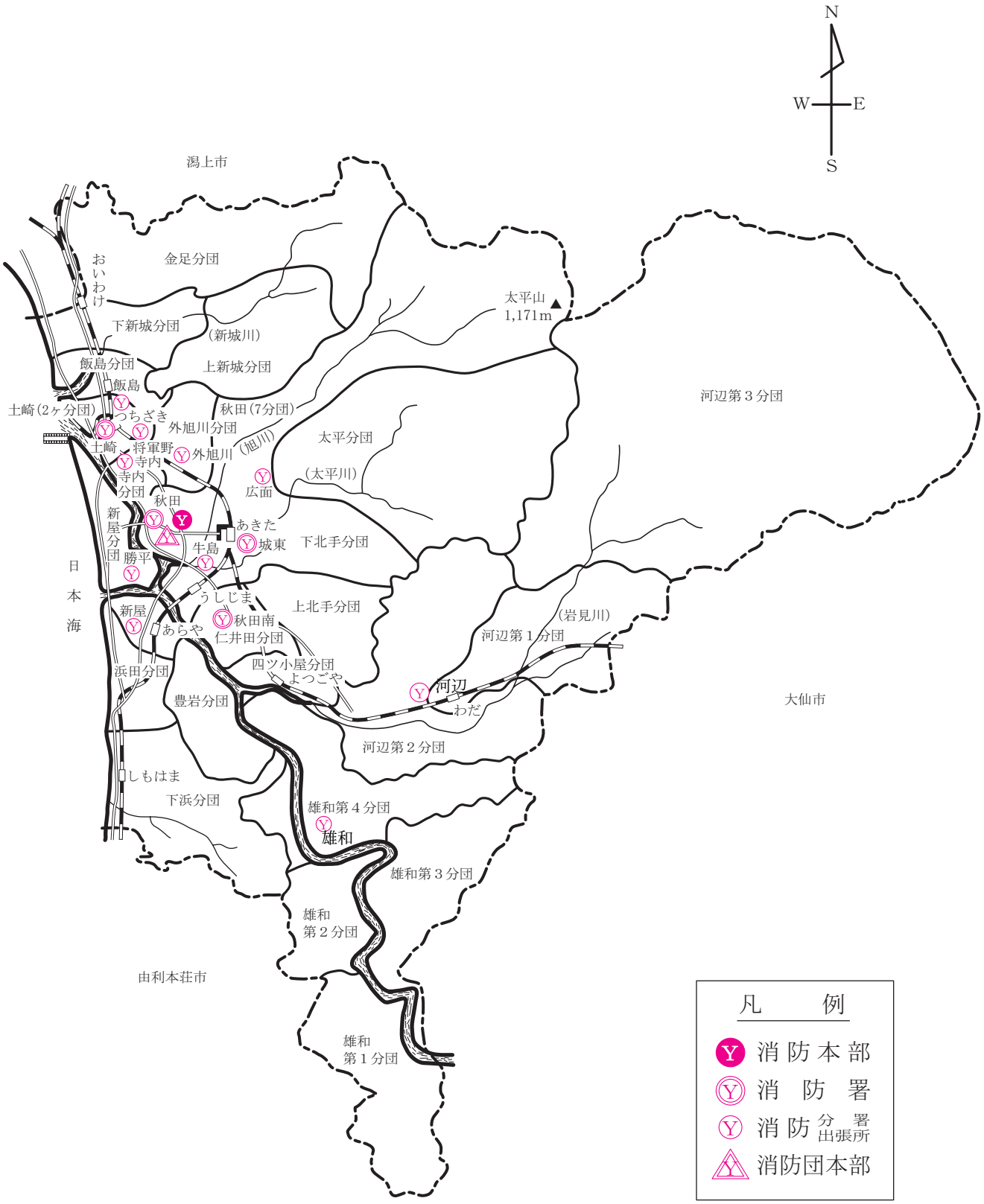
単位消防力

署所数	署所1カ所当り			消防吏員数 (本部所属員除く)	消防吏員一人当り		
	面積(km²)	人口	世帯数		面積(km²)	人口	世帯数
14	64.7	21,853	9,701	348	2.60	879	390

消　防　組　織　図


市　長
団本部
消防団長
副団長他
5方面隊
32分団
84部
169班
消防本部
消防長
理事
消防次長
指令課
指令第二担当
指令第一担当
予防課
指導担当
違反処理担当
調査担当
危険物担当
予防担当
救急課
救急担当
警防課
装備施設担当
警防担当
総務課
消防団担当
経理担当
庶務担当
消防署
秋田南消防署
雄和分署
河辺分署
城東消防署
広面出張所
土崎消防署
外旭川出張所
飯島出張所
将軍野出張所
寺内出張所
秋田消防署
牛島出張所
勝平出張所
新屋分署
署長
副署長
救急担当
予防担当
警防担当

消　防　機　関　の　配　置


N
W
E
S
潟上市
金足分団
おいわけ
太平山
1,171m
下新城分団
(新城川)
飯島分団
上新城分団
飯島
土崎(2ヶ分団)
つちざき
秋田(7分団)
外旭川分団
太平分団
土崎
将軍野
寺内
外旭川
(旭川)
寺内
分団
広面
(太平川)
秋田
新屋
分団
あきた
城東
下北手分団
牛島
勝平
日本海
うしじま
上北手分団
新屋
秋田南
仁井田分団
あらや
(岩見川)
河辺第１分団
四ツ小屋分団
よつごや
浜田分団
河辺
わだ
豊岩分団
大仙市
河辺第３分団
河辺第２分団
しもはま
下浜分団
雄和第４分団
雄和
雄和第３分団
雄和
第２分団
由利本荘市
雄和
第１分団
凡　例
消防本部
消防署
消防分署出張所
消防団本部

火　災　の　実　態

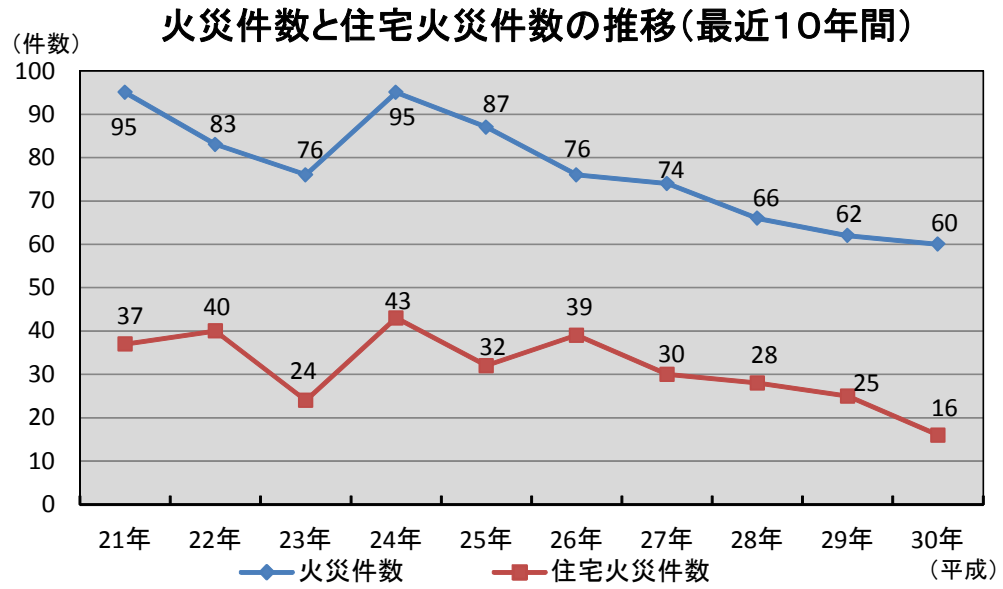
1　火災発生状況

平成 30 年中は 60 件の火災が発生しました。前年と比較すると２件減少し、過去最少の件数となっています。

火災種別ごとにみると、建物火災が 35 件で全体の約６割を占め、車両火災が４件、その他の火災が 21 件となっています。

建物火災のうち住宅の火災は 16 件で、34 世帯、72 人の方がり災されました。

人口１万人あたりの出火件数を示す出火率は 1.9 件で、前年より 0.1%減少しました。



2　損害発生状況

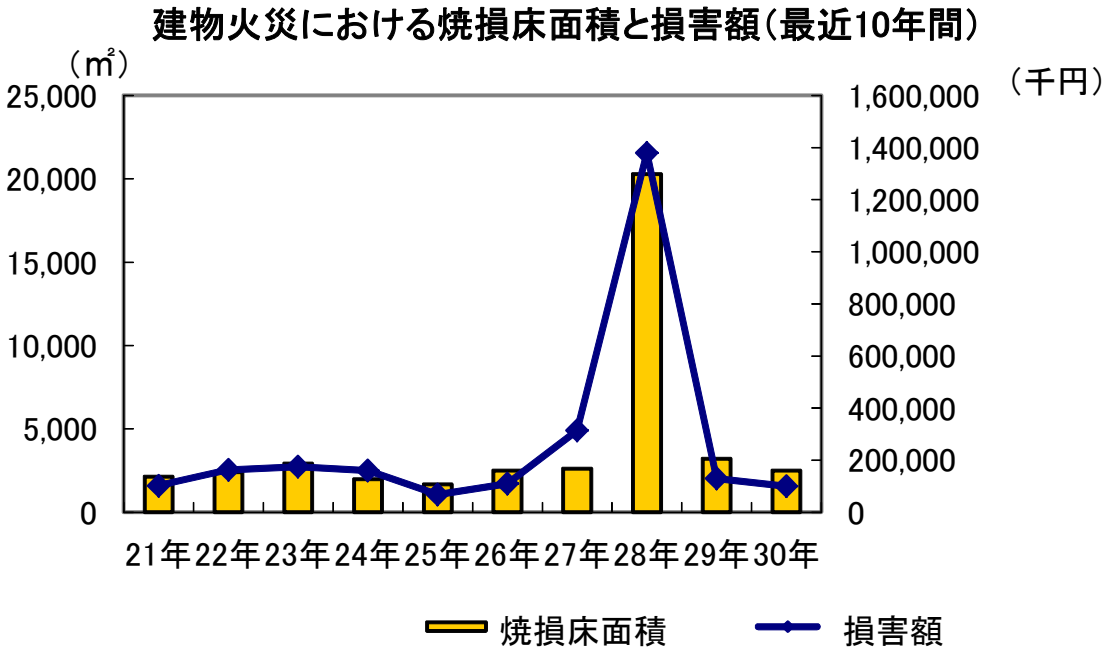
(1) 損害面積

建物の焼損床面積の合計は、2,493 ㎡で、前年に比べ 715 ㎡減少し、１件あたりの焼損床面積も減少しています。

(2) 損害額

損害額は、約 9,965 万円で、前年の約 1 億 2,911 万円から約 2,946 万円減少しました。１件あたり約 166 万円、１日あたりでは約 27 万円が灰になった計算となります。

火災種別ごとに見ると、建物火災によるものが約 9,800 万円、車両火災が約 137 万円、その他の火災が約 28 万円となっています。



3　死傷者の状況

火災による死者は３人で前年と同数であり、負傷者については 10 人で前年より 10 人減少しました。

受傷した原因をみると消火中や避難中に、火炎にあおられたり、熱気を吸い込んで気道を火傷するなど直接火炎の影響を受けたケースが多く見受けられます。

全国的にみると、住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）のうち、65 歳以上の高齢者は約７割でした。本市においても高齢者が犠牲になる火災が発生していることから、春・秋の火災予防運動期間や各種イベント時に高齢者に対しての防火対策を広報し、高齢者の死者・負傷者の減少へつなげていきます。

負傷者の受傷時の状況と受傷原因

受傷時の状況／受傷原因	消火中	避難中	就寝中	作業中	その他	計
火炎にあおられる高温物に接触	4		1			5
煙を吸う						
飛散物・擦過						
放射熱	1					1
飛び降り						
その他	3				1	4

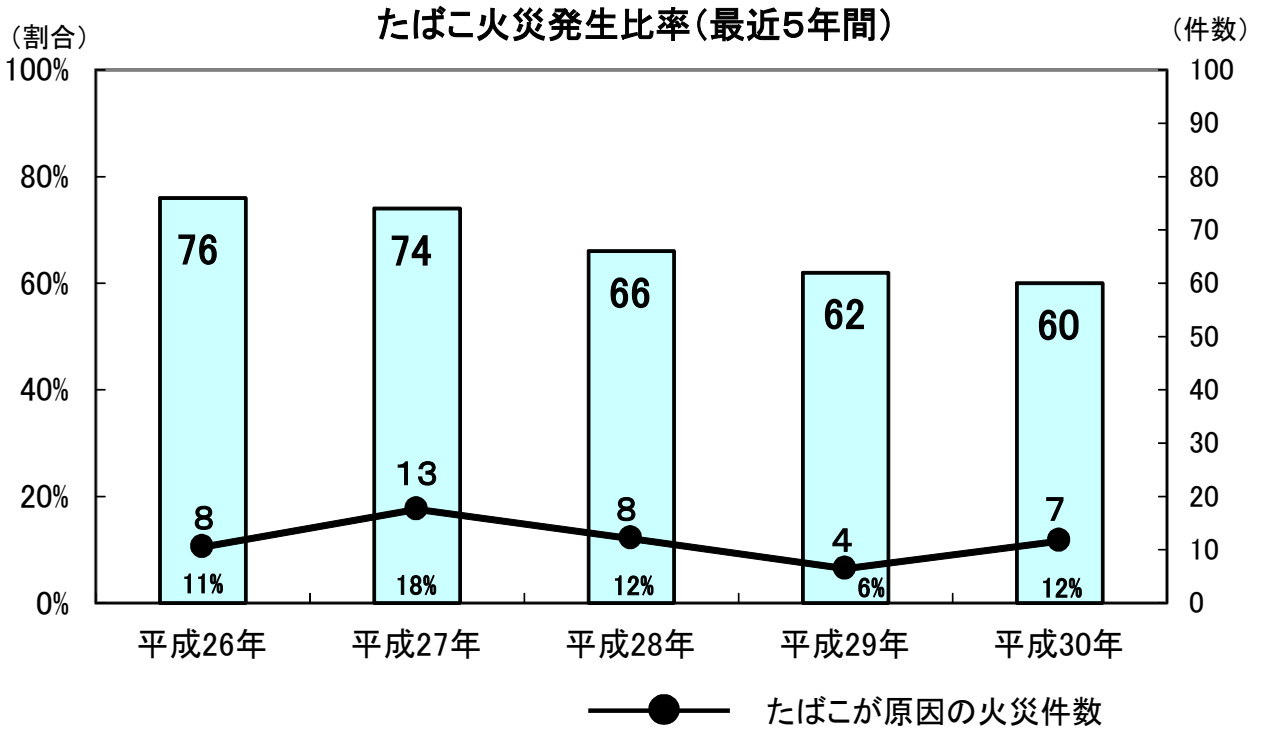
4　出火原因

「たばこ」が７件で最も多くなっており、続いて、「ストーブ」と「電灯・電話等の配線」が６件となっています。「ストーブ」が出火原因の火災は、寒くなりストーブを使用する 11～３月に増加し、この期間に６件の火災が発生しました。

5　最近の火災傾向

火災件数は年々減少傾向にありますが、本市では平成 27 年、平成 28 年および昨年は「たばこ」が出火原因の第１位となっており、全国的にみても出火原因の上位に入っていることから、春の火災予防運動期間中に秋田駅東西連絡自由通路（ぽぽろーど）において、幅広い年代のかたに対し、「たばこ火災防止」の広報を行いました。

自宅では「寝たばこは絶対にしない」、「灰皿には水を入れ、吸い殻は確実に消火してから捨てる」、屋外では林野火災などの原因になることから「ポイ捨てはしない」など、「たばこ火災」の減少を目指し、市民のかたへ注意喚起を行います。



予　　防

1　査察

予防査察は、予防行政の柱として、消防法の規定により建築物や危険物施設等へ立ち入り、消防法への適合性を調査し、適合していない場合は是正指導を行い火災の未然防止を図ることを目的としています。

ことに、近年の超高齢化社会を背景に、様々な形態の高齢者施設の増加が目まぐるしく、これらの施設や病院・有床診療所などでは、相次ぐ法改正により、消防用設備設置基準の拡大や小規模施設用の消防用設備等の出現など、予防行政の高度化・複雑化をもたらしております。また、一般住宅や共同住宅に宿泊させる、いわゆる民泊といわれる新たな宿泊施設への対応など、査察行政を取り巻く環境は時代の流れとともに大きく変化してきており、定期的な立入検査はもとより、出火危険・人命危険に応じて、実態に即した立入検査を行い、適切な査察指導により違反対象物の根絶に努めております。

防火対象物立入検査実施状況

区　　分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
防火対象物数	9,907	9,946	9,922	9,998	10,042
立入検査実施件数	3,944	3,833	3,463	3,608	2,726

2　防火・防災管理制度

防火管理とは、火災等の災害を予防し、また、有事の際の被害を最小限に抑えるため、防火対象物の関係者が自主的に防火対策を推進することであります。具体的には、防火管理者の選任、消防計画の作成、消防用設備の維持管理、消火・避難訓練の実施など防火管理上必要な業務を行うことで、消防法では多数の者を収容する対象物の関係者に義務づけているものです。

また、防災管理とは、大規模地震発生の切迫性が指摘されている状況を踏まえ、これら地震等の災害から被害の軽減を図るため、防災管理者の選任、地震および特殊な災害に対応した消防計画の作成、避難訓練の実施など防災管理上必要な業務を行うことで、一定の大規模・高層の建築物の管理権原者に義務づけているものです。

受　講　状　況

	平成 29 年度	平成 30 年度	累　　計
甲種防火管理新規講習	甲種　365	甲種　312	昭和 36 年度から　16,200
	乙種	乙種	39
甲種防火管理再講習	49	54	平成 17 年度から　776
防災管理新規講習	31	34	平成 21 年度から　415
防火・防災管理再講習	21	17	98

3　防火対象物・防災管理点検報告制度

防火対象物点検とは、防火管理の徹底を図るため一定の防火対象物の管理権原者が防火対象物における火災の予防に関する専門的知識を有する者(防火対象物点検資格者)に防火管理業務の状況、避難施設の維持管理状況等について１年に１回点検させ、その結果を消防長又は消防署長に報告するものです。

また、防災管理点検とは地震等の災害から被害の軽減を図るため一定の大規模・高層の建築物の管理権原者が防災管理に関する専門的知識を有する者(防災管理点検資格者)に業務の実施状況について１年に１回点検させ、その結果を消防長又は消防署長に報告するものです。

これらの防火対象物で継続して消防法令を遵守し防火・防災管理業務が適正に行われ優良であると認められた場合は、この点検報告を免除する特例認定制度も併わせて制定されました。

なお、点検資格者における点検の結果が点検基準に適合している場合や特例防火対象物として認定された場合には、その旨を表示することができ、利用者に対し情報提供ができるものです。

防火対象物点検の特例認定状況

	平成29年度	平成30年度
要点検対象物数	354	355
特例認定数	63	33
特例認定済対象物	144	147
不認定数	2	2
失効数	0	1
取消し数	0	0





防火優良認定証（認定対象物）　　防火基準点検済証（点検基準適合）

防災管理点検の特例認定状況

	平成29年度	平成30年度
要点検対象物数	31	31
特例認定数	0	2
特例認定済対象物	3	3
不認定数	0	0
失効数	0	0
取消し数	0	0





防災優良認定証（認定対象物）　　防災基準点検済証（点検基準適合）

4　防火対象物に係る表示制度

平成 24 年５月に広島県で発生したホテル火災による被害の重大性を考慮し、ホテル・旅館等不特定多数の者を収容する防火対象物の関係者の防火に対する認識を高め、防火管理業務の適正化および消防用設備等の設置、維持管理等を促進するとともに、重要な建築構造等への適合性も含めた防火・防災管理上の一定の基準に適合している防火対象物について、その情報を利用者等に提供し、防火安全体制の確立を図るため表示を行うもので、防火管理者を定めなければならないホテル・旅館等のうち、地階を除く階数が３以上のものが対象となります。この表示制度は関係者からの申請によるもので、平成 30 年度までに表示を行った対象物は 10 件でした。

5　違反対象物に係る公表制度

平成 30 年４月１日から消防法令に重大な違反のある建物を公表しています。この制度は、建物を利用する方がその建物の危険性に関する情報を入手し、利用について判断することができるよう、消防機関が立入検査の際に確認した重大な消防法令違反のある建物を公表する制度です。公表の対象となる建物は、飲食店、物品販売店舗など不特定多数の方が利用する建物や病院、社会福祉施設など火災が発生した場合に自ら避難することが困難な方が入所している建物が該当します。建物に義務付けられた消防用設備等（屋内消火栓設備、スプリンクラー設備または自動火災報知設備）が設置されていない場合が公表の対象です。秋田市消防本部のホームページへの掲載および消防本部、各消防署での閲覧による方法で、違反対象物の名称、所在地および違反の内容を公表します。

平成 30 年度は６件の建物を公表し、すべての建物の違反が是正されました。

6　消防同意事務

建築物の新築、増築、改築等における確認申請の際には、消防法第７条の規定により

建築主事又は指定確認検査機関に対し、防火に関する規定に違反しないものに消防長が同意をしています。

平成 30 年度の消防同意件数は 623 件で、前年度に比べ 2 件減となっています。

過去５年間の同意件数

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
同意件数	734	740	703	625	623

7　幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、各幼稚園、保育園ごとに編成し、子供たちの防火に対する関心と理解を深めるとともに、火災予防行事を通じ市民に密着した予防活動を行い、市民の防火に対する意識の高揚を図るなど火災予防のＰＲに活躍しています。

昨年は幼稚園、保育園のクラブ員に対し、花火教室や女性消防団員と協同による防火教室で、防火意識の高揚を図っています。

幼年消防クラブ活動状況

区分	クラブ数	クラブ員数	参加人員
保育園	4	292	190
幼稚園	4	676	328



「園児に対する花火教室」



「幼年消防クラブによる防火活動」

8　秋田市防火安全協会

(1) 会の目的

この協会は、防火思想の普及宣伝ならびに会員事業所の防火管理体制の確立と、危険物施設の適正な維持管理の徹底および消防用設備等施設の整備と強化を促進し、もって火災等の災害防止を図り、社会公共の安全に寄与することを目的として設立されたものです。

(2) 加入事業所数

303 事業所

(3) 主な事業内容

ア　防火思想の普及宣伝に関すること

イ　火災予防対策の研究

ウ　危険物の災害予防対策ならびに研究

エ　火災予防資料の収集と配布

オ　消防機関から受託した事業に関すること

カ　自衛消防の技術向上に関すること

キ　消防関係法令講習会

ク　消防機関との連絡調整

ケ　会員相互の融和・親睦等

9　住宅用火災警報器

本市では平成 23 年６月１日からすべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務づけられています。設置場所はすべての寝室と階段の上部となっており、台所については本市の場合、努力目標と位置づけしています。

消防庁による全国的なデータでは、近年の住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。以下同じ。）の発生状況を見ると、逃げ遅れが最も多く、全体の約 50％を占めており、年齢別では高齢者が約 70％を占めています。また、死者の発生状況を時間帯別にみると、火災死者数は就寝時間帯の方が多くなっています。つまり、就寝時間帯が昼間に比べて人命の観点で危険性が高いと言えます。このため、必要最小限で効果の高いと考えられる場所として、寝室に設置することとされました。また、寝室が２階にある場合などでは、階段室にも設置することになっていますが、これは階段室が火災による煙の集まりやすい場所であるとともに、２階などで就寝している方にとっては、ほとんどの場合唯一の避難経路となるためです。

本市における住宅用火災警報器の設置率は、平成 30 年６月１日時点で 84.5％（秋田市消防本部推計）にとどまっていることから、今後も設置率 100％を目指し、継続的に普及啓発活動を行ってまいります。また、新築住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられてから 10 年以上が経過していることから、既に設置済みの住宅に対しても、定期的な点検による適正な維持管理、電池切れや機器の劣化に伴う交換の必要性などについても周知してまいります。

10　主な行事

平成 30 年度中の火災予防行事および広報活動

(1) 春の火災予防運動・・・・・・・４月１日(日)～４月７日(土)

(2) 消防と子どもの集い・・・・・・５月５日（こどもの日）

(3) 幼稚園、保育園の防火指導・・・６月、７月、８月、９月、10 月

(4) 秋の火災予防運動・・・・・・・１１月４日(日)～１１月１０日(土)

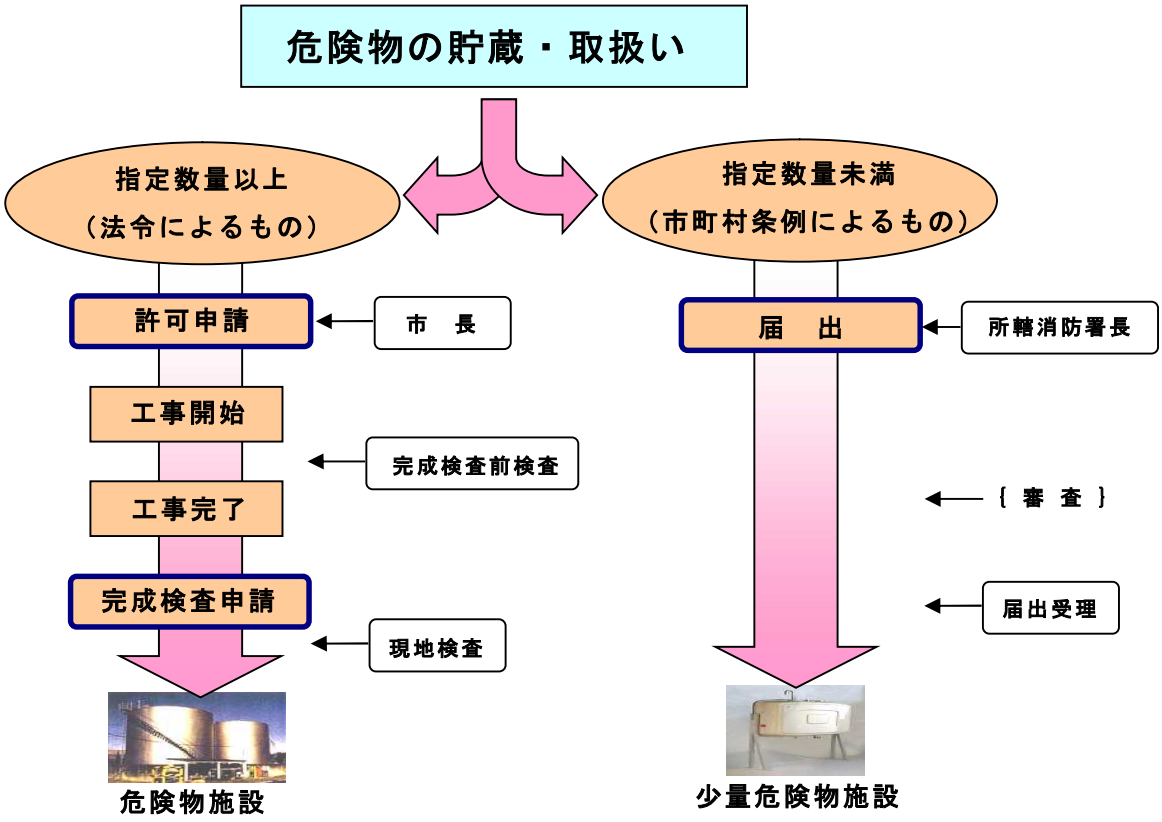
(5) 文化財防火デー・・・・・・・・１月２６日

危　険　物

1　危険物規制事務の概要

一般的に、危険物には可燃性ガス、火薬類、毒物、劇物、放射性物質等様々なものがありますが、消防法では、法別表第１の品名欄に掲げる物品で、一定の危険物性状を有するものが「危険物」とされ、危険物は、それ自体が発火又は引火しやすい危険性を有しています。また、他の物質と混在することによって燃焼を促進させる物質も含まれています。さらには、「火災発生の危険性が大きい」「火災拡大の危険性が大きい（延焼速度が速い）」「消火困難性が高い」等の特性を持ち、火災予防上の観点から、その貯蔵、取扱いおよび運搬について規制されています。

品名ごとに定められた数量（指定数量）以上の危険物は、危険物施設以外の場所で貯蔵し、又は取扱ってはならず、危険物施設を設置しようとする場合は、その位置・構造・設備について、危険物の規制に関する政令の基準に適合させ、市長の許可を受けなければなりません。



また、危険物施設においては、危険物取扱者（危険物取扱者免状所持者）以外の者は、危険物取扱者の立会いがなければ危険物を取扱ってはならず、一定の危険物施設では危険物保安監督者を選任し、その貯蔵、取り扱いに関する保安体制の整備を図らなければなりません。

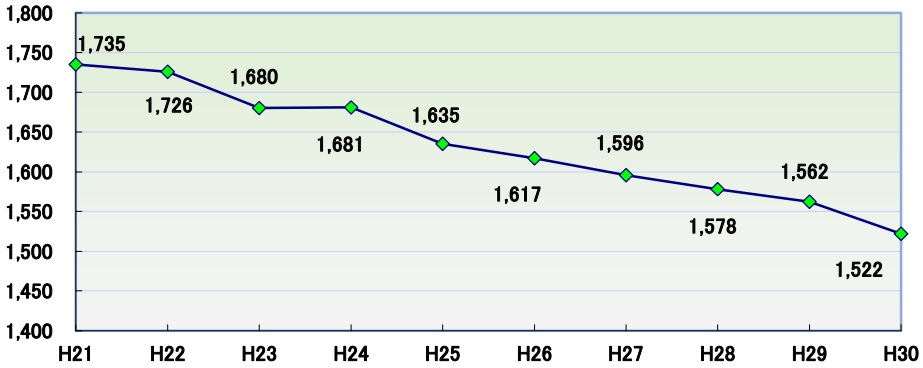
なお、「指定数量」未満であっても秋田市火災予防条例で定められた数量以上の危険物（少量危険物）あるいは消火困難な物質等で指定されたもの（指定可燃物）を貯蔵する場合には消防署長に届け出なければなりません。

2　危険物施設の推移

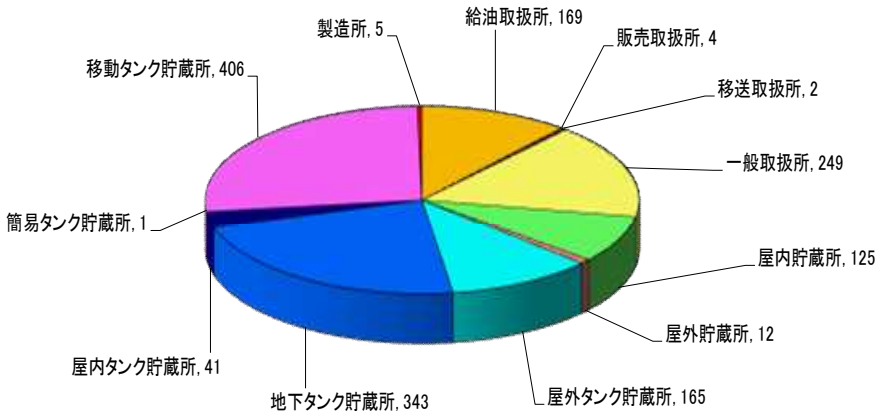
平成 30 年 3 月 31 日現在、全国には 40 万 5,238 の危険物施設があり、秋田県内では 2,462 事業所 5,992 施設があります。本市は、北東北の日本海沿岸に位置する商工業港を持つ中核市で、石油コンビナート等特別防災区域を有していることもあり製造所、屋外タンク貯蔵所をはじめ、平成 30 年度末現在で 454 事業所 1,522 の危険物施設があります。

施設数の推移を見ると、近年は減少傾向を示しており、前年と比較すると 40 施設減少しています。

秋田市における危険物施設数の推移



危険物施設数の状況



近年、日本を代表する企業の生産施設（危険物施設含む）での火災、漏洩事故等が続発しています。これらの背景には、厳しい経済状況下での人員や設備投資の削減、施設の老朽化、雇用体系の変化や保守管理業務の社外委託などの影響が指摘されているところです。

このように危険物を取りまく環境も変貌する中、本市においては無事故を目指し立入検査の充実、危険物施設関係者および危険物取扱者の安全管理意識の向上を推進し、危険物施設の保安体制の確保に努めています。

救　　急

1　救急体制

本市では、昭和 38 年４月に１台の救急自動車で救急業務を開始して以来、現在では４消防署、３消防分署、１出張所に９台の救急自動車を配置し、年間１万件を超える救急要請に対応しています。

全ての救急自動車には「ドルフィン」のマークが標示されていますが、これは、「親しみやすくて優しく、素早いイルカのように…」との思いを込めて市民が命名してくれた愛称です。



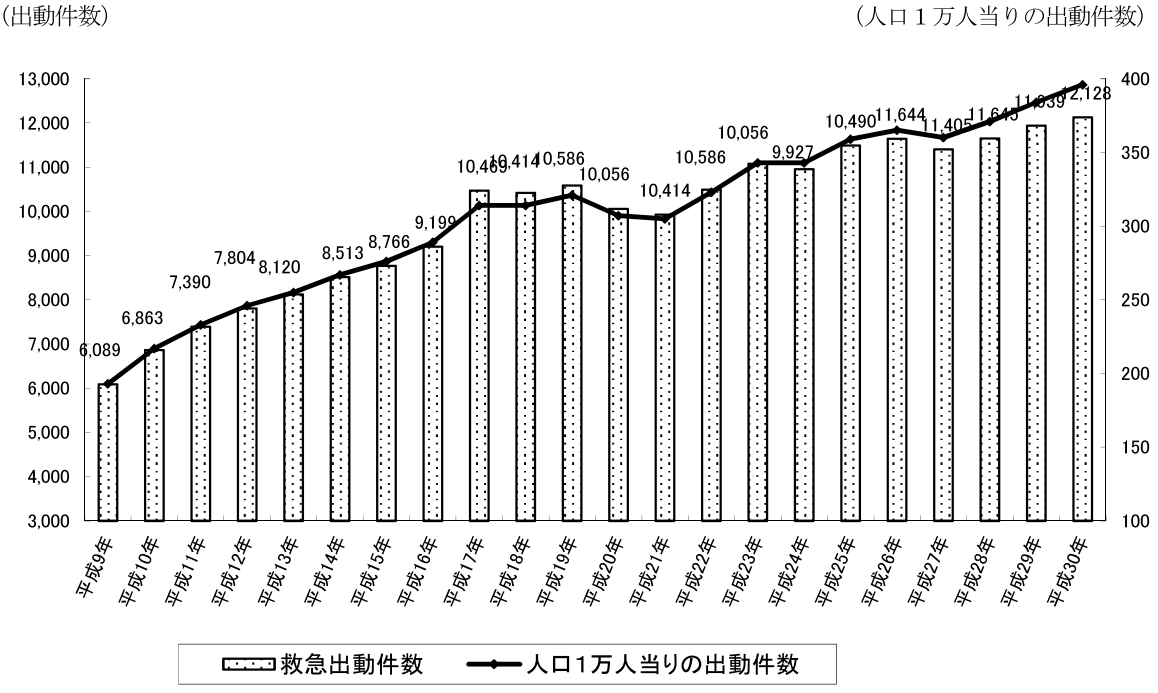


ドルフィンマーク

救急出動件数は、平成 20 年と 21 年の２年連続で減少傾向にありましたが、平成 22 年以降は再び増加に転じました。平成 30 年中は出動件数が過去最高の 12,128 件（１日平均 33.2 件）で前年に比べ 189 件（1.6%）、搬送人員が 11,421 人（１日平均 31.3 人）で前年に比べ 142 人（1.3%）それぞれ増加しています。

なお、搬送した傷病者の内訳は、急病によるものが 7,986 人と最も多く、全搬送人員の 69.9%となっており、また 65 歳以上の高齢者搬送は 7,291 人（63.8%）でした。

救急出動件数の推移



2　救急救命士・救急隊員の養成

平成３年の救急救命士法の制定に対応し、平成４年５月、本市で初となる救急救命士が誕生したほか、救急自動車と高度救命処置用資機材を配備し、救急業務の高度化推進事業をスタートしました。

以後、毎年計画的に救急救命士を養成し、現在では、救急救命士有資格者が 68 人（内実働救命士 45 人）となっているほか、救急Ⅱ課程以上の有資格者 102 人（実働隊員）が日々「健康で安全安心に暮らせるまちづくり」の一翼を担っています。

本市では、今後も救急自動車と高度救命処置用資機材の更新整備のほか、救急救命士や救急隊員の養成を計画的に行っていきます。



救 急 自 動 車



秋田周辺地域救命技術訓練大会

3　救急隊員教育

全ての救急車には 250 時間以上の専門教育を受けた救急隊員が搭乗していますが、救急の高度化や医療の進歩に的確に対応するためには、救急救命士をはじめとする救急隊員の知識、技術の向上が不可欠です。このため、市内救急病院の協力を得ながら救急救命士の生涯教育をはじめ、処置範囲の拡大などに対応するための病院実習や就業前教育を積極的に推進しています。



専門医から直接指導を受ける救急隊員



習 熟 訓 練 風 景

4　救急救命士の処置範囲拡大

救急救命士法の改正により、追加教育等の所定の条件を満たした救急救命士は平成 16 年７月から気管挿管、平成 18 年４月から薬剤投与、さらに、平成 26 年４月から重度傷病者に対し「心肺機能停止前の静脈路確保と輸液」、「血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与」の実施が可能となりました。

平成 30 年４月１日現在、実働救命士のうち、気管挿管が実施可能な救急救命士は 20 人、薬剤

投与が実施可能な救急救命士は 41 人となっています。今後も救命処置の範囲拡大に伴い、新たな救命処置を実施できる認定救急救命士の養成を図ります。

5　メディカルコントロール体制

メディカルコントロールとは、医学的観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を保障するもので、ホットラインによる救急隊員への指導・指示・助言体制や、救急活動の事後検証および救急隊員の教育体制を構築することを主な目的としています。

本市は、平成 15 年４月から、五城目町や男鹿地区、湖東地区からなる「秋田周辺メディカルコントロール協議会」に所属し事務局を担当しています。今後も医師や関係機関との連携を図りながら、このメディカルコントロール体制の充実に努め、地域におけるプレホスピタル・ケア（病院前救急体制）の更なる向上を目指していきます。

6　応急手当の普及啓発



救命講習会の様子

重病人やけが人が発生した場合、いかに早く適切な救命手当が実施されたか否かが、その後の生命予後を大きく左右します。特に心停止傷病者では、救急隊が現場に到着する前から、現場に居合わせた市民による的確な救命手当が行なわれる必要があります。本市では、一人でも多くの市民に応急手当を習得してもらおうと、平成６年１月から町内会や事業所、各種サークルなどを対象に、心肺蘇生法を中心とした救命講習会を開催しています。また、平成 17 年度からは訓練用ＡＥＤを使用し、安全なＡＥＤの使用方法も含めた救命講習の普及啓発に取り組んでいます。

講習会は、消防署が「広報あきた」等により受講者を募集して行うものと、市民の方々の要望を受けて行う二つの方法で行っており、平成30年中では「普通救命講習Ⅰ～Ⅲ」「上級救命講習」をあわせて195回実施し、3,494人の市民が修了証の交付を受けています。また、規定の講習内容や時間にとらわれない、市民の要望に応じた「その他の救命講習」「救命入門コース」もあわせて246回実施し、8,624人の市民が受講しております。

このように、本市における市民の高い受講率は、実際の救急現場における救命手当の実施率や救命率向上の成果としても現れています。平成 30 年中では、307 人の搬送心肺機能停止傷病者に対し、59.42％にあたる 183 人に心肺蘇生法等の救命手当が実施され、19 人が１ヵ月以上生存しています。

7　ＡＥＤ設置施設標章の交付

ＡＥＤ（自動体外式除細動器）とは、心臓の働きが突然に停止してしまった人に対し、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための機器で、平成 16 年７月から医療従事者でない一般市民も使用できるようになりました。

本市では、ＡＥＤの普及促進と救急体制の充実を図る取り組みとして、ＡＥＤを設置し、従業員等が必要な講習を受講しているなど、一定の要件を満たした施設に対して、その申請に基づき標章を交付しています。また、標章の交付を受けている施設（福祉施設等は除く）で傷病者が発

生し、ＡＥＤが使用された場合は、ＡＥＤの電極パッドの無償給付を受けることができます。

平成 31 年 ４月末では、事業所や物販店、公共施設など 412 施設が標章の交付を受けています。



物販店に設置された AED と交付した設置標章（上）

平成２５年４月からの設置標章新デザイン（下）

８　ＰＡ連携

ＰＡ連携とは、ポンプ車隊（Pumper）と救急隊（Ambulance）が同時に出動し、連携して活動することをいいます。たとえば、通報内容から傷病者が重症以上と予測され、救出救護が必要であると判断した場合や救急隊が現場到着までに時間を要する場合などは、直近の消防車も同時に出動させ、救急隊が到着するまでの間、消防隊員（救急有資格者や応急手当指導員）が応急処置と情報収集を行うことにより、救命効果の向上と初動対応の迅速化を図ることができます。

本市では、平成 16 年２月からＰＡ連携を導入していますが、平成 30 年中のＰＡ連携出動件数は、救命対応事案（通報内容から心肺機能停止等の重篤な傷病者と予想される場合）、救急応援事案（通報内容から搬送困難が予想される場合）および交通事故（救助事故以外）を合わせて 1,689 件です。このうち、消防隊が救急隊に先行して現場に到着し応急処置等の活動を実施したのは 296 件(17.5%) でした。



ＰＡ連携の様子

９　民間の患者等搬送事業者の認定

本市では利用者の安全と利便を確保するため、患者等搬送事業者のうち、一定の要件を満たした事業者に対し認定を行っています。

認定を受けた事業者の患者等搬送用自動車には、応急手当や搬送法についての講習を修了した乗務員が乗車しており、応急手当に必要な資機材を積載しています。

患者等搬送事業指導認定状況　　平成 31 年３月末現在

	両 用	い す
認 定 事 業 者 数	６事業所	２事業所
患者等搬送用自動車	６ 台	７ 台
患者等搬送用乗務員 適 任 証 交 付 人 数	２５人 （うち、車いす専用１０人）	

両用 ； ベッドと車いすのどちらでも乗車可能

いす ； 車いす専用車



自動車に貼付されるマーク

救　　助

1　救助体制

本市は、平成 17 年１月 11 日の市町合併により、陸路・海路・空路のすべての交通結節点を有する県都として、また、北日本の中核都市として発展を続けており、複雑・多様化の度合いを深める災害や事故に備えて、４つの消防署に救助隊を配置しています。

救助隊は、生命の危険にさらされている被災者を安全、確実、迅速に救出することを任務としており、救助隊員には、長時間の活動に耐え得る体力、決して諦めることのない精神力、災害時のあらゆる場面に対応できる高度な技術と豊富な知識が必要とされています。そのため救助隊員は、市民生活を取り巻くあらゆる災害に対応すべく、実災害に即した訓練を実施し、日々、災害対応能力の向上に努めています。

また、年々多様化かつ高度化する救助事故に的確に対応し、要救助者の救命率向上を実現するため、DMAT（災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team）等の医療機関との連携訓練を定期的に実施し、救助体制の充実強化を図っています。

2　高度救助隊の発足

平成７年３月に発生した地下鉄サリン事件や、平成 13 年９月に発生したニューヨーク同時多発テロ事件以降、国内外でテロ災害に対する脅威と社会的関心が高まるとともに、消防機関が行う救助活動の対象は、火災や交通事故、自然災害はもとより、鉄道・航空機等の重大事故、放射性物質や有害化学物質、生物剤の漏洩事故等、特殊化・専門化傾向を強め、これら特殊災害に対応する資機材の開発整備と専門的知識を有する職員の育成が急務となりました。

また、平成 16 年 10 月に発生した新潟県中越地震や、平成 17 年４月に発生した JR 福知山線列車事故では、土砂崩落や爆発・可燃性ガスの漏洩等、二次災害発生の危険を伴う重大な活動障害が生じ、救助活動が大きな制約を受けたことから、より高度な技術や資機材を整備する必要性が生じました。

このように、多様化・複雑化の様相を呈する大規模災害や特殊災害に対して、救助体制を強化し、より迅速かつ効果的な救助活動を実現するため、消防庁は、平成 18 年４月に「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令」を改正し、新たな高度救助用資機材を装備した「高度救助隊」を各中核市に設置することとし、本市では、平成 19 年４月１日、人命救助に関する高度な知識・技術を有する専任救助隊員で編成する高度救助隊（通称 ASAT（アサート）：Akita Super Rescue Team）を設置して、救助技術および資機材の高度化を推進しています。



医療機関（DMAT）との連携訓練



化学テロを想定した災害対応訓練

3　緊急消防援助隊

大規模災害や特殊災害が発生し、被災した地域の消防力のみでは対応が困難な状況に陥った場合、市町村あるいは都道府県の行政区域を越えて消防力の広域的な運用を図る必要があります。

緊急消防援助隊は、平成７年１月の阪神淡路大震災の教訓を踏まえ、国内における大規模災害の発生に備えて、全国の消防機関相互の援助体制を構築し、消防活動をより効果的かつ迅速に実施するために創設された制度です。

緊急消防援助隊に登録された部隊は、平常時はそれぞれの地域の消防責任を担う一方で、他の都道府県において大規模災害や特殊災害が発生した場合には、消防庁長官の求め又は指示に基づき、速やかに被災地へ応援出動して救助活動を実施します。

本市では、平成９年以降、災害対応特殊救助工作車、資機材搬送車、支援車等の車両や資機材を導入して緊急消防援助隊に登録し、秋田県隊の中核として広域応援体制の整備を図っています。

本市からは、これまでに緊急消防援助隊として、平成 15 年９月 26 日に発生した十勝沖地震で５隊 16 名を出光興産(株)北海道製油所に、平成 20 年６月 14 日に発生した岩手・宮城内陸地震で、７隊 25 人を岩手県奥州市および宮城県栗原市に、平成 23 年３月 11 日に発生した東日本大震災で、47 隊 158 人を岩手県宮古市に、15 隊 42 人を宮城県本吉郡南三陸町にそれぞれ出動しました。また昨年９月６日に発生した北海道胆振東部地震では７隊 30 人が北海道厚真町に出動し、救助活動を行いました。

また、消防庁では、緊急消防援助隊の技術および連携能力の向上に資するため、各都道府県・市町村の協力のもと、全国合同訓練および地域ブロック合同訓練を実施しており、毎年、本市からも各訓練へ部隊を派遣し、広域応援体制の検証を行っています。

4　国際消防救助隊

消防庁長官の派遣要請に基づき参集する国際消防救助隊員は、海外で大規模災害が発生した際に日本国政府が派遣する「国際緊急援助隊救助チーム」の一員として、その高度な救助技術と能力を発揮し、被災国の人々に救いの手を差し伸べます。

本市では、高度救助隊員６人を国際消防救助隊員として消防庁に登録しており、平成 27 年４月 25 日に発生したネパール地震災害に総務省消防庁からの派遣要請を受け、職員１名を首都カト･マンズでの捜索活動のため 14 日間派遣しています。

登録隊員は、消防庁や独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する国際消防救助隊セミナーや国際緊急援助隊救助チーム総合訓練に参加することによって、海外での活動を想定した特殊環境下における救助技術および専門的知識を習得し、いつ発生するかわからない災害に備えています。



岩手県宮古市での救助活動
（平成 23 年東日本大震災）



国際緊急援助隊救助チーム
（ネパール地震災害）

通　信　指　令

１　消防総合通信指令システム

本システムは、火災を始めとする救急・救助・地震等複雑多様化する災害から市民の生命、身体、財産を守るため「より早く・より正確に・より安全に」を主眼とした消防指令業務の効率的運用を図ることを目的として設置されています。平成28年４月１日からは消防無線のデジタル化に伴い新指令システムに移行して運用しており、消防指令センターの指令台は、指令管制業務に関わる全ての有線・無線を取り扱うとともに、自動出動指定装置・地図等検索装置を組み込み連携できるようになっています。消防無線の基地局も秋田市内全域をカバーするため２局から６局（消防本部、セリオン、下浜、スポパークかわべ、竹の花、戸島）に増設されています。

119番通報は、消防指令センターで一括受付し、火災、救急、救助等の災害の判断と出動場所の特定をして出動車両を選別し指令します。平成22年３月25日から導入している統合型位置情報通知システムは、固定電話、ＩＰ電話およびＧＰＳ機能付携帯電話からの119番通報時に通報者の位置情報が通知され地図表示できるため通報場所を素早く特定できます。

また、消防署に駆け込んで助けを求める方からの119番通報にも対応できるよう駆け込み通報装置が設置され､聴覚や会話に不安のある方からの通報にも素早く対応するために、従来からのＦＡＸ119に加えＷｅｂ119緊急通報システムも導入し、迅速で的確な対応が可能となっています。

さらに、大規模災害発生時には通常４席で運用している指令台を指揮台とあわせて最大13席まで運用させることが可能であり、通報が集中する状況下においても的確かつ迅速に災害事案を処理できる受付体制が確立されています。

出動指令は、音声合成装置により予告指令、出動指令ともに自動的に指令が流れ、出動隊には音声以外にも出動場所の住所や災害点を記した地図などが記載されている指令書が備え付けのプリンター┅から自動印刷されます。

新指令システム導入にあわせ緊急車両には車両運用端末装置が設置され、出動隊が必要としている情報を表示し、確認しながら消防・救急・救助活動等を円滑に行えるようになっています。

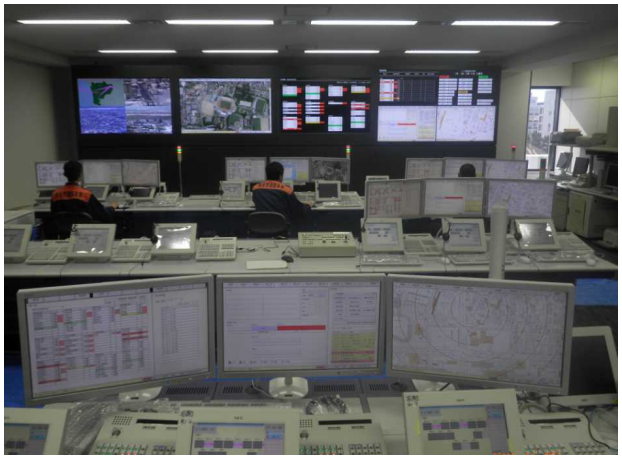
２　災害監視システム

本システムは、通信衛星を利用した「通話システム」と「画像伝送システム」から構成されており、総務省消防庁からの一斉指令受信の他、個別通信回線も有し、全国の地域衛星通信ネットワーク加入局との通信を行うことができます。

また、ポートタワーセリオン、アトリオンの２箇所にそれぞれ１台の昼夜兼用高感度監視カメラを設置しているため市内の状況を常に把握でき、大規模災害発生時には必要に応

じて消防本部の衛星地球局から通信衛星経由で、画像情報を首相官邸、総務省消防庁、全国の加入局に伝送できます。

指令課では、これらのシステムを活用し秋田市民の「安全」「安心」を様々な災害から守るために24時間365日１日も休まず見守り続けています。



消防指令センター



指令課保有ドローン
ＤＪＩ製「マトリス210」「ファントム４」



衛星通信用パラボラアンテナ



雄和竹の花基地局



セリオン基地局

消　防　団

1　消防団の概要

消防団は市町村の消防機関であり、その構成員である消防団員は、他に本業を持ちながらも非常勤特別職の地方公務員として、「自らの地域は自らで守る」という崇高な精神に基づいて活動しています。

消防団は火災等の災害発生時に出動し、消火・救助等の現場活動に従事するほか、平常時においても火災予防の広報活動や防災訓練の指導、応急手当の普及啓発等、管轄地域に密着した活動を展開し、地域防災力の向上・地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。

本市では、市域を 32 の地域に分割し、それぞれの地域を管轄する分団を配置しています。また、方面隊制度を採用し、分団単位での対応が困難な災害が発生した場合は、５方面隊（北部・中央・南部・河辺・雄和）が連携して活動する組織体制を整備しています。

消防団の組織

５方面隊-32 分団-84 部-169 班

実員 1,810 人

器具置場 167 箇所

消防ポンプ自動車	９台
小型動力ポンプ積載車	101 台
小型動力ポンプ	59 台

（平成 31 年４月１日現在）



消防団に配置されている車両
（救助資機材搭載型消防ポンプ自動車）

2　多様な人材の活用

(1) 女性消防団員

近年、地域の安全・安心の確保に対する住民の関心の高まりなどを背景に消防団活動も多様化し、女性団員の活動が多岐にわたって期待されています。

本市では、平成 18 年から女性団員の採用を開始し、軽可搬ポンプを活用した消火訓練や避難所の運営支援訓練、応急手当指導員の育成等を行い、女性団員の能力開発に取り組んでいます。



軽可搬ポンプ操法訓練



避難所運営支援訓練

(2) 機能別消防団員

任務を限定せず全ての活動に参加する基本団員の入団促進を図るとともに、入団希望者の実情に応じて個々の社会経験や能力、活動意欲を消防団で発揮することができるよう、平成 23 年から機能別消防団員を採用しています。

機能別団員の活用例

ＯＢ団員

定年等により退職した消防職員や団員を機能別団員として再任用、消防で培った豊富な経験や知識、技術を活かして現役世代を指導・サポートします。

防災カレッジサポーター

大学生を消防団に採用、地震などの大規模災害が発生した場合、応急手当や避難所運営、通訳等の被災者支援活動を行います。

地域分団支援団員

地域の分団に所属し、火災予防や応急手当の普及啓発活動、分団員の後方支援など、災害活動以外の分野で地域の消防団員をサポートします。

3　消防団協力事業所表示制度

消防団員に占める被雇用者（サラリーマン）の割合が年々上昇していることから、災害発生時等に消防団が効果的に機能するためには、団員を雇用する事業所の消防団活動への理解と協力を得ることが不可欠になっています。

従業者が消防団に相当数入団している事業所、勤務時間中の消防団活動に休暇制度を設けて便宜を図るなど、消防団活動に協力している事業所を「消防団協力事業所」として認定し、標示証を交付しています。



消防団協力事業所表示証

消防団協力事業所の現状

市内 82 事業所を消防団協力事業所として認定し、左の消防団協力事業所表示証を交付しています。（平成 31 年４月１日現在）

表示証は社屋等に掲示できるほか、パンフレットやホームページ等で PR することも可能で、企業のイメージアップにもつながります。

事業所の地域防災への協力が社会貢献として広く認められるとともに、秋田市が行う建設工事の入札参加資格審査において、評価点数の加点を受けられる等のメリットがあります。

防　　災

市民と共に築く安全な暮らし

1　市民防災の推進

○　防災訓練の実施

ア　秋田市総合防災訓練

９月１日の「防災の日」を中心とした「防災週間」の期間中に、防災関係機関と地域住民が協力して、地震や火災・特殊災害などを想定した総合的な防災訓練を実施し、災害の予防と災害応急対策などの防災活動が迅速的確に実施できるようにするとともに、防災意識の高揚に努めています。

第１回目の訓練は昭和40年９月１日に行い、その後毎年継続して実施しており、平成31年度で54回目を迎えます。（なお、平成30年度は、大雨により洪水警報等が発表されたため中止。）

イ　県民防災意識高揚強調週間（５月20日～５月26日）

５月26日（日本海中部地震の発生した日）の「県民防災の日」を中心に、市内の事業所・学校・病院・各種施設などで、災害を想定した初期消火・避難誘導などの防災訓練を実施し、広く市民の防災意識の高揚に努めています。

ウ　「津波防災の日」避難訓練

11月５日の「津波防災の日」に、沿岸部の地域住民が津波避難訓練を実施し、津波対策についての理解と関心を深めるとともに、地域防災力の向上に努めています。

エ　土砂災害避難訓練

近年、全国的に局地的豪雨による土砂災害の発生が頻発していることから、土砂災害避難訓練を実施し、土砂災害への防災意識と地域防災力の向上に取り組んでいます。

○　防災功労者表彰

市の記念日である７月12日に、長年にわたり自主防災組織の模範となって、地域防災力の向上に貢献している自主防災組織や個人を防災功労者として表彰しています。

2　災害に備えて

○　指定緊急避難場所・指定避難所の指定

地震、洪水、津波、土砂等の災害発生時に、一時的に避難する場所（指定緊急避難場所）として、小中学校グラウンドや都市公園等を、また、災害により自宅での生活が困難になった市民の避難施設（指定避難所）として、コミュニティセンターや小中学校体育館等を指定しています。



【津波避難ビル等案内標識】

これらについては、避難場所標識や避難場所案内板、避難場所誘導標識等を設置し、速やかに避難できるようにしています。

また、津波が発生した場合に海岸域の人々へいち早く危険を知らせるため、津波警

報サイレンを11基設置し海岸域をカバーしているとともに、夜間に発生した場合に、市民が円滑に避難できるよう、津波に対する指定緊急避難場所の避難場所標識に、停電時にも使用可能なソーラーパネル式LED照明灯を設置しています。

○　緊急救援物資の備蓄について

災害が発生した時に備え、おおむね３日分程度の飲料水・食糧品などの備蓄を各家庭に呼びかけておりますが、市でも災害時に備え、食糧品や生活用品などの救援物資を市内各所に備蓄しています。

このうち、食糧品については、乳幼児や高齢の方に配慮し、お粥や粉ミルクなどの備蓄も行っています。生活用品については、避難所生活をするうえで必要な、毛布・タオル等を中心に備蓄しているほか、避難者のプライバシーをある程度確保するための屋内用テントや障がい者の方に配慮した簡易トイレ、さらには冬期間の避難所生活を考慮して石油ストーブの備蓄も行っています。また、各地区のコミュニティセンターおよび各小中学校に自家発電機・投光器・特設公衆電話を配備しています。

飲料水については、上下水道局による応急給水などで対応するとともに、長期間保存が可能な飲料水を備蓄しています。

３　自主防災組織

○　自分たちのまちを守るために

大災害が発生したとき、私たちの住むまちはどうなるでしょう。

市の直下でマグニチュード7.2の地震が発生した場合、約8,000人の死者・負傷者が発生すると予想されています。このほか、多くの建物の倒壊、火災の発生、道路の寸断、断水や停電が想定されます。

市内各地で被害が同時に発生した場合、消防や警察など公的機関による救援活動が、行き届かない場合も考えられます。

このような場合には、地域のみなさんが初期消火、住民の救出救護などの活動に取り組み、被害を最小限にとどめるようお互いに協力しあうことが大事になってきます。「自分たちのまちは自分たちで守る。」という意識を持ち、地域防災活動に取り組む必要があります。

○　自主防災組織とは

家庭における日ごろの備えや、いざというときの心がまえとともに、近所の人たちと協力しあい、地域の防災活動を効果的に行うための組織です。

自主防災組織は町内会が中心となって住民同士が協力し、自発的に結成されています。

○　市の支援

ア　職員の派遣、訓練と研修会

自主防災組織が防災に関する学習会を開いたり、初期消火訓練を行ったりする場合、専門的なアドバイスが必要となることがあるかもしれません。

市では防災に関する学習会等を開催する場合、職員派遣や防災に関するＤＶＤなどの貸し出し等を行っています。また、初期消火訓練や救急救命講習会等は、最寄り



【平成30年度リーダー研修会】

の消防署へご相談いただけると消防職員の指導を受けることができます。

さらに、市民の中から自主防災活動のリーダーを育成するため、リーダー研修会を開催しています。

イ　防災資機材の助成

非常時に活動する際、なくてはならないのが各種の防災資機材です。

市では、毎年、新規結成組織や結成から一定期間を経過した組織に対して、予算の範囲内で防災資機材の助成を行っています。

防　災　資　機　材
1. 防水シート
2. 消火器（10型）（20型）
3. 多機能蛍光灯ランタン
4. 担架（折り畳み式）
5. 携帯用拡声器（サイレン付き）
6. 救助工具（箱収納式）
7. 救急医療セット（20人用、ハードケース入り）
8. 毛布（10枚パック）
9. 救急医療セット（50人用、ハードケース入り）
10. ワンタッチリヤカー
11. テント（2間×3間）
12. その他初期消火、救助、救護等 自主防災活動に必要な資機材 資機材の金額に応じ換算



【助成資機材例】

1　総　　務

消　　防　　建　　物

平成３１年４月１日現在

区分 / 署所別		所在地	庁舎 構造	庁舎 建面積（㎡）	庁舎 延面積（㎡）	敷地面積（㎡）	建築年月日
消防本部		山王一丁目１番１号	鉄骨鉄筋コンクリート 地上5階 地下1階	817.15	4,342.04	市庁舎	S60.12.25
秋田消防署	本署	〃	本部庁舎と併設（1・2階）			敷地構内	改築
	新屋分署	新屋比内町 ６番63号	鉄筋コンクリート 2階建	363.15	744.38	1,573.76	S59.12.5 新築移転
	勝平出張所	新屋勝平町 11番23号	鉄骨造 2階建	223.29	360.17	793.00	H3.1.28 新築
	牛島出張所	牛島東一丁目 ５番20号	鉄骨造 2階建	256.00	520.00	887.82	S59.3.26 新築移転
土崎消防署	本署	土崎港西四丁目 ２番10号	鉄筋コンクリート 2階建＋ＰＨ階	1482.8	2,982.83	5,001.09	H25.5.1 新築移転
	寺内出張所	寺内児桜一丁目 ５番40号	鉄骨造 2階建	119.00	251.00	304.76	S61.3.6 新築移転
	将軍野出張所	土崎港東四丁目 ２番47号	鉄筋コンクリート 2階建	229.00	454.00	995.44	S48.12.7 新築
	飯島出張所	飯島字前田表 380番地３	鉄筋コンクリート 2階建	592.80	855.00	1,980.53	H8.3.22 新築
	外旭川出張所	外旭川字八幡田 129番地１	鉄筋コンクリート 2階建	662.22	922.17	2,934.70	H11.6.18 新築
城東消防署	本署	東通六丁目 16番16号	鉄筋コンクリート 3階建	441.92	1,258.33	1,654.73	S55.3.20 新築
	広面出張所	広面字堤敷 38番地１	鉄骨造 2階建	216.00	364.50	832.89	H1.3.17 新築移転
秋田南消防署	本署	御野場二丁目 15番５号	鉄筋コンクリート 3階建	571.15	1,356.69	3,056.07	H4.3.30 新築
	河辺分署	河辺和田字北条ヶ崎 27番地１	鉄筋コンクリート 2階建	696.65	844.96	3,398.80	H27.6.3 新築移転
	雄和分署	雄和妙法字上大部 48番地１	鉄骨造 3階建	272.92	513.96	1,053.95	H28.5.27 新築移転

消　　防　　職　　員

消防職員配置状況

所属＼階級		計	消防吏員								その他の職員	再任用
			正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士		
計		425	1	6	13	54	78	106	88	65	1	13
本部	消防長	1	1									
	理事	1		1								
	次長	1		1								
	総務課	19			3	7	2	3	1		1	2
	警防課	8			1	3	2	1				1
	救急課	5			1	1	1	1				1
	予防課	12			1	3	3	3	1			1
	指令課	23			1	6	5	5	5			1
	小計	**70**	**1**	**2**	**7**	**20**	**13**	**13**	**7**	**0**	**1**	**6**
秋田南	本署	54		1	2	4	10	18	10	9		
	新屋（分）	28				4	5	8	5	4		2
	牛島（出）	12				1	3	2	4	2		
	勝平（出）	12				1	3	2	2	4		
	小計	**106**		**1**	**2**	**10**	**21**	**30**	**21**	**19**	**0**	**2**
土崎	本署	55		1	2	3	10	15	14	10		
	寺内（出）	12				1	2	2	3	4		
	将軍野（出）	12				1	2	2	3	3		1
	飯島（出）	12				1	2	2	2	4		1
	外旭川（出）	12				1	1	3	3	4		
	小計	**103**		**1**	**2**	**7**	**17**	**24**	**25**	**25**	**0**	**2**
城東	本署	48		1	1	4	8	15	14	5		
	広面（出）	18				1	3	2	6	4		2
	小計	**66**		**1**	**1**	**5**	**11**	**17**	**20**	**9**	**0**	**2**
秋田南	本署	40		1	1	4	8	12	6	8		
	河辺（分）	20				4	4	5	4	2		1
	雄和（分）	20				4	4	5	5	2		
	小計	**80**		**1**	**1**	**12**	**16**	**22**	**15**	**12**	**0**	**1**

（分）：分署　　（出）：出張所

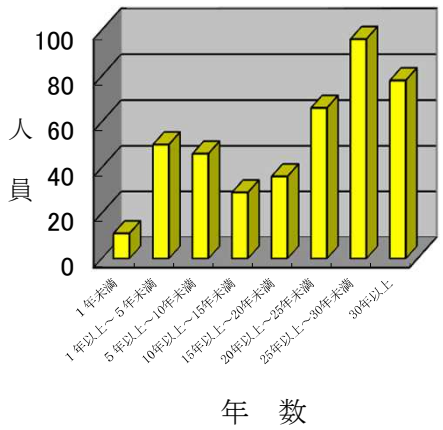
消防職員勤務年数　**※再任用職員は含まず**

年数＼階級	計	消防吏員								その他の職員
		正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	
１年未満	11								11	
１年以上～５年未満	50							4	46	
５年以上～10年未満	46						4	35	7	
10年以上～15年未満	29					2	15	11	1	
15年以上～20年未満	36				1	8	18	9		
20年以上～25年未満	66				4	22	27	13		
25年以上～30年未満	96			2	21	26	33	14		
30年以上	78	1	6	11	28	20	9	2		1
計	412	1	6	13	54	78	106	88	65	1
平均	19.9	37.0	37.7	35.8	30.8	26.6	21.6	14.3	2.7	34.0

消防職員年齢　　**※再任用職員は含まず**

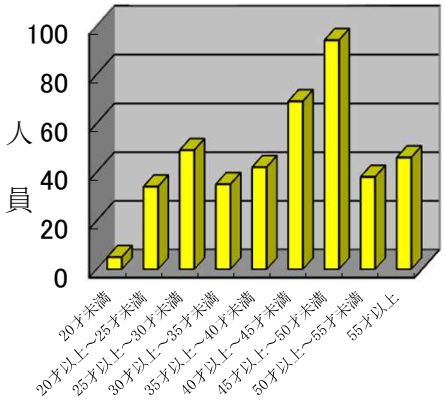
階級別 / 年齢	計	消防吏員								その他の職員
		正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	
20才未満	5								5	
20才以上～25才未満	34							2	32	
25才以上～30才未満	49							25	24	
30才以上～35才未満	35						10	22	3	
35才以上～40才未満	42					3	27	11	1	
40才以上～45才未満	69				2	21	35	11		
45才以上～50才未満	94				24	30	25	15		
50才以上～55才未満	38			3	13	14	5	2		1
55才以上	46	1	6	10	15	10	4			
計	412	1	6	13	54	78	106	88	65	1
平均	40.7	59.0	57.5	56.0	51.0	47.6	42.2	35.3	24.0	53.0

消防職員勤務年数比較



年　数

消防職員年齢比較



年　齢

消防職員の研修状況（平成31年度予定）

区分	研修科目	人数	入校期間
消防大学校	幹部科(第58期)	1	R元.8.19～10.4
	幹部科(第60期)	1	R2.1.9～2.27
	警防科(第106期)	1	R元.10.17～12.6
	ＮＢＣコース	1	R2.2.4～2.26
救急救命東京研修所	救急救命士研修	3	H31.4.3～.R元.10.3
秋田県消防学校	初任科	11	H31.4.8～R元.9.25
	消防操法指導員研修	6	R元.5.8～5.9
	女性消防操法指導員研修	1	R元.5.10
	幹部教育	2	R元.7.29～8.6
	警防科	2	R元.10.2～10.16
	救助科	4	R元.10.1～10.30
	火災調査科	2	R元.10.23～11.6
	特殊災害科	1	R元.11.7～11.15
	危険物科	2	R元.11.25～11.29
	ビデオ喉頭鏡追加講習	推薦	R元.11.8
	救急救命処置再講習	推薦	R元.11.19～11.21
	救急科	10	R2.1.7～2.28

消防職員給料

初任給		平均給料	平均年齢	摘要給料表
高校卒業程度	大学卒業程度			
148,203円	180,544円	315,880円	40.6歳	行政職（一）

勤務時間・勤務体制

勤務別	勤務時間		勤務体制	職員数	平成30年休暇取得日数	
					一人当り	平均
毎日勤務者	38時間45分/週	7時間45分/1日	週休 2日制	48人	9.2日	10.5日
隔日勤務者	38時間45分/週	15時間30分/1当務	4週 8休制	364人	11.9日	

消防特殊業務手当

区分／種別	内訳	単位	支給額	摘要
1 特殊業務手当	(1) 高所作業従事手当	1 回	10m~15m 140円 15m以上 200円	H 6 . 4 改正
	(2) 深所作業従事手当	1 回	15m以下 140円	〃
	(3) 災害防ぎょ手当	1 回	250円	〃
	(4) 機関員従事手当	1 回	140円	〃
	(5) 潜水作業従事手当	1 回	250円	〃
2 救急手当	(1) 救急業務従事者	1 回	250円	〃
	(2) 救急救命処置従事者	1 回	370円	H18 . 1改正
3 夜間特殊業務手当	深夜5時間以上	1 回	980円	S63 . 4改正
	〃 2時間以上5時間未満		650円	〃
	〃 2時間未満		410円	〃

予　　算

年度別市一般会計と消防費　　（単位：千円）

年度＼区分		市一般会計	消防費	内訳 常備消防費	非常備消防費	消防施設費	災害対策費	市一般会計の構成比（%）
24	予算現額	135,850,996	4,733,360	3,381,524	165,324	1,186,512		3.48%
	決算額	128,911,445	4,658,020	3,366,402	162,386	1,129,234		3.61%
25	予算現額	128,351,591	3,637,535	3,295,211	162,065	180,259		2.83%
	決算額	123,269,995	3,610,314	3,285,389	158,539	166,386		2.93%
26	予算現額	133,151,538	5,096,857	4,455,208	161,086	480,563		3.83%
	決算額	125,080,244	4,652,366	4,178,602	160,621	313,143		3.72%
27	予算現額	139,185,323	4,817,817	3,992,660	192,234	632,923		3.46%
	決算額	137,283,052	4,670,084	3,960,403	187,699	521,982		3.40%
28	予算現額	142,439,121	3,950,325	3,489,986	218,795	241,544		2.77%
	決算額	132,496,078	3,870,910	3,429,174	217,488	224,248		2.92%
29	予算現額	140,143,911	3,807,862	3,501,823	219,911	86,128		2.72%
	決算額	136,220,623	3,800,104	3,498,144	217,787	84,173		2.79%
30	当初予算額	127,730,000	3,848,383	3,532,342	218,216	97,825		3.01%
31	当初予算額	134,500,000	4,149,998	3,667,066	219,016	263,916		3.09%

人口に対する消防費　　（単位：円）

区分＼年度	人口（人）	一人当たり消防費	世帯数（戸）	一世帯当たり消防費
24	320,703	14,759	131,963	35,868
25	319,367	11,389	132,890	27,372
26	318,186	16,018	133,716	38,117
27	316,297	15,231	134,630	35,785
28	314,335	12,567	135,147	29,229
29	310,906	12,247	135,370	28,129
30	308,052	12,492	135,256	28,452
31	305,944	13,564	135,822	30,554

２　警　　防

装　　備

消防車両等の配置状況(H31.4.1現在)

種別＼所属	計	消防本部	秋田消防署 本署	秋田消防署 新屋分署	秋田消防署 牛島出張所	秋田消防署 勝平出張所	土崎消防署 本署	土崎消防署 寺内出張所	土崎消防署 将軍野出張所	土崎消防署 飯島出張所	土崎消防署 外旭川出張所	城東消防署 本署	城東消防署 広面出張所	秋田南消防署 本署	秋田南消防署 河辺分署	秋田南消防署 雄和分署
計	71 15	11	8 2	4	2 1	1	13 4	1	2 1	2 1	3 2	7	2	7 2	4 1	4 1
消防ポンプ自動車	9 3		1	1				1		1		1	1	1 1	1 1	1 1
水槽付消防ポンプ自動車	8 1			1	1	1			1		2 1	1			1	
化学車	4		1				1							1		1
梯子付消防ポンプ自動車	3		1				1					1				
大型化学高所放水車	1						1									
泡原液搬送車	1						1									
救助工作車	5 1		1				1			1 1		1		1		
照明電源車	1 1								1 1							
指令車	1	1														
救急車	12 3		2 1	1			3 1					1	1	2 1	1	1
支援車	2 2				1 1		1 1									
資機材搬送車	1 1						1 1									
救急指揮支援車	1	1														
原調車	4	1					1					1		1		
広報車	5 1	4	1 1													
水難救助車	1 1						1 1									
指揮車	4		1				1					1		1		
パトロール車	3			1											1	1
本部警防	1	1														
乗用車	1	1														
作業車	1	1														
活動支援車	1	1														
人員輸送車	1 1										1 1					

■は、消防本部所管車両であり上段の内数

消防車両等現有状況(H31.4.1現在)

区分 / 所属		種別	車名	車両番号	初年度登録	ポンプ製作所	摘要
		救助工作車	いすゞ	秋 田 831 ち 119	16.02	森 田	予備救助1(旧秋田救助・飯島出張所配置)
		水槽付消防ポンプ自動車	三菱	秋 田 88 す 5843	8.03	森 田	本部予備1(旧勝平小隊・外旭川出張所配備水1, 500ﾘｯﾄﾙ)
		消防ポンプ自動車	三菱	秋 田 88 す 5782	8.03	日 機	本部予備4 (旧飯島小隊・雄和分署配置)
		消防ポンプ自動車	三菱	秋 田 88 す 3334	5.03	森 田	本部予備3(旧寺内小隊・河辺分署配置)
		消防ポンプ自動車	三菱	秋 田 88 す 8850	11.02	森 田	本部予備2(旧秋田小隊・秋田南消防署本署配置)
		救急車	トヨタ	秋 田 800 さ 9992	22.12		本部予備救急1 救急自動車 4WD (旧広面救急・秋田南消防署本署配置)
		救急車	トヨタ	秋 田 800 さ 8750	20.12		本部予備救急2 救急自動車 4WD (旧土崎救急・土崎消防署本署配置)
		救急車	トヨタ	秋 田 800 さ 7924	19.09		本部予備救急3 救急自動車 4WD (旧秋田救急・秋田消防署本署配置・ワークステーション隊)
		照明電源車	いすゞ	秋 田 800 は 101	13.03	森 田	4WD(将軍野出張所配置)
		支援車1	日野	秋 田 88 す 7715	10.02	森 田	4WD(土崎消防署本署配置)
		支援車2	日野	秋 田 800 は 747	23.03		緊急消防援助隊登録車 (土崎消防署本署配置)
		資機材搬送車	三菱	秋 田 88 す 7596	9.12		緊急消防援助隊登録車 4WD(土崎消防署配置)
		救急指揮支援車	トヨタ	秋 田 800 す 1308	25.02		4WD(救急課)ハイブリッド
		本部警防	三菱	秋 田 800 さ 5052	15.12		4WD(警防課)
		本部予防1	ダイハツ	秋 田 880 あ 1386	28.01		4WD(予防課) 軽自動車
		本部予防2	ダイハツ	秋 田 880 あ 1387	28.01		4WD(予防課) 軽自動車
		本部予防3	スバル	秋 田 800 さ 3069	13.12		(予防課)
		広報車4	ニッサン	秋 田 800 さ 2009	12.11		4WD(秋田消防署本署配置) 旧秋田指揮
		本部原調車	ニッサン	秋 田 800 さ 773	11.12		旧指令車4WD(予防課)
		水難救助車	トヨタ	秋 田 800 す 2519	26.12		(土崎消防署本署配置)
		団司令車	トヨタ	秋 田 800 さ 6744	18.02		4WD(団本部)
		作業車	トヨタ	秋 田 45 つ 540	5.10		4WD(警防課)
		活動支援車	ニッサン	秋 田 400 ち 4972	30.03		4WD(警防課) 寄贈
		乗用車	ニッサン	秋 田 33 な 521	9.04		H19.3総務部庶務課より所管換(総務課)
		人員輸送車	トヨタ	秋 田 800 す 1311	25.02		緊急消防援助隊登録車 21名乗(外旭川出張所配置)
		秋田県指揮隊車	トヨタ	秋 田 800 す 822	24.04		緊急消防援助隊登録車 (指令課)
秋田消防署	本署	化学車	いすゞ	秋 田 830 さ 315	18.02	森 田	4WD(水2,500ﾘｯﾄﾙ・泡原液500ﾘｯﾄﾙ)
		救助工作車	日野	秋 田 800 は 1253	31.02	森 田	Ⅲ型 緊急消防援助隊登録車 4WD
		梯子付消防ポンプ自動車	日野	秋 田 800 は 717	22.08	森 田	屈折梯子車(最大地上高25m)
		救急車	トヨタ	秋 田 800 す 3223	28.02		緊急消防援助隊登録車 救急車 4WD
		消防ポンプ自動車	日野	秋 田 800 す 4436	30.01	日 機	4WD
		指揮車	トヨタ	秋 田 800 す 4553	30.03		4WD
	新屋分署	水槽付消防ポンプ自動車	日野	秋 田 800 は 779	24.01	森 田	4WD(水2,000ﾘｯﾄﾙ)キャフス
		消防ポンプ自動車	日野	秋 田 800 さ 9925	22.11	森 田	4WD(水600ﾘｯﾄﾙ) キャフス
		救急車	トヨタ	秋 田 830 せ 2014	26.11		救急車 4WD
		パトロール車	トヨタ	秋 田 800 さ 2053	12.12		4WD
	勝平出張所	水槽付消防ポンプ自動車	日野	秋 田 800 は 1060	27.12	森 田	緊急消防援助隊登録車 4WD(水1,500ﾘｯﾄﾙ) キャフス
	牛島出張所	水槽付消防ポンプ自動車	日野	秋 田 800 は 736	23.01	森 田	緊急消防援助隊登録車 4WD(水1,500ﾘｯﾄﾙ) キャフス

区分 / 所属		種別	車名	車両番号	初年度登録	ポンプ製作所	摘要
土崎消防署	本署	化学車	日野	秋 田 830 さ 3515	21.02	日 機	4WD（水2,000ﾘｯﾄﾙ・泡原液500ﾘｯﾄﾙ）キャフス
		救助工作車	日野	秋 田 800 は 857	25.03	森 田	Ⅲ型 4WD
		大型化学高所放水車	日野	秋 田 800 は 1124	29.01	森 田	緊急消防援助隊登録車（最大地上高27m屈折式、泡原液1,800ﾘｯﾄﾙ）
		梯子付消防ポンプ自動車	三菱	秋 田 88 ゆ 713	4.11	森 田	大型高所放水車兼用（最大地上高42m）
		泡原液搬送車	いすゞ	秋 田 831 つ 119	17.03	ドライ	緊急消防援助隊登録車（泡原液4,000ﾘｯﾄﾙ） 4WD
		救急車1	トヨタ	秋 田 830 せ 2016	29.03		緊急消防援助隊登録車 救急車 4WD
		救急車2	トヨタ	秋 田 800 す 4440	30.01		緊急消防援助隊登録車 救急車 4WD
		指揮車	ニッサン	秋 田 800 さ 9513	22.03		4WD
		原調車2	トヨタ	秋 田 88 す 7711	10.02		4WD
	寺内出張所	消防ポンプ自動車	日野	秋 田 800 す 1853	25.12	森 田	4WD(水600ﾘｯﾄﾙ） キャフス
	将軍野出張所	水槽付消防ポンプ自動車	日野	秋 田 800 は 781	24.02	森 田	緊急消防援助隊登録車 （水1, 500ﾘｯﾄﾙ） キャフス
	飯島出張所	消防ポンプ自動車	日野	秋 田 800 す 3070	27.11	森 田	4WD(水600ﾘｯﾄﾙ） キャフス
	外旭川出張所	水槽付消防ポンプ自動車	日野	秋 田 800 は 1123	29.01	森 田	緊急消防援助隊登録車 4WD（水1,500ﾘｯﾄﾙ） キャフス
城東消防署	本署	水槽付消防ポンプ自動車	日野	秋 田 800 は 691	22.02	日機	緊急消防援助隊登録車4WD（水2,000ﾘｯﾄﾙ） キャフス
		消防ポンプ自動車	日野	秋 田 800 す 2414	26.10	森 田	4WD(水600ﾘｯﾄﾙ） キャフス
		梯子付消防ポンプ自動車	日野	秋 田 800 は 972	26.09	森 田	緊急消防援助隊登録車 最大地上高35m
		救助工作車	ニッサン	秋 田 88 ゆ 1041	7.08	帝国繊維	
		救急車	トヨタ	秋 田 830 せ 2017	29.08		緊急消防援助隊登録車 救急車 4WD
		指揮車	ニッサン	秋 田 800 さ 4935	15.10		4WD
		原調車3	トヨタ	秋 田 800 さ 4037	14.11		4WD
	広面出張所	消防ポンプ自動車	日野	秋 田 800 さ 9434	22.01	森 田	4WD(水600ﾘｯﾄﾙ） キャフス
		救急車	トヨタ	秋 田 800 す 4799	30.08		救急車 4WD
秋田南消防署	本署	化学車	日野	秋 田 800 は 907	25.11	森 田	水1,700ﾘｯﾄﾙ・泡原液500ﾘｯﾄﾙ キャフス
		救助工作車	日野	秋 田 800 は 1187	30.02	平 和	Ⅱ型 緊急消防援助隊登録車 4WD
		救急車	日産	秋 田 830 せ 2012	24.12		救急車 4WD
		指揮車	トヨタ	秋 田 800 す 5094	31.02		4WD
		原調車4	トヨタ	秋 田 88 す 7991	10.04		4WD （旧河辺原調 原調車5）
	河辺分署	水槽付消防ポンプ自動車	日野	秋 田 800 は 852	25.01	森 田	4WD(水2,000ﾘｯﾄﾙ） キャフス
		救急車	トヨタ	秋 田 800 す 4798	30.08		救急車 4WD
		パトロール車	トヨタ	秋 田 800 さ 4123	14.12		4WD
	雄和分署	化学車	いすゞ	秋 田 800 は 1252	31.02	日機	水1,500ﾘｯﾄﾙ、泡原液300ﾘｯﾄﾙ
		救急車	トヨタ	秋 田 830 せ 2013	26.03		救急車 4WD
		パトロール車	スバル	秋 田 800 さ 4768	15.09		4WD

水　　利

消防水利の状況　　平成31年4月１日現在

管轄別＼水利区分		合計	消火栓		防火水槽								耐震性貯水槽		その他		
			公設	私設	公設				私設								
			地上式	地上式	20m³以上40m³未満		40m³以上		20m³以上40m³未満		40m³以上		消火用	飲料水兼用	プール	堀・池	流水
					有がい	無がい	有がい	無がい	有がい	無がい	有がい	無がい					
合計		5,224	4,379		668								5	1	171		
			3,846	533	579				89								
					176		403		13		76						
					176	0	401	2	11	2	62	14			62	6	103
秋田	小計	1,490	1,110	211	17		111	2	2		9	4	3	1	16		4
	本署	504	444	6	1		34				5	2	1	1	7		3
	新屋分署	512	314	127	10		51	2	1			2			5		
	牛島出張所	168	155				11						1		1		
	勝平出張所	306	197	78	6		15		1		4		1		3		1
土崎	小計	1,409	890	292	33		100		2	2	12	8	1		15	2	52
	本署	489	245	208	3		20				1	6			2		4
	寺内出張所	239	164	43	12		3		1	1	4		1		1	1	8
	将軍野出張所	208	156	33	2		11				1	2			3		
	飯島出張所	300	195	5	12		41		1	1	1				7	1	36
	外旭川出張所	173	130	3	4		25				5				2		4
城東	小計	906	738	15	11		77		1		16	2	1		17	3	25
	本署	669	537	15	10		60		1		5		1		12	3	25
	広面出張所	237	201		1		17				11	2			5		
秋田南	小計	1419	1108	15	115		113		6		25				14	1	22
	本署	542	436		13		62		6		16				9		
	河辺分署	500	422	3	44		6				1				4	1	19
	雄和分署	377	250	12	58		45				8				1		3

＊　飲料水兼用耐震性貯水槽は、総務部所管

消防水利施設年度別整備状況

区分＼年度別	消火栓		防火水槽				耐震性貯水槽新設		帰属等	
	地上式		新設		廃止		消火用	飲料水兼用	消火栓	防火水槽
	新設	撤去	20m³	40m³	20m³	40m³	100m³	100m³		
25	2	3	0	1	1	0	0	0	1	0
26	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0
27	3	1	0	1	1	2	0	0	2	0
28	2	0	0	0	1	1	0	0	5	0
29	1	4	0	0	0	2	0	0	6	0
30	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0

応援協定の締結状況

市町村は、管轄区域における消防を十分に果たすべき責任を有しますが、市町村の消防力を超えた大規模災害や特殊災害に的確に対応するため、秋田市は、以下のとおり関係機関との間で応援協定を締結しています。

名　称	締結年月日	協定市町村名等	応援内容
船舶火災の消火に関する秋田海上保安部と秋田市消防本部との業務協定	平成31年1月22日	秋田市消防本部 秋田海上保安部	船舶火災
秋田空港及びその周辺における 消防救難活動に関する協定	平成18年12月20日	秋田県 秋田市	空港及びその周辺の 消火・救難
秋田自動車道消防 相互応援協定	平成3年7月15日	秋田市 大曲仙北広域市町村圏組合 横手市	火災・救急 その他の災害
秋田県広域消防 相互応援協定	平成29年3月27日	県内市町 消防の一部事務組合 消防を含む一部事務組合	大規模又は 特殊な災害
秋田外環状道路 消防相互応援協定	平成9年11月5日	秋田市 湖東地区行政一部事務組合	火災・救急 その他の災害
秋田県消防防災 ヘリコプター 応援協定	平成11年4月1日	秋田県・県内市町 消防の一部事務組合 消防を含む一部事務組合	火災・救急 その他の災害
日本海東北自動車道 消防相互応援協定	平成14年10月24日	秋田市 大曲仙北広域市町村圏組合 由利本荘市	火災・救急 その他の災害
鉄道災害発生時における 消防活動に関する協定	平成20年9月17日	秋田市消防本部 秋田県内各消防本部 ＪＲ東日本秋田支社 ＪＲ東日本盛岡支社	鉄道災害
鉄道災害発生時における 消防活動に関する協定	平成20年12月12日	秋田市消防本部 秋田臨海鉄道株式会社	鉄道災害
石油基地自治体協議会加盟 団体災害時相互応援協定	平成23年7月12日	秋田市 石油基地自治体協議会	コンビナート事故 その他の災害

救　　助

事故種別出動件数および活動件数（平成30年中）

区分＼事故種別	火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
出動件数	18	2	24	14	11		24			10	103
活動件数	18	2	24	12	11		24			10	101

事故種別救助人員および車両別搬送人員（平成30年中）

区分＼事故種別		火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
救助人員		2		29	11	21		22			10	95
搬送車両等の内訳	救急自動車	1		28	9			16			7	61
	ヘリコプター											0
	その他の車両（消防機関）											0
	その他の車両（消防機関以外）											0
	計	1	0	28	9	0	0	16	0	0	7	61

事故種別出動人員および活動人員（平成30年中）

区分＼事故種別		火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
出動人員	専任救助隊員	133	8	82	85	22		62			38	430
	兼任救助隊員			6	7	3		15			6	37
	消防隊員	516	34	154	261	47		64			44	1,120
	救急隊員	57	6	109	39	3		66			30	310
	計	706	48	351	392	75	0	207	0	0	118	1,897
活動人員	専任救助隊員	77	4	72	68	22		48			34	325
	兼任救助隊員			3		3		12			6	24
	消防隊員	68	4	91	187	47		37			20	454
	救急隊員	12		73	30	3		51			24	193
	計	157	8	239	285	75	0	148	0	0	84	996

事故種別出動車両台数および活動車両台数（平成30年中）

区分		火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
出動車両	救助工作車	36	2	24	25	5		21			12	125
	ポンプ車	98	7	14	43	6		8			7	183
	梯子車	2			1							3
	化学車	28	1	13	4	3		1			1	51
	指揮車・指令車	18	1	24	20	4		17			6	90
	救急車	19	2	36	12	1		22			10	102
	その他	1			30	4					1	36
	計	202	13	111	135	23	0	69	0	0	37	590
活動車両	救助工作車	21	1	19	18	5		16			11	91
	ポンプ車	11	1	11	32	6		6			2	69
	梯子車	1			1							2
	化学車	6		10	3	3		1			1	24
	指揮車・指令車	1		7	10	4		6			4	32
	救急車	4		24	10	1		17			8	64
	その他				13	4						17
	計	44	2	71	87	23	0	46	0	0	26	299

事故種別発生場所別出動件数および活動件数（平成30年中）

区分			火災 建物	火災 建物以外	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
出動件数	屋内	住居	9						22			2	33
		その他の屋内	7						2			1	10
	屋外	高速自動車国道			3								3
		その他の道路			19								19
		内水面				9							9
		外水面				5							5
		山岳										1	1
		その他の屋外	2	2	2		11					5	22
	地下												0
	その他											1	1
	計		18	2	24	14	11	0	24	0	0	10	103
活動件数	屋内	住居	9						22			2	33
		その他の屋内	7						2			1	10
	屋外	高速自動車国道			3								3
		その他の道路			19								19
		内水面				7							7
		外水面				5							5
		山岳										1	1
		その他の屋外	2	2	2		11					5	22
	地下												0
	その他											1	1
	計		18	2	24	12	11	0	24	0	0	10	101

建物火災における消防隊出動状況

（平成30年中）

項目／月別	火災件数			出動隊総数				出動人員				出動から現場到着までの走行距離				出動から現場到着までの所要時間				消火活動状況					非常備	
		建物火災	第1出動		現場到着隊	消火隊	第1出動		現場到着隊	消火隊	第1出動	現場到着隊	消火隊	第1出動隊	最先着隊	現場到着隊	消火隊	第1出動隊	最先着隊	活動時間	放水台数	放水口数	延長ホース	総放水量	出動ポンプ台数	出動人員
	(件)	(件)	(件)	(隊)	(隊)	(隊)	(隊)	(人)	(人)	(人)	(人)	(km)	(km)	(km)	(km)	(分)	(分)	(分)	(分)	(分)	(台)	(口)	(本)	(m³)	(台)	(人)
1月	8	5	3	30	27	14	14	101	86	50	50	114.2	53.5	53.5	8.6	261	133	133	18	556	7	13	54	243.1	3	25
2月	4	3	3	31	31	16	16	114	112	62	62	272.3	121.6	121.6	13.1	465	225	225	26	603	9	17	123	132	5	19
3月	9	4	1	10	10	5	5	36	36	20	16	31.5	15.4	15.4	0.7	74	41	30	3	241	3	4	31	0.3	1	3
4月	4	2	1	10	10	5	5	37	37	20	17	117.4	53.9	54	9.5	152	74	65	13	26	1	1	6	3.5	1	3
5月	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	3	3	2	20	19	10	9	69	65	35	30	210.2	83.8	119.1	7.3	273	113	143	17	326	4	8	36	69.8	4	98
7月	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	3	1	1	10	10	5	5	34	34	19	15	47.5	12.6	32.6	2.3	78	28	46	4	86	0	0	2	0	0	0
9月	2	2	2	20	20	10	10	68	68	36	32	85.5	33.1	46.7	5.7	167	69	88	10	352	3	3	8	13.8	3	25
10月	7	3	0	17	15	7	8	59	52	27	25	52.1	24.8	25.3	2	129	66	58	5	202	0	0	0	0	0	1
11月	3	3	0	44	35	19	16	165	123	71	52	191.6	98.4	86.3	6.9	354	179	159	16	443	10	16	98	255	2	27
12月	12	8	1	42	36	22	14	147	125	83	42	300.4	166.5	124	9.9	488	287	182	19	1475	10	23	121	1199	4	34
計	60	35	14	234	213	113	102	830	738	423	341	1422.7	663.6	678.5	66	2441	1215	1129	131	4310	47	85	479	1916.5	23	235
出動１件あたり平均				16.7	15.2	8.1	7.3	59.3	52.7	30.2	24.4	101.6	47.4	48.5	4.7	174.4	86.8	80.6	9.4	123.1	3.4	6.1	34.2	136.9	1.6	16.8
				１隊あたり平均								6.7	5.9	6.7		11.5	10.8	11.1								

注：消火隊＝指揮支援隊、安全管理隊、移動配備隊を除くポンプ車・タンク車・化学車

3　救　　急

救　急

月別救急活動状況

平成30年中

月別	区	事故種別 合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他 転院搬送	その他 医師搬送	その他 資機材輸送	その他 その他
29	出動件数	11,939	58	2	9	818	102	108	1,629	41	118	8,231	679	2		142
	不搬送件数	746	43		4	87			57	6	30	374	3	2		140
年	搬送人員	11,279	17	2	5	795	104	110	1,579	37	88	7,863	677			2
30	出動件数	12,128	43	2	12	712	107	107	1,778	31	121	8,361	697	1		156
	不搬送件数	779	36	1	5	100	2	2	67	4	28	376	2	1		155
年	搬送人員	11,421	8	1	7	669	105	108	1,719	29	93	7,986	695			1
一	出動件数	1,113	3		2	48	9	4	180	4	12	789	54			8
	不搬送件数	87	3		2	10			12		2	50				8
月	搬送人員	1,034				44	9	4	170	5	10	738	54			
二	出動件数	1,055	7			43	15	2	181	3	7	729	56			12
	不搬送件数	55	6			2	1		2		1	32				11
月	搬送人員	1,001	1			42	14	2	179	3	6	697	56			1
三	出動件数	983	6			49	6	2	106	1	16	726	61			10
	不搬送件数	74	5			6			9		3	41				10
月	搬送人員	914	1			47	6	2	98	1	13	685	61			
四	出動件数	927	1		1	31	9	6	121	3	10	675	57			13
	不搬送件数	58	1			4			3		2	35				13
月	搬送人員	871			1	28	9	6	119	3	8	640	57			
五	出動件数	938		1	1	59	5	7	127	2	10	655	51	1		19
	不搬送件数	61		1		8			3		3	26		1		19
月	搬送人員	881			1	54	5	7	124	2	7	630	51			
六	出動件数	923	4		2	78	8	18	134	3	11	594	60			11
	不搬送件数	61	3		1	13			5	1	3	24				11
月	搬送人員	871	1		1	73	8	18	130	2	8	570	60			
七	出動件数	1,077	1		1	85	13	26	177	3	8	687	60			16
	不搬送件数	63	1		1	12		1	8	2		22				16
月	搬送人員	1,024				79	13	26	171	1	8	666	60			
八	出動件数	1,095	3		1	72	9	11	185	2	7	741	48			16
	不搬送件数	64	3			5		1	6		4	28	1			16
月	搬送人員	1,034			1	69	9	11	179	2	3	713	47			
九	出動件数	904	3		1	60	6	9	132	1	6	623	53			10
	不搬送件数	50	2			10			4		1	23				10
月	搬送人員	859	1		1	54	6	10	128	1	5	600	53			
十	出動件数	997	1		1	69	15	11	134	2	15	656	80			13
	不搬送件数	65	1			12	1		6		3	29				13
月	搬送人員	939			1	64	14	11	128	2	12	627	80			
十一	出動件数	1,022	4			60	6	7	142	2	11	723	58			9
	不搬送件数	63	3			8			8	1	5	29				9
月	搬送人員	968	2			59	6	7	134	1	6	695	58			
十二	出動件数	1,094	10	1	2	58	6	4	159	5	8	763	59			19
	不搬送件数	78	8		1	10			1		1	37	1			19
月	搬送人員	1,025	2	1	1	56	6	4	159	6	7	725	58			

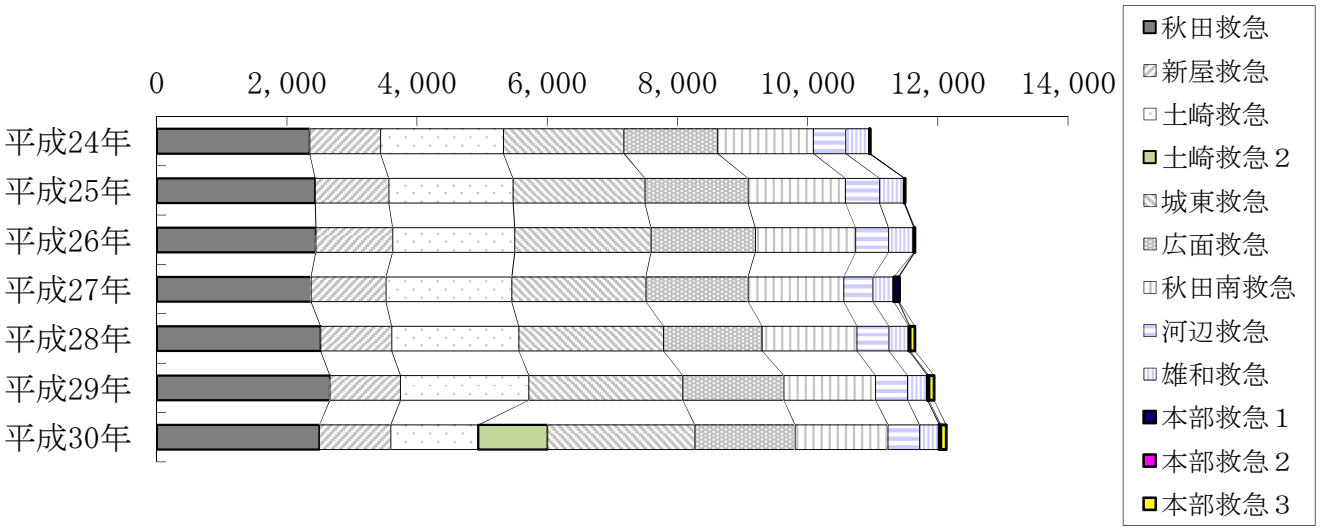
年齢別・傷病程度別・不搬送別救急取扱状況

平成30年中

区分＼事故種別			合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
														転院搬送	医師搬送	資機材輸送	その他
出動件数			12,128	43	2	12	712	107	107	1,778	31	121	8,361	697	1		156
不搬送件数			779	36	1	5	100	2	2	67	4	28	376	2	1		155
搬送人員			11,421	8	1	7	669	105	108	1,719	29	93	7,986	695			1
年齢別	計		11,421	8	1	7	669	105	108	1,719	29	93	7,986	695			1
	男		5,584	5	1	5	352	90	77	801	16	32	3,851	353			1
	女		5,837	3		2	317	15	31	918	13	61	4,135	342			
	新生児(生後28日以内の者)	男	9											9			
		女	9							2				7			
	乳幼児(生後29日以上満7歳未満の	男	214				5			46			147	16			
		女	134				6			9			112	7			
	少年(満7歳以上満18歳未満の者)	男	174			1	42		43	20		1	62	5			
		女	147				24		13	17		2	87	4			
	成人(満18歳以上満65歳未満の者)	男	1,843	3	1	4	223	74	33	235	14	21	1,125	110			
		女	1,600	1		1	188	11	16	139	7	48	1,088	101			
	老人(満65歳以上の者)	男	3,344	2			82	16	1	500	2	10	2,517	213			1
		女	3,947	2		1	99	4	2	751	6	11	2,848	223			
傷病程度別	計		11,421	8	1	7	669	105	108	1,719	29	93	7,986	695			1
	男		5,584	5	1	5	352	90	77	801	16	32	3,851	353			1
	女		5,837	3		2	317	15	31	918	13	61	4,135	342			
	重症	男	1,206	1		2	25	19	2	108	1	12	901	135			
		女	1,210	1		1	24			204		13	846	121			
	中等症	男	1,377	2			32	24	10	136	2	6	1,017	148			
		女	1,283				20	5	1	162		21	922	152			
	軽症	男	2,990	2	1	3	293	47	64	557	13	14	1,926	69			1
		女	3,329	2		1	272	10	29	552	13	27	2,356	67			
	その他	男	11				2		1				7	1			
		女	15				1		1				11	2			
不搬送の内訳	計		779	36	1	5	100	2	2	67	4	28	376	2	1		155
	緊急性なし		9				1			3			1				4
	傷病者なし		68	29	1	1	18						4				15
	拒否		328	1			60	2	1	46	4	8	168				38
	酩酊		76				2			5			23				46
	死亡		186	2		3				8		18	155				
	現場処置		4				1					1	2				
	誤報・いた		25	2		1							1				21
	その他		83	2			18		1	5		1	22	2	1		31

救急隊別出動状況

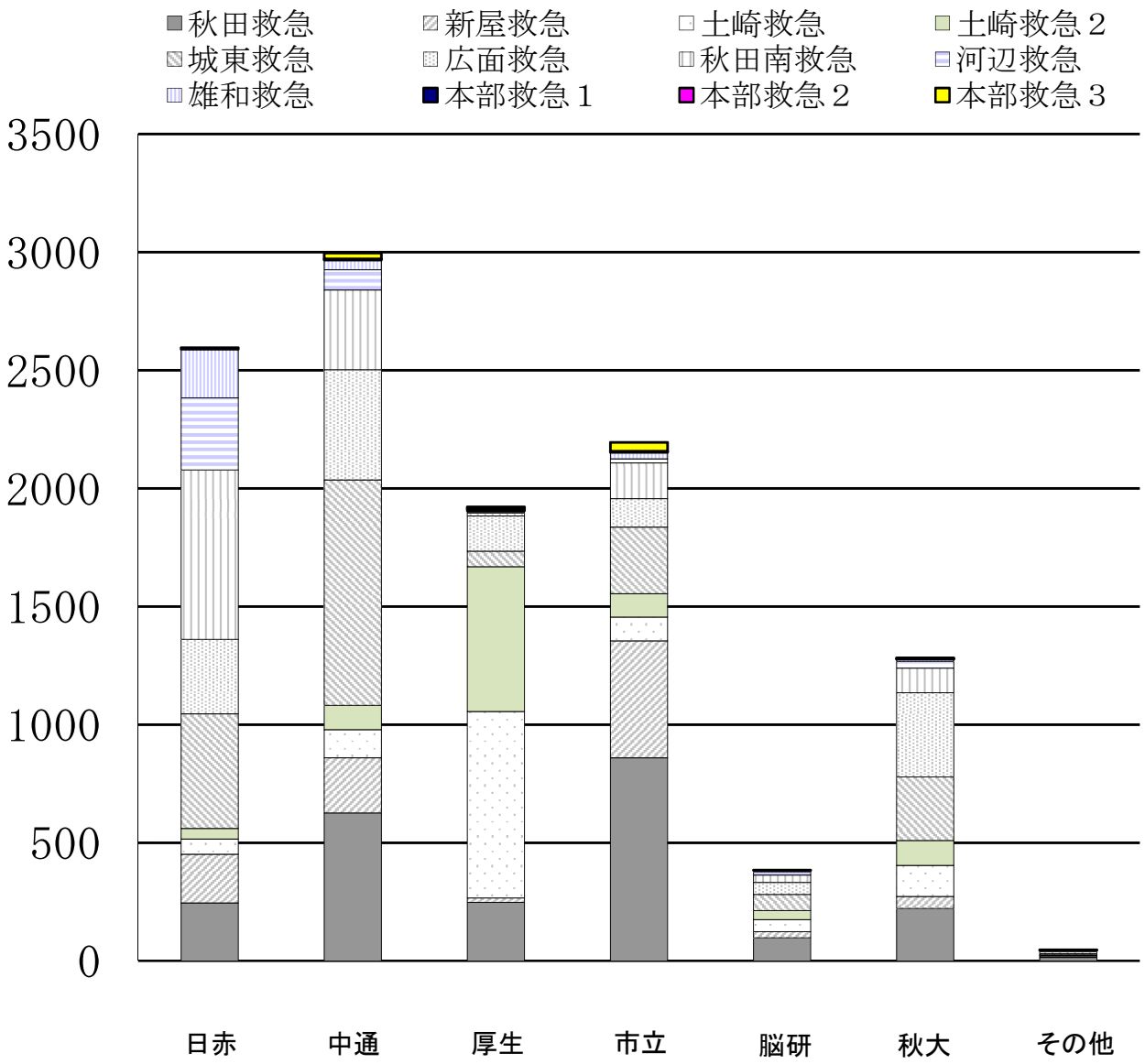
隊別＼年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
秋田救急	2,350	2,435	2,444	2,368	2,518	2,659	2,497
新屋救急	1,087	1,132	1,179	1,154	1,090	1,085	1,096
土崎救急	1,888	1,908	1,875	1,931	1,955	1,972	1,346
土崎救急2							1,065
城東救急	1,852	2,025	2,094	2,060	2,224	2,362	2,261
広面救急	1,440	1,584	1,605	1,572	1,513	1,559	1,540
秋田南救急	1,472	1,496	1,538	1,467	1,456	1,406	1,430
河辺救急	496	524	507	452	492	488	484
雄和救急	365	378	389	319	304	307	303
本部救急1		3	4	69	13	7	3
本部救急2	2	2	6	8	8	16	18
本部救急3	3	5	3	5	72	78	85
合計	10,955	11,492	11,644	11,405	11,645	11,939	12,128



現場到着所要時間別出動状況　　平成30年中

隊別＼区分	3分未満	3分以上5分未満	5分以上10分未満	10分以上20分未満	20分以上	合計	平均
秋田救急	24	375	1,807	282	9	2,497	6.7
新屋救急	8	217	705	163	3	1,096	6.8
土崎救急	10	135	917	278	6	1,346	7.7
土崎救急2	11	106	735	208	5	1,065	7.7
城東救急	23	480	1,513	234	11	2,261	6.5
広面救急	11	295	970	246	18	1,540	7.3
秋田南救急	28	198	1,064	132	8	1,430	6.6
河辺救急	30	44	246	130	34	484	9.4
雄和救急	21	37	127	104	14	303	9.1
本部救急1						3	
本部救急2						18	
本部救急3						85	
合計	166	1,887	8,084	1,777	108	12,128	7.1

救急隊別・病院別搬送人員状況　平成30年中



平成30年中

病院別 / 隊別	秋田赤十字病院	中通総合病院	秋田厚生医療センタ	市立秋田総合病院	脳血管研究センター	秋田大学附属病院	その他	合計
秋田救急	245	626	248	859	97	221	14	2,310
新屋救急	206	233	18	496	26	51	3	1,033
土崎救急	65	120	790	100	51	132	5	1,263
土崎救急２	44	102	612	99	39	105	3	1,004
城東救急	486	955	66	282	68	270	5	2,132
広面救急	315	467	149	120	51	356	9	1,467
秋田南救急	717	337	12	152	31	104	4	1,357
河辺救急	305	85	5	17	14	29		455
雄和救急	206	42	5	28	6	9	1	297
本部救急１				2		1		3
本部救急２		5	10	2		1		18
本部救急３	6	24	7	38	1	4	2	82
合計	2,595	2,996	1,922	2,195	384	1,283	46	11,421

※H26.4.1～「秋田組合総合病院」→「秋田厚生医療センター」へ名称変更

救急高度化の推移

区分＼年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
秋田市人口	321,783	320,154	318,700	316,808	313,668	311,178	308,482
救急出動件数	10,955	11,492	11,644	11,405	11,645	11,939	12,128
人口1万人当たりの出動件数	340.4	359.0	365.4	360.0	371.3	383.7	393.2
救急搬送人員 [A]	10,117	10,720	10,911	10,759	10,995	11,279	11,421
心肺停止傷病者搬送人員 [B]	324	338	358	366	335	345	307
心肺停止傷病者搬送率 [B/A]	3.20%	3.15%	3.28%	3.40%	3.05%	3.06%	2.69%
高規格救急自動車稼働数	8	8	8	8	8	8	9
救急救命士運用者数	38	41	40	42	43	43	42
心肺停止傷病者搬送人員 [B]	324	338	358	366	335	345	307
(内)バイスタンダーCPR件数 [C]	195	189	227	229	195	215	183
バイスタンダーCPR実施率 [C/B]	60.19%	55.92%	63.41%	62.57%	58.21%	62.32%	59.61%
1ヶ月生存数 [D]	28	19	35	19	31	19	19
1ヶ月生存率 [D/B]	8.64%	5.62%	9.78%	5.19%	9.25%	5.51%	6.19%

秋田市の人口　：各年の10月１日現在
バイスタンダーＣＰＲ　：居合わせた人による心肺蘇生法等の一次救命処置（胸骨圧迫・人工呼吸などが実施されていたもの）
心肺停止傷病者　：救急蘇生統計による分母（市民蘇生を含む）

心肺停止傷病者に対する救急救命士の対応状況（秋田市）

＼	救急隊が搬送した心肺停止傷病者総数	一般市民により心肺停止の時点が目撃された心原性の傷病者	救急救命士によって処置された傷病者数	うち1か月生存者	(A)	一般救急隊員によって処置された傷病者数	うち1か月生存者	(B)	１か月生存者合計	
平成24年	324	52	52	11	21.2%	0	0	0.0%	11	21.2%
平成25年	338	42	42	8	19.0%	0	0	0.0%	8	19.0%
平成26年	358	57	57	12	21.1%	0	0	0.0%	12	21.1%
平成27年	366	66	66	9	13.6%	0	0	0.0%	9	13.6%
平成28年	335	57	57	11	19.3%	0	0	0.0%	11	19.3%
平成29年	345	48	48	6	12.5%	0	0	0.0%	6	12.5%
平成30年	307	48	48	9	18.8%	0	0	0.0%	9	18.8%
合　計	2,373	370	370	66	17.8%	0	0	0.0%	66	17.8%

応急手当普及啓発活動状況

	普通救命講習Ⅰ		普通救命講習Ⅱ		普通救命講習Ⅲ		上級救命講習		入門コース		その他の救命講習	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
平成　6年	117	3,298					2	54			6	2,001
平成　7年	224	5,751					2	21			25	1,028
平成　8年	252	5,601					5	94			36	2,299
平成　9年	268	6,124					12	351			47	4,478
平成１０年	270	6,566					20	347			93	10,483
平成１１年	268	6,017					19	233			87	5,960
平成１２年	267	6,143					32	431			85	4,808
平成１３年	196	4,907					38	499			105	5,602
平成１４年	172	3,448					21	270			103	6,392
平成１５年	163	3,823					18	302			136	8,435
平成１６年	157	2,703					11	212			139	7,001
H8～H17 1月まで 河辺・雄和	124	2,241					3	9			73	1,818
平成１７年	148	2,659	9	218			12	373			168	7,387
平成１８年	208	4,471	28	480			10	162			194	7,436
平成１９年	187	3,694	21	357			10	187			239	7,861
平成２０年	229	4,907	18	260			15	224			246	9,290
平成２１年	212	3,983	14	221			9	229			269	8,429
平成２２年	178	3,451	11	137			11	274			259	8,721
平成２３年	188	3,483	12	160			6	167			214	6,476
平成２４年	195	3,943	11	143	7	96	3	142	9	212	179	4,908
平成２５年	175	3,498	10	94	11	110	4	126	1	1	211	6,030
平成２６年	169	3,108	6	93	9	133	11	176	0	0	209	6,522
平成２７年	186	3,586	6	105	13	252	6	123	0	0	224	8,279
平成２８年	172	2,941	0	0	15	230	8	162	21	1,549	222	7,378
平成２９年	157	3,197	2	59	18	273	5	121	27	2,417	224	7,542
平成３０年	165	2,915	3	77	20	337	7	165	37	1,973	209	6,651
総　計	5,047	106,458	151	2,404	93	1,431	300	5,454	95	6,152	4,002	163,215

※修了証を取得している市民（入門コース、その他の講習を除く）の数は、平成２６年９月に１０万人を超え、同１２月末現在で延べ１０１，２０４人となっている。

４　予　　防

予　　防

防火対象物数および立入検査状況（消防法施行令別表第１に掲げる防火対象物）

項目		区　　分	防火対象物	立入検査実施数	指導措置件数	改善件数
総　　数			10,042	2,726	2,001	872
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	18	10	8	8
	ロ	公会堂、集会場	147	51	19	10
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ	－	－	－	－
	ロ	遊技場、ダンスホール	35	17	8	8
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	－	－	－	－
	ニ	カラオケボックス等	5	2	1	－
3	イ	待合、料理店の類	5	5	7	－
	ロ	飲食店	256	148	309	184
4		百貨店、マーケット、その他物品販売業を営む店舗類	455	226	181	114
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	114	64	42	21
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	3,851	362	187	73
6	イ	病院、診療所、助産所	259	104	42	22
	ロ	老人短期入所施設､養護老人ホーム､特別養護老人ホーム､有料老人ホーム等	174	100	24	14
	ハ	老人デイサービスセンター、保育所等	244	127	28	17
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校、養護学校	30	24	6	8
7		小･中･高･大学･各種学校等	309	112	101	16
8		図書館、博物館、美術館	19	7	－	－
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場	8	－	－	9
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	5	2	－	－
10		車両の停車場、船舶若しくは航空機の発着場	5	3	－	－
11		神社、寺院、教会の類	154	58	37	17
12	イ	工場、作業場	942	304	170	41
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	－	－	－	－
13	イ	自動車車庫、駐車場	192	72	4	－
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫	5	－	－	－
14		倉庫	935	302	88	30
15		前各項に該当しない事業場	1,099	309	152	58
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	481	213	536	196
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	258	70	43	24
16の2		地下街	－	－	－	－
16の3		準地下街	－	－	－	－
17		重要文化財、重要有形民俗文化財等	36	34	8	2
18		延長５０メートル以上のアーケード	1	－	－	－

防火管理者選任対象物状況

項目		防火対象物の区分	防火管理者要対象物数	管理権原が単一対象物数	管理権原が2以上対象物数	防火管理者を選任している防火対象物数
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	14	14		14
	ロ	公会堂、集会場	127	127		127
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ				
	ロ	遊技場、ダンスホール	33	33		33
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
	ニ	カラオケボックス等	4	4		4
3	イ	待合、料理店の類	5	5		5
	ロ	飲食店	220	214	6	212
4		百貨店、マーケット、その他物品販売業を営む店舗類	338	333	5	332
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	46	46		46
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	163	163		149
6	イ	病院、診療所、助産所	61	61		60
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護護老人ホーム、有料老人ホーム等	135	135		133
	ハ	老人デイサービスセンター、保育所等	124	121	3	121
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校、養護学校	16	15	1	16
7		小･中･高･大学･各種学校	104	102	2	103
8		図書館、博物館、美術館	12	12		12
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場	6	6		6
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	2	2		2
10		車両の停車場、船舶若しくは航空機の発着場	1	1		1
11		神社、寺院、教会の類	104	104		103
12	イ	工場、作業場	49	49		48
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫、駐車場	2	2		2
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫				
14		倉庫	12	12		12
15		前各項に該当しない事業場	274	273	1	264
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	345	304	41	321
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	41	39	2	39
16の2		地下街				
16の3		準地下街				
17		重要文化財、重要有形民俗文化財等	8	8		8
合計			2246	2185	61	2173

月別建築物等確認申請、計画通知処理状況

区分	月別／年別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
建築物	平成29年度	49	63	65	63	53	54	73	45	54	25	36	45	625
	平成30年度	59	56	67	55	57	51	58	46	47	34	42	51	623

消防用設備等の着工届状況

種別	設備名	件数	
		平成29年度	平成30年度
第１類	屋内(外)消火栓設備・パッケージ型消火設備	20	19
	スプリンクラ-設備・パッケージ型自動消火設備	38	22
第２類	泡消火設備	3	1
第３類	ハロゲン化物消火設備	3	1
	粉末消火設備	2	2
	不活性ガス消火設備	1	－
第４類	自動火災報知設備	173	169
	ガス漏れ火災警報設備	－	1
	消防機関へ通報する火災報知設備	165	23
第５類	避難器具	24	9

火災予防条例による諸届出

件名	件数	
	平成29年度	平成30年度
防火対象物使用開始届	365	224
発電・変電・蓄電池設備設置届	102	99
火災とまぎらわしい行為の届	183	199
催物開催届	31	47
道路工事届	242	237
ネオン管灯設備の設置届	－	－
火を使用する設備等の設置届	56	61
水素ガスを充てんする気球の届	－	－
煙火打上げ・仕掛け届	131	138
水道断水・減水届	146	132
少量危険物等貯蔵取扱届	110	100
禁止行為の解除承認申請	81	55
露店等の開設届出書	1,501	1,482

中高層建築物調

区 分	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	30階	計
1項イ	2													2
ロ	5	3												8
2項イ														
ロ														
ハ														
ニ														
3項イ														
ロ	8	5	7	2										22
4項	3	1	2											6
5項イ	3	4		1	1	2	4	1	2					18
ロ	202	86	15	12	5	8	14	14	6	11	15	12	1	401
6項イ	7	4	4	2	3	3								23
ロ	2	2				1								5
ハ	3													3
ニ														
7項	35	10	2	3										50
8項	3	1												4
9項イ	2	1												3
ロ														
10項														
11項		1												1
12項イ	10	3	1											14
ロ														
13項イ	5	1	1	1										8
ロ														
14項	5	1	2											8
15項	55	27	19	18	12	6	4	3						144
16項イ	35	24	12	13	12	5	5	1	2	2	3			114
ロ	18	6	6	4	1	2	5				1			43
16の２														
16の３														
17項														
合 計	403	180	71	56	34	27	32	19	10	13	19	12	1	877

危　険　物

危険物施設数の推移

区分／年度別	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
			小計	屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
26	1,617	6	1,171	122	12	184	365	46	1	441	440	175	4	2	259
27	1,596	6	1,152	126	11	172	358	46	1	438	438	175	4	2	257
28	1,578	6	1,142	126	13	170	352	44	1	436	430	171	4	2	253
29	1,562	5	1,130	123	13	169	348	43	1	433	427	171	4	2	250
30	1,522	5	1,093	125	12	165	343	41	1	406	424	169	4	2	249

危険物施設等の事務処理状況

件名	件数	
	平成29年度	平成30年度
製造所等設置許可申請	22	37
製造所等変更許可申請	92	115
製造所等完成検査申請	115	144
完成検査前検査申請（基礎地盤検査）	0	0
完成検査前検査申請（溶接部検査）	2	0
完成検査前検査申請（タンク水張水圧検査）	39	34
仮使用承認申請	49	71
仮貯蔵仮取扱承認申請	47	58
保安検査申請	2	1
製造所等廃止届出書	37	77
危険物保安監督者選任（解任）届出書	68	101
製造所等品名、数量又は倍数変更届出書	21	10
製造所等譲渡引渡届出書	12	31
予防規程制定（変更）認可申請	39	38
消火用屋外給水施設設置届出書	3	1
流出油等防止堤設置届出書	0	0
液化石油ガス意見書交付申請	0	0
合計	548	718

危険物施設の許認可状況

区分＼製造所等の別			製造所	貯蔵所							取扱所					計
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	
許可	設置許可		0	3	2	0	2	0	23	0	1	0	0	0	4	35
	変更許可		7	2	18	4	2	0	7	0	31	0	0	0	31	102
	常置場所の変更	他許可行政庁に転出							9							9
		他許可行政庁から転入							13							13
完成検査	設置完成検査		0	3	2	0	2	0	22	0	1	0	0	0	4	34
	変更完成検査		6	1	16	4	2	0	7	0	30	0	0	0	29	95
	他許可行政庁から転入								13							13
廃止届等				1	6	2	7	0	52	1	3	0	0	0	5	77
	完成検査前に設置許可の取消し処分		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仮使用承認			6	1	9	3	1				26				23	69

危険物許認可手数料等徴収状況

件名	平成29年度		平成30年度	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）
製造所等設置許可申請手数料	22	573,000	37	1,049,000
製造所等変更許可申請手数料	92	4,182,250	115	2,959,000
製造所等完成検査申請手数料	115	1,278,000	144	1,751,250
完成検査前検査申請手数料(基礎地盤検査)	0	0	0	0
完成検査前検査申請手数料(溶接部検査)	2	810,000	0	0
完成検査前検査申請手数料(水張･水圧検査)	39	527,400	34	373,200
仮貯蔵、仮取扱承認申請手数料	47	253,800	58	313,200
仮使用承認申請手数料	49	264,600	71	383,400
保安検査申請手数料	2	1,440,000	1	750,000
消火用屋外給水施設検査手数料	2	76,000	0	0
計	370	9,405,050	460	7,579,050

５　火災統計

火　災　発　生　状　況　比　較

区分		単位	平成30年	平成29年	比較増減（▲減）
総火災件数		件	60	62	▲ 2
種別ごと火災件数	建物		35	45	▲ 10
	林野		0	1	▲ 1
	車両		4	7	▲ 3
	船舶		0	0	0
	航空機		0	0	0
	その他の		21	9	12
焼損棟数合計		棟	64	56	8
焼損程度別	全焼		14	9	5
	半焼		3	6	▲ 3
	部分焼		26	5	21
	ぼや		21	36	▲ 15
り災世帯数合計		世帯	34	38	▲ 4
り災程度別	全損		8	9	▲ 1
	半損		1	3	▲ 2
	小損		25	26	▲ 1
り災人員		人	72	85	▲ 13
焼損面積	建物（床面積）	㎡	2,493	3,208	▲ 715
	林野	a	0	77	▲ 77
	建物火災1件あたり	㎡	71.2	71.3	▲ 0.1
損害額	計	千円	99,651	129,116	▲ 29,465
	市民1人あたり	円	323	416	▲ 93
	火災1件あたり	千円	1,660	2,082	▲ 422
	1日あたり	千円	273	353	▲ 80
死傷者	死者	人	3	3	0
	負傷者	人	10	20	▲ 10
出火率		件/人口1万人	1.9	2.0	▲ 0.1
人口（翌年1月1日）		人	307,940	310,634	▲ 2,694

月　別　火　災　発　生　状　況

区分 / 月別	火災件数						焼損棟数				り災世帯			り災人員(人)	焼損面積	
	合計	建物	林野	車両	船航空舶機	その他の	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全損	半損	小損		建物(㎡)	林野(a)
前年計	62	45	1	7	0	9	9	6	5	36	9	3	26	85	3,208	77
計	60	35	0	4	0	21	14	3	26	21	8	1	25	72	2,493	0
1　月	8	5	0	0	0	3	2	0	2	3	2	0	3	6	294	0
2　月	4	3	0	1	0	0	2	1	0	0	2	0	0	2	330	0
3　月	9	4	0	0	0	5	0	0	2	2	0	0	3	9	13	0
4　月	4	2	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	4	0
5　月	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6　月	3	3	0	0	0	0	2	0	2	1	1	1	0	4	219	0
7　月	3	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
8　月	3	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9　月	2	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	50	0
10　月	7	3	0	1	0	3	0	0	1	2	0	0	1	2	0	0
11　月	3	3	0	0	0	0	3	0	5	2	1	0	5	17	315	0
12　月	12	8	0	1	0	3	5	1	12	8	2	0	12	31	1,268	0

損害見積額（千円）									死傷者	
合計	建物			林野	車両	船舶 航空機	その他の	爆発	死者（人）	負傷者（人）
	小計	建物	収容物							
129,116	127,229	38,654	88,575	0	671	0	1,104	112	3	20
99,651	97,690	63,342	34,348	0	1,388	0	573	0	3	10
4,916	4,771	2,807	1,964	0	0	0	145	0	1	0
24,804	24,716	21,318	3,398	0	79	0	9	0	1	2
8,561	8,544	438	8,106	0	0	0	17	0	1	1
401	54	45	9	0	347	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
3,515	3,515	2,538	977	0	0	0	0	0	0	1
7	5	5	0	0	0	0	2	0	0	0
32	30	30	0	0	0	0	2	0	0	0
4,609	4,609	4,500	109	0	0	0	0	0	0	1
1,182	505	2	503	0	660	0	17	0	0	0
9,860	9,860	8,760	1,100	0	0	0	0	0	0	2
41,763	41,081	22,899	18,182	0	302	0	380	0	0	3

建 物 火 災 （ 火 元 建 物 用 途 別 ） 状 況

区分 / 用途別			出火件数	焼損棟数				
			計	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや
用途		合計	35	64	14	3	26	21
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場						
	ロ	公会堂、集会場						
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ						
	ロ	遊技場、ダンスホール						
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
3	イ	待合、料理店の類						
	ロ	飲食店	2	2				2
4		百貨店、マーケット、その他物品販売を営む店舗	1	1				1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所						
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	4	4			1	3
6	イ	病院、診療所、助産所						
	ロ	老人福祉施設、児童福祉施設等						
	ハ	老人デイサービスセンター厚生施設、助産施設等						
	ニ	幼稚園又は特別支援学校						
7		小・中・高・大学・各種学校						
8		図書館・博物館・美術館						
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場						
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場						
10		車両の停車場、船舶、航空機発着場	1	1			1	
11		神社、寺院、教会の類						
12	イ	工場、作業場	5	18	2	1	10	5
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫、駐車場	1	1				1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
14		倉庫						
15		前項に該当しない事業場	1	1		1		
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途対象物	2	2				2
	ロ	上記以外の複合用途対象物						
16の２		地下街						
17		重要文化財、重要民俗資料						
		専用住宅（共同住宅を除く）	12	21	9		6	6
		店舗等との併用住宅						
		危険物関係施設						
		その他の建物	6	13	3	1	8	1

死傷者		焼損床面積	建物火災による損害額			
死者	傷者	(㎡)	建物(爆発含む) (千円)	車両 (千円)	その他の損害(林野含む) (千円)	合計 (千円)
2	9	2,493	97,690	15	294	97,999
		0	8		17	25
		0	129			129
	1	0	121			121
		13	8,529			8,529
	1	874	20,525	1	241	20,767
		0	12			12
		50	4,500			4,500
		0	0			0
2	6	1,336	58,905	14	36	58,955
	1	220	4,961			4,961

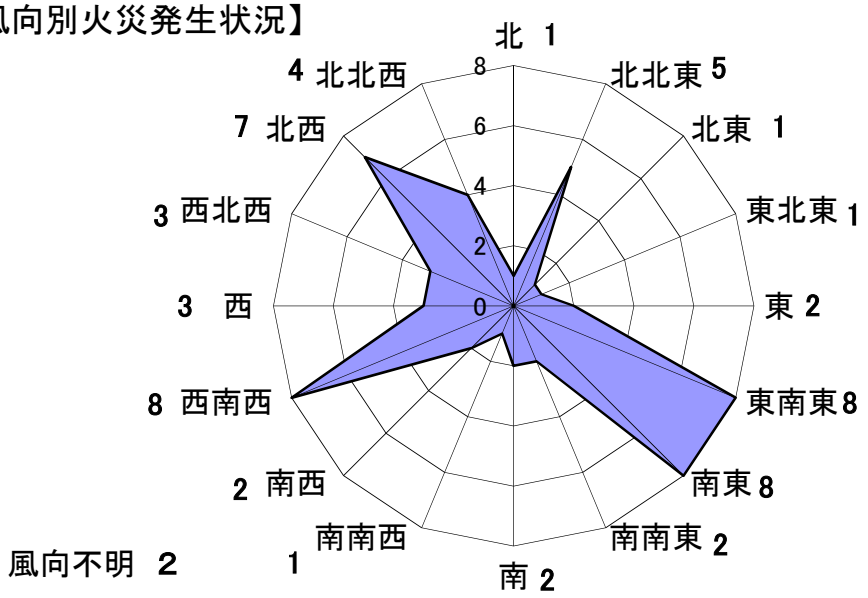
建　物　火　災　の　用　途　別　出　火　原　因

用途別 ＼ 区分			計	たばこ	こんろ	風呂かまど	ボイラ	炉	ストーブ
用途		合計	35	5	1	0	0	0	6
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場							
	ロ	公会堂、集会場							
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ							
	ロ	遊技場、ダンスホール							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等							
	ニ	カラオケボックス等							
3	イ	待合、料理店の類							
	ロ	飲食店	2						
4		百貨店、マーケット、その他物品販売を営む店舗	1						
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所							
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	4	1	1				1
6	イ	病院、診療所、助産所							
	ロ	老人福祉施設、児童福祉施設等							
	ハ	老人デイサービスセンター厚生施設、助産施設等							
	ニ	幼稚園又は特別支援学校							
7		小・中・高・大学・各種学校							
8		図書館・博物館・美術館							
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場							
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場							
10		車両の停車場、船舶、航空機発着場	1						
11		神社、寺院、教会の類							
12	イ	工場、作業場	5						
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫、駐車場	1	1					
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫							
14		倉庫							
15		前項に該当しない事業場	1						
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途対象物	2						
	ロ	上記以外の複合用途対象物							
16の２		地下街							
17		重要文化財、重要民俗資料							
		専用住宅（共同住宅を除く）	12	2					5
		店舗等との併用住宅							
		危険物関係施設							
		その他の建物	6	1					

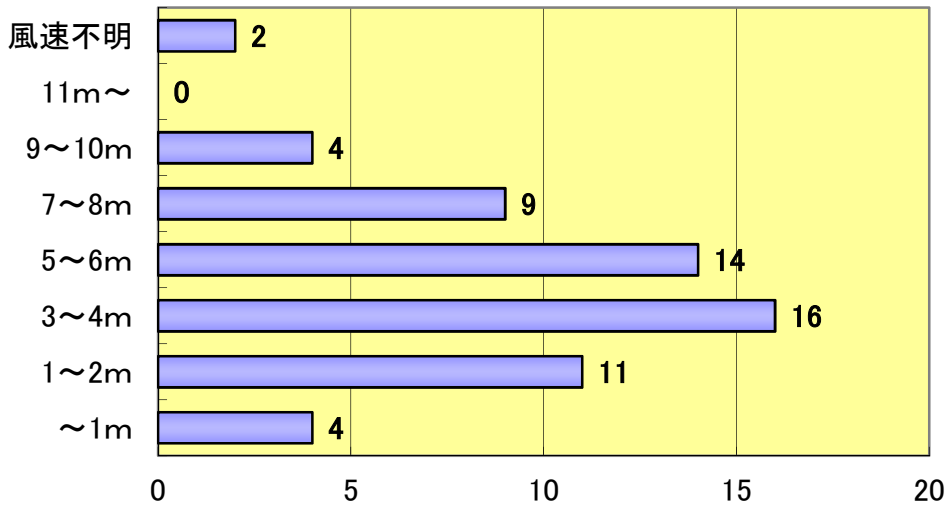
出火原因別															
煙突	排気管	電気機器	電気装置	電灯・電話等の配線	配線器具	溶接機	火遊び	たき火	マッチ・ライター	灯火	取灰	放火の疑	放火	その他	不明調査中
0	0	0	0	3	2	1	0	1	0	1	0	0	1	8	6
				1										1	
														1	
															1
														1	
						1								1	3
															1
				1										1	
					2					1			1	1	
				1				1						2	1

気 象 別 火 災 発 生 状 況

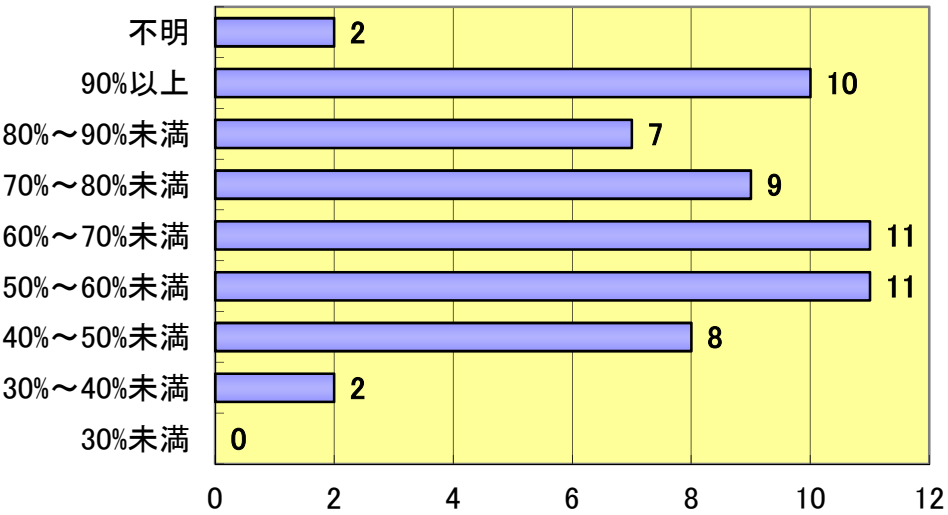
【風向別火災発生状況】



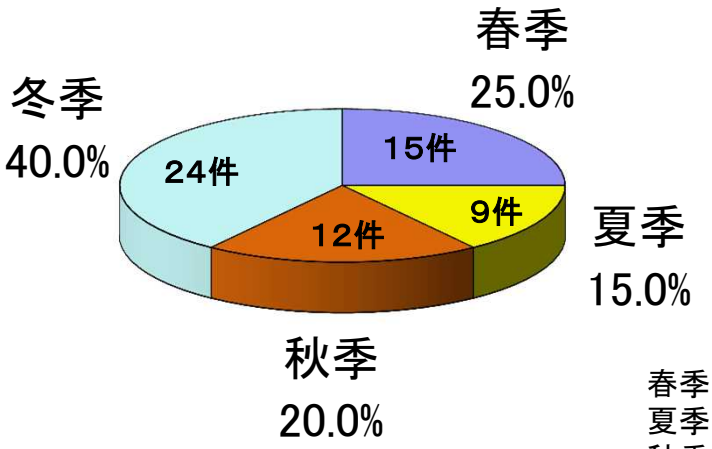
【風速別火災発生状況】



【湿度別火災発生状況】

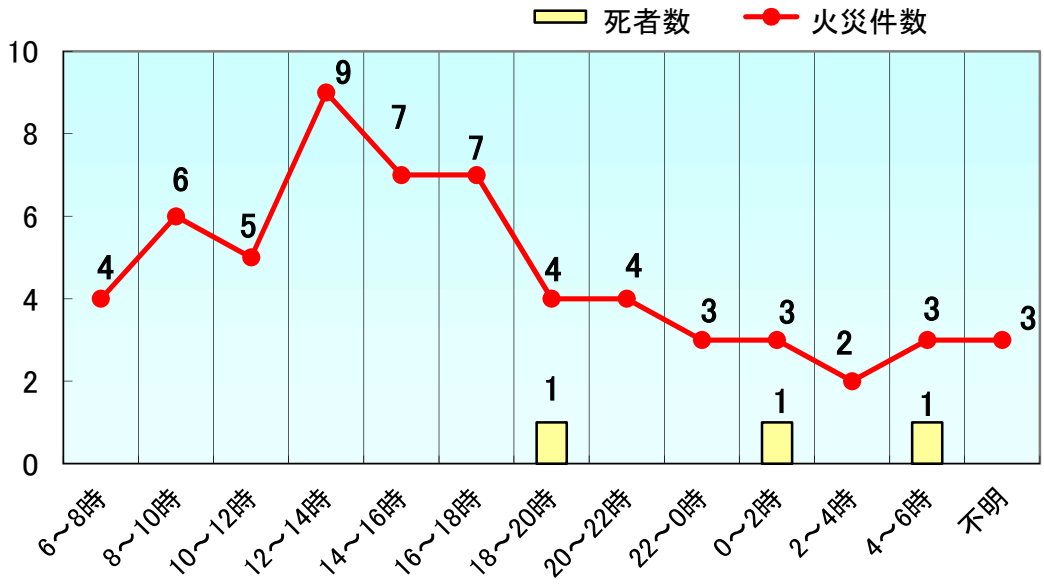


季 別 火 災 発 生 割 合

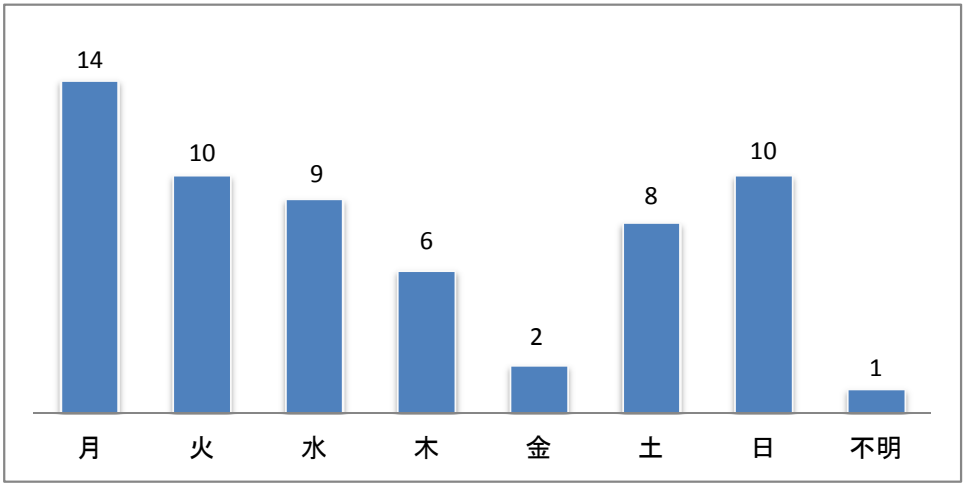


春季 ： 3月～5月
夏季 ： 6月～8月
秋季 ： 9月～11月
冬季 ： 1月･2月･12月

時 間 別 火 災 発 生 状 況



曜 日 別 火 災 発 生 状 況



平成30年中の主な火災

建物焼損面積100㎡以上、焼損棟数５棟以上、損害額1000万円以上、り災世帯２世帯以上、死者１名以上、負傷者３名以上のいずれかに該当する火災

月　日	火災種別	出火鎮火時間	出火場所	用途	出火原因
1/14	建物	3:15 ～ 5:45	秋田市上北手	住宅	ストーブ
1/16	建物	10:10 ～ 13:00	秋田市手形	住宅	ストーブ
2/5	建物	13:50 ～ 15:37	秋田市将軍野	住宅	放火
2/13	建物	7:10 ～ 11:30	秋田市雄和	住宅	ストーブ
3/27	その他	3:50 ～ 5:30	秋田市牛島		放火
3/28	建物	10:55 ～ 11:05	秋田市東通	住宅	その他
6/3	建物	4:30 ～ 7:11	秋田市河辺	住宅	灯火
11/17	建物	不明 ～ 16:51	秋田市旭川	住宅	不明・調査中
11/19	建物	7:15 ～ 9:50	秋田市下新城	住宅	配線器具
12/4	建物	1:00 ～ 3:54	秋田市雄和	作業場	たき火
12/6	建物	22:55 ～ (7日) 16:12	秋田市将軍野	作業場	不明・調査中
12/24	建物	5:45 ～ 9:30	秋田市下浜	住宅	ストーブ

焼損棟数				焼損床面積（火元）	り災状況		死者	負傷者	損害額
全焼	半焼	部分焼	ぼや	(㎡)	世帯	人員			(千円)
1				133	1	1	1		1,880
1		1	1	161	3	4			2,650
1				83	1	1	1		5,846
1				220	1	1		2	18,222
							1		6
			1		2	4			2
2		1		122	1	1			2,998
2		5		98	4	12			3,180
1			1	211	1	2		2	6,680
	1	1		106	1	1			1,061
2		9	3	820	8	22		1	20,065
2		2	1	113	3	5			20,140

過去３年間の出火原因比較

年別合計 / 原因別	平成28年	平成29年	平成30年
	66	62	60
たばこ	8	4	7
こんろ	5	5	1
かまど			
風呂かまど		1	
炉			
焼却炉			
ストーブ	3	8	6
こたつ			
ボイラー			
煙突・煙道	1	1	
排気管	2	1	1
電気機器	5	1	
電気装置	1	1	1
電灯電話等の配線	5	4	6
内燃機関			
配線器具			2
火あそび	1		
マッチ・ライター		2	
たき火	2	2	3
溶接機・溶断機	1		1
灯火	2		1
衝突の火花		1	
取灰	1		
火入れ			
放火	4	3	2
放火の疑い	2	3	
その他	18	18	19
不明・調査中	5	7	10

過去５年間の男女別・年齢別死者数

年別	計	火災種別	男女別		年齢別		
					０歳～５歳	６歳～64歳	65歳以上
合計 (平成26年～30年)	26 (8)	建物火災	男	14 (4)		9 (4)	5 (0)
			女	8 (0)		1 (0)	7 (0)
		建物火災以外	男	2 (2)		2 (2)	－ (0)
			女	2 (1)		2 (1)	－ (0)
平成２６年	9 (4)	建物火災	男	6 (3)		6 (3)	
			女	2		1	1
		建物火災以外	男	1 (1)		1 (1)	
			女				
平成２７年	8 (1)	建物火災	男	3			3
			女	4			4
		建物火災以外	男	1 (1)		1 (1)	
			女				
平成２８年	3 (0)	建物火災	男	3		1	2
			女				
		建物火災以外	男				
			女				
平成２９年	3 (1)	建物火災	男	1		1	
			女	1			1
		建物火災以外	男				
			女	1 (1)		1 (1)	
平成３０年	3 (2)	建物火災	男	1 (1)		1 (1)	
			女	1			1
		建物火災以外	男				
			女	1		1	

※(　)内の数値は放火自殺による死者数を示す。

6　通信指令

消防総合通信指令システム

(1)指令運用・支援情報

装置名	数量	装置名	数量	装置名	数量
指令台	4 台	入電表示盤	2 式	統合型位置情報通知装置	1 式
自動出動指定装置	5 台	見学者スペース用表示盤	1 式	非常用補助電話機	4 式
支援情報表示装置	5 台	無線統制台	1 台	Ｅメール指令装置	1 式
地図等検索装置	5 台	指令情報送信装置	1 式	Ｗｅｂ１１９システム	1 式
長時間録音装置	1 台	指令情報出力装置	14 式	１１９ＦＡＸ受信装置	1 式
非常用指令設備	1 台	気象情報収集装置	1 式	駆け込み通報装置	14 式
指令制御装置	1 式	災害状況等自動案内装置	1 台	消防業務支援システム	1 式
署所端末装置	14 式	順次指令装置	1 台	指令用放送アンプ	13 式
携帯電話・ＩＰ電話受信転送装置	1 式	音声合成装置	1 式	庁内スピーカ	112 式
電話交換設備	1 式	出動車両運用管理装置	1 式	署所用情報表示盤	6 式
指揮台	1 台	出動車両運用端末装置	51 式	本部放送設備	1 式
映像制御装置	1 式	システム監視装置	1 式		
車両運用表示盤	1 面	電源設備	1 式		
支援情報表示盤	1 面	本部ネットワーク装置	1 式		
多目的情報表示盤	1 式	署所ネットワーク装置	14 式		

(２)電話通信設備

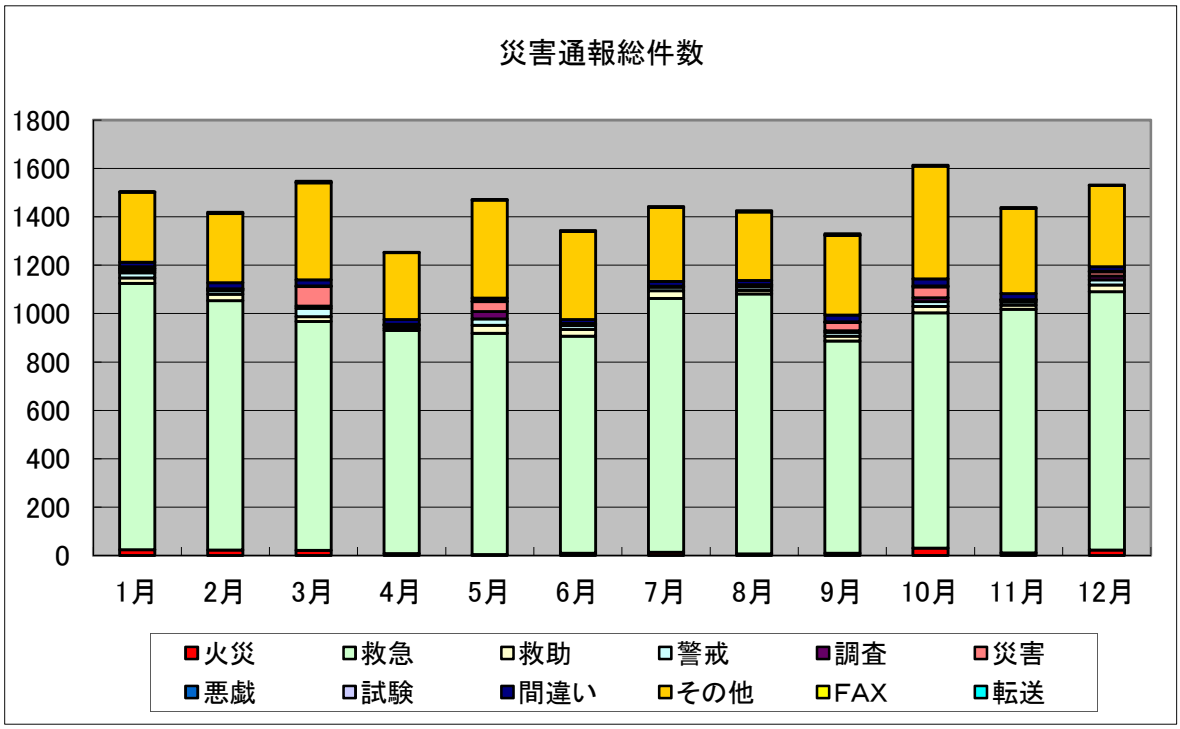
回線種別	消防本部	秋田消防署			土崎消防署		城東消防署		秋田南消防署		計
		本署	分署	出張所	本署	出張所	本署	出張所	本署	分署	
火災報知専用電話	12										12
指令電話		1	1	2	1	4	1	1	1	2	14
緊急通報回線		1	1	2	1	4	1	1	1	2	14
災害情報等自動案内装置	6										6
関係機関直通専用電話	13										13
救急病院直通専用電話	6										6

(３)無線通信

回線種別		消防本部	秋田消防署			土崎消防署		城東消防署		秋田南消防署		計
			本署	分署	出張所	本署	出張所	本署	出張所	本署	分署	
基地局	10 W	2										2
	5 W	4										4
固定局	10 W	6										6
可搬局	5 W	1										1
移動局 車載局	5 W	22	7	4	2	10	4	7	2	5	7	70
移動局 携帯局	2 W	18	9	5	2	10	4	9	3	7	8	75
地球局		1										1

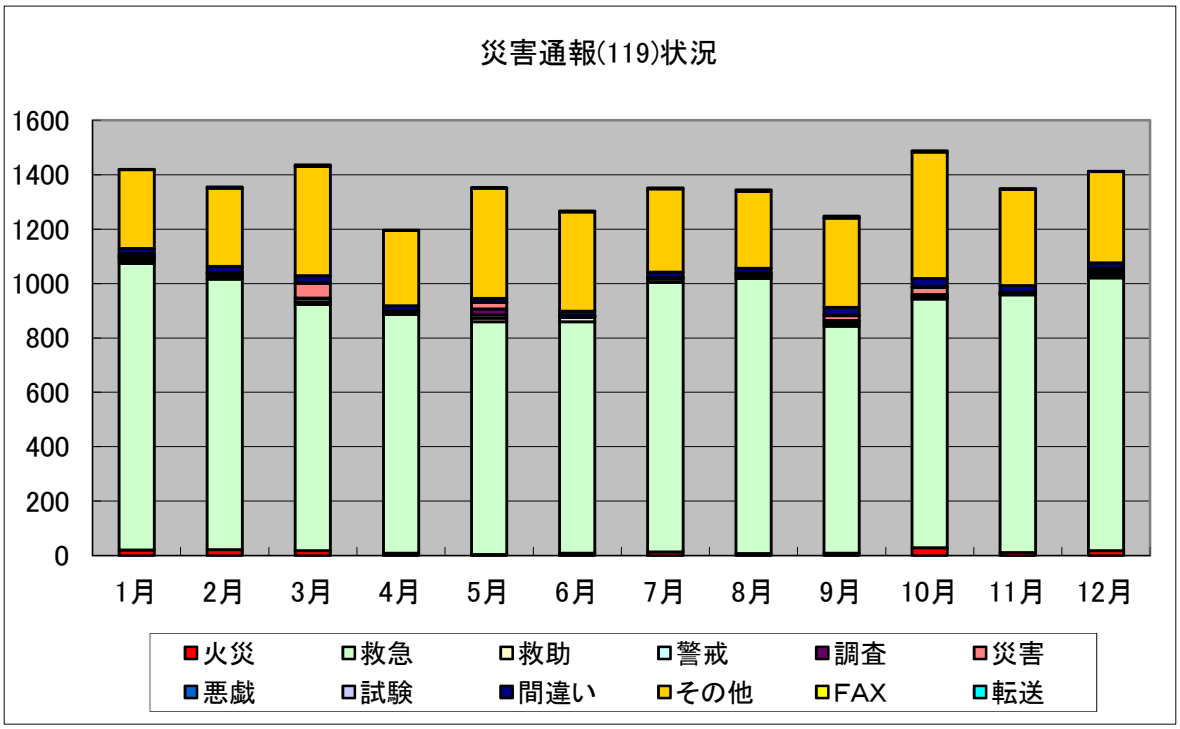
災害通報総件数

	火災	救急	救助	警戒	調査	災害	悪戯	試験	間違い	その他	FAX	転送	合計
1月	24	1101	22	22	8	8	1	8	19	289	0	2	1504
2月	22	1031	27	14	5	3	1	0	24	287	0	5	1419
3月	21	947	19	35	9	81	2	0	26	401	2	4	1547
4月	8	923	8	11	3	0	3	0	19	277	0	1	1253
5月	4	915	33	26	30	42	1	0	13	405	0	3	1472
6月	9	898	27	16	6	1	2	0	16	365	0	4	1344
7月	13	1050	31	15	4	0	0	0	20	306	0	3	1442
8月	7	1074	15	14	7	0	3	0	17	283	0	5	1425
9月	9	878	20	15	7	35	1	1	28	329	1	6	1330
10月	31	972	27	19	16	46	3	0	30	465	0	5	1614
11月	11	1007	17	13	8	1	1	0	25	352	0	4	1439
12月	23	1067	28	21	16	18	2	0	19	336	0	1	1531
合計	182	11863	274	221	119	235	20	9	256	4095	3	43	17320



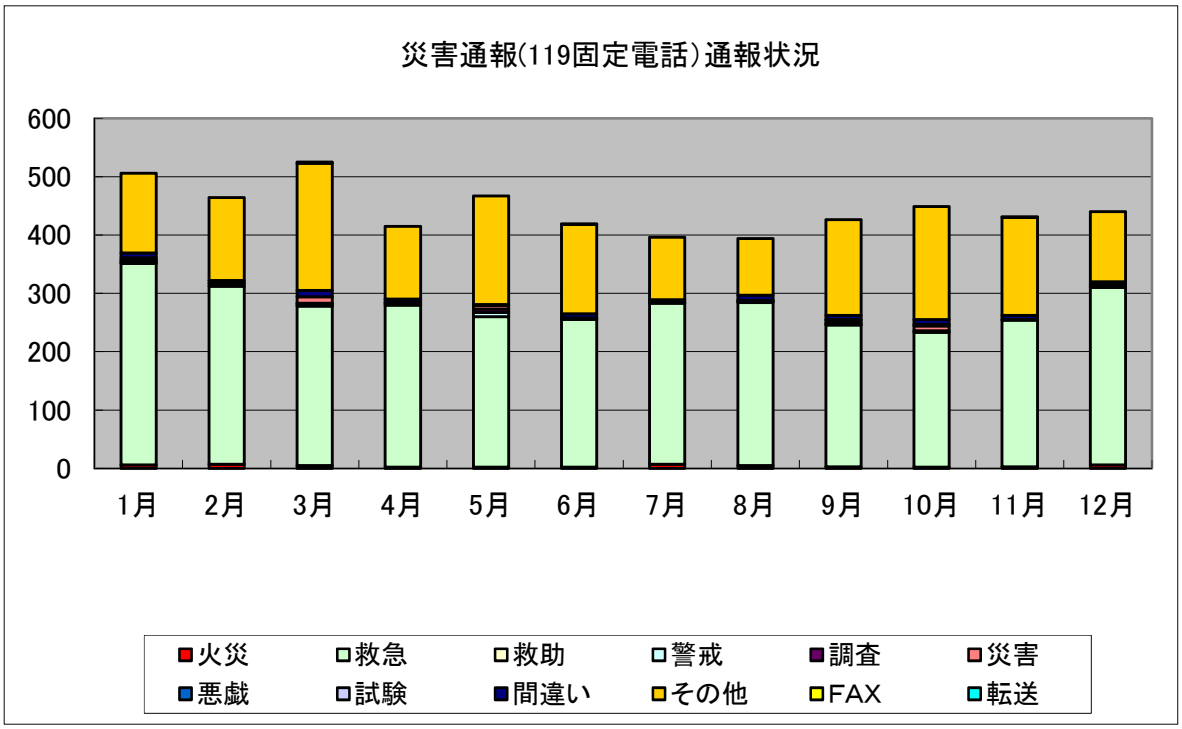
災害通報(119)総件数

	火災	救急	救助	警戒	調査	災害	悪戯	試験	間違い	その他	FAX	転送	合計
1月	20	1054	10	9	3	5	1	8	19	289	0	2	1420
2月	21	995	11	9	0	2	1	0	24	287	0	5	1355
3月	18	905	9	12	3	54	2	0	26	401	2	4	1436
4月	8	878	4	6	0	0	3	0	19	277	0	1	1196
5月	4	856	12	12	22	25	1	0	13	405	0	3	1353
6月	9	851	15	4	1	0	2	0	16	365	0	4	1267
7月	13	991	12	5	1	0	0	0	20	306	0	3	1351
8月	7	1011	8	6	4	0	3	0	17	283	0	5	1344
9月	8	835	9	9	3	18	1	1	28	329	1	6	1248
10月	29	914	6	5	6	25	3	0	30	465	0	5	1488
11月	11	947	1	5	3	0	1	0	25	352	0	4	1349
12月	18	1003	10	11	5	8	2	0	19	336	0	1	1413
合計	166	11240	107	93	51	137	20	9	256	4095	3	43	16220



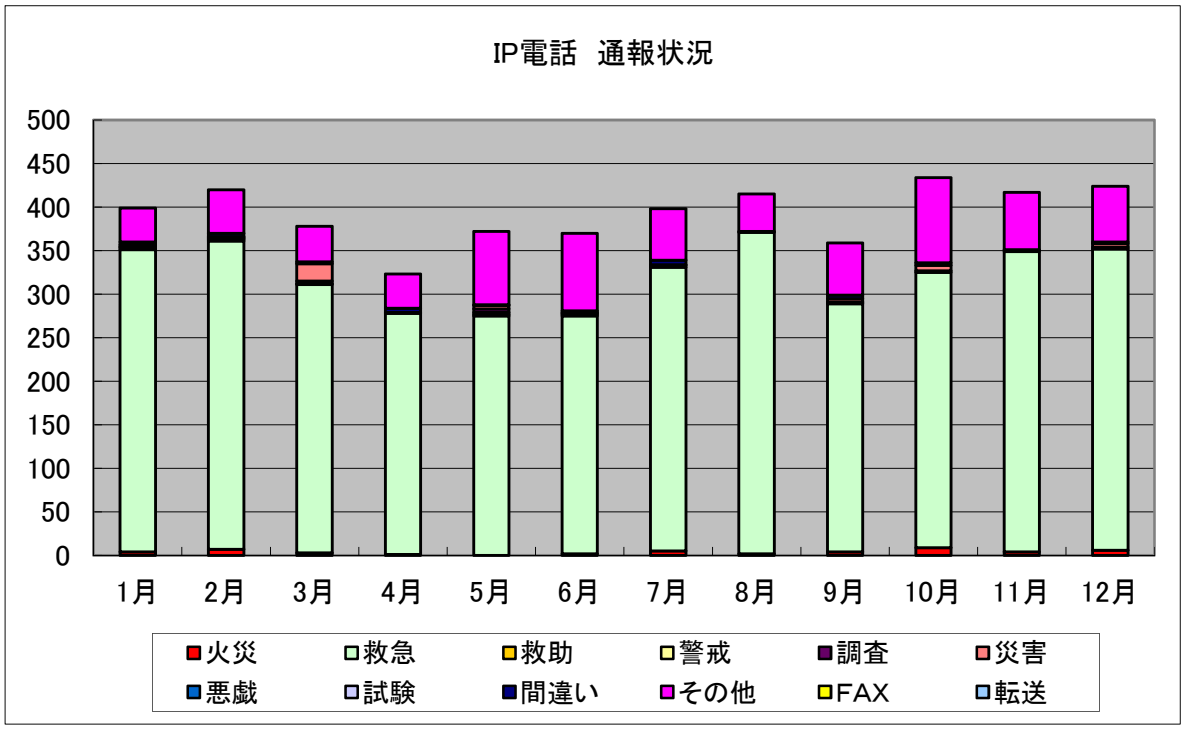
固定電話通報件数

	火災	救急	救助	警戒	調査	災害	悪戯	試験	間違い	その他	FAX	転送	合計
1月	6	345	2	2	2	0	0	4	8	137	0	0	506
2月	7	305	0	5	0	0	0	0	5	142	0	0	464
3月	5	273	1	3	1	11	0	0	11	218	2	0	525
4月	2	278	3	2	0	0	0	0	5	125	0	0	415
5月	2	258	0	7	6	6	0	0	2	186	0	0	467
6月	2	253	2	1	0	0	0	0	7	153	0	1	419
7月	7	276	1	0	0	0	0	0	5	107	0	0	396
8月	5	279	2	1	1	0	0	0	9	97	0	0	394
9月	3	243	1	2	0	5	0	1	7	164	0	0	426
10月	2	231	3	0	0	8	3	0	8	194	0	0	449
11月	3	251	0	0	1	0	0	0	7	168	0	1	431
12月	6	304	0	3	0	2	0	0	5	120	0	0	440
合計	50	3296	15	26	11	32	3	5	79	1811	2	2	5332



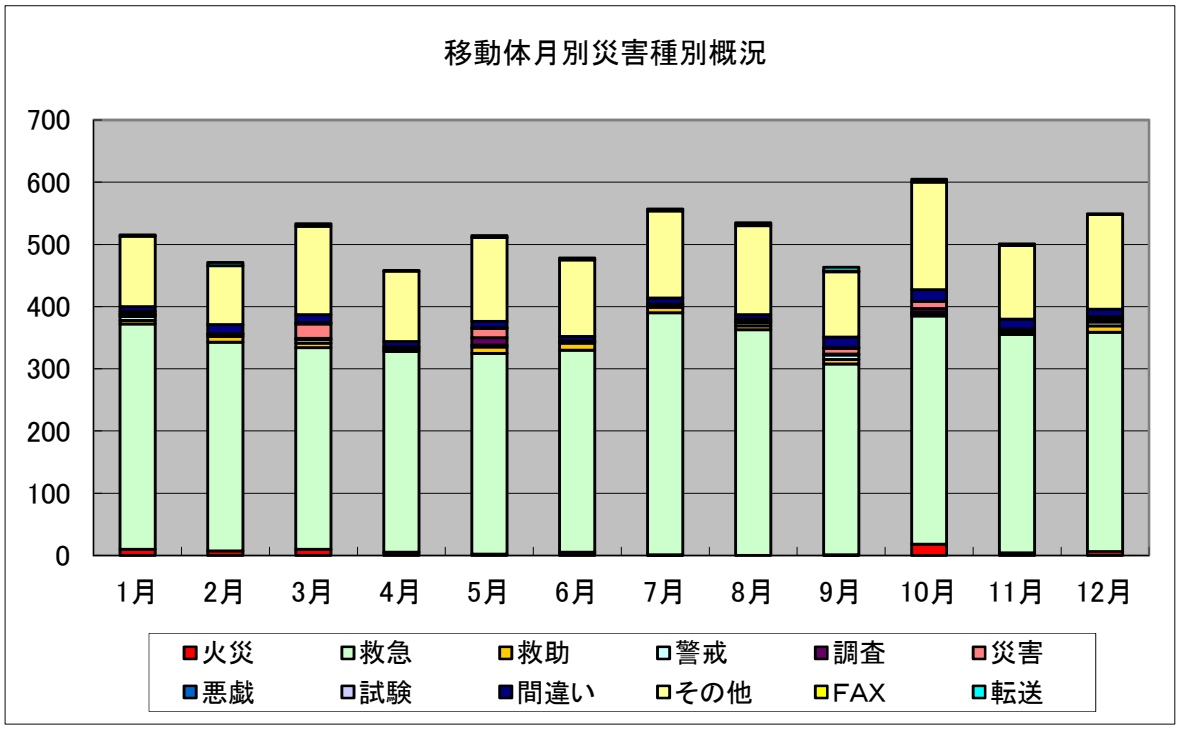
IP電話　通報件数

	火災	救急	救助	警戒	調査	災害	悪戯	試験	間違い	その他	FAX	転送	合計
1月	4	347	2	1	1	2	0	0	3	39	0	0	399
2月	7	354	2	1	0	1	1	0	4	50	0	0	420
3月	3	308	1	3	0	20	0	0	2	41	0	0	378
4月	1	277	1	0	0	0	0	0	5	39	0	0	323
5月	0	275	2	2	4	4	0	0	1	84	0	0	372
6月	2	273	2	0	1	0	1	0	2	89	0	0	370
7月	5	326	2	1	0	0	0	0	5	59	0	0	398
8月	2	369	0	0	0	0	0	0	1	43	0	0	415
9月	4	285	1	0	1	4	0	0	4	60	0	0	359
10月	9	316	0	2	0	6	0	0	3	98	0	0	434
11月	4	345	0	0	0	0	0	0	2	66	0	0	417
12月	6	346	0	2	0	4	0	0	2	64	0	0	424
合計	47	3821	13	12	7	41	2	0	34	732	0	0	4709



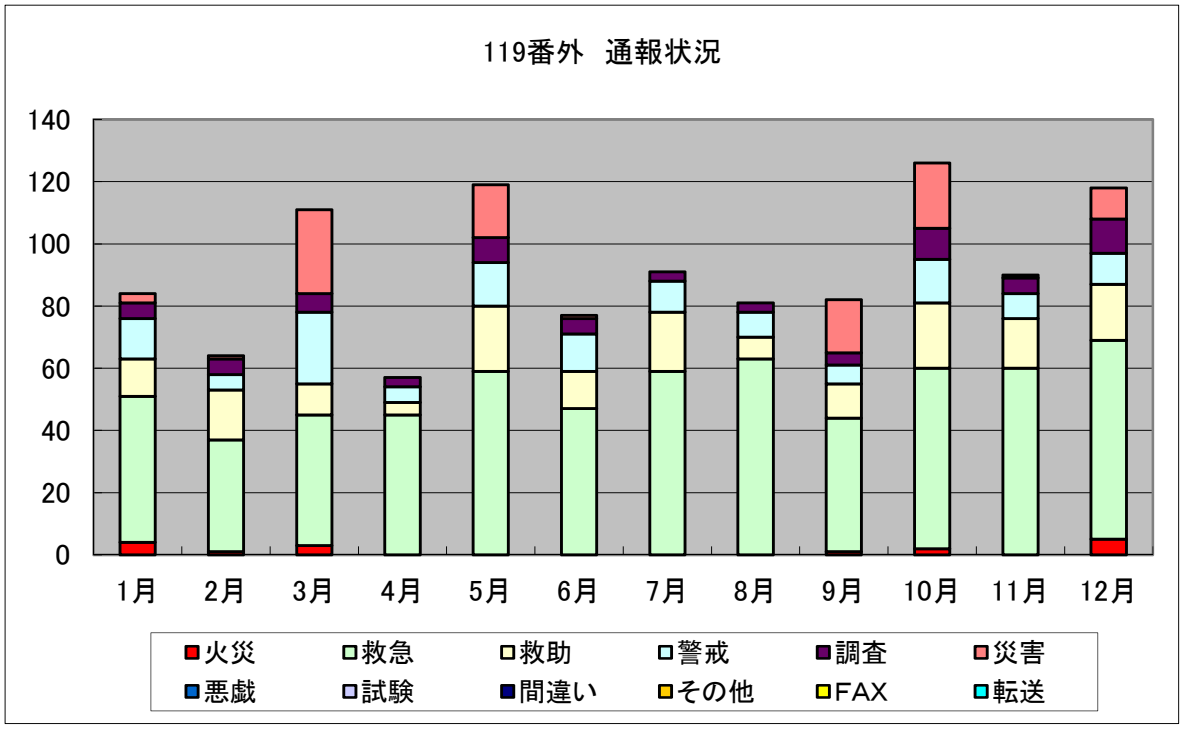
携帯電話　通報件数

	火災	救急	救助	警戒	調査	災害	悪戯	試験	間違い	その他	FAX	転送	合計
1月	10	362	6	6	0	3	1	4	8	113	0	2	515
2月	7	336	9	3	0	1	0	0	15	95	0	5	471
3月	10	324	7	6	2	23	2	0	13	142	0	4	533
4月	5	323	0	4	0	0	3	0	9	113	0	1	458
5月	2	323	10	3	12	15	1	0	10	135	0	3	514
6月	5	325	11	3	0	0	1	0	7	123	0	3	478
7月	1	389	9	4	1	0	0	0	10	140	0	3	557
8月	0	363	6	5	3	0	3	0	7	143	0	5	535
9月	1	307	7	7	2	9	1	0	17	105	1	6	463
10月	18	367	3	3	6	11	0	0	19	173	0	5	605
11月	4	351	1	5	2	0	1	0	16	118	0	3	501
12月	6	353	10	6	5	2	2	0	12	152	0	1	549
合計	69	4123	79	55	33	64	15	4	143	1552	1	41	6179



119番外　通報件数

	火災	救急	救助	警戒	調査	災害	悪戯	試験	間違い	その他	FAX	転送	合計
1月	4	47	12	13	5	3							84
2月	1	36	16	5	5	1							64
3月	3	42	10	23	6	27							111
4月	0	45	4	5	3	0							57
5月	0	59	21	14	8	17							119
6月	0	47	12	12	5	1							77
7月	0	59	19	10	3	0							91
8月	0	63	7	8	3	0							81
9月	1	43	11	6	4	17							82
10月	2	58	21	14	10	21							126
11月	0	60	16	8	5	1							90
12月	5	64	18	10	11	10							118
合計	16	623	167	128	68	98	0	0	0	0	0	0	1100

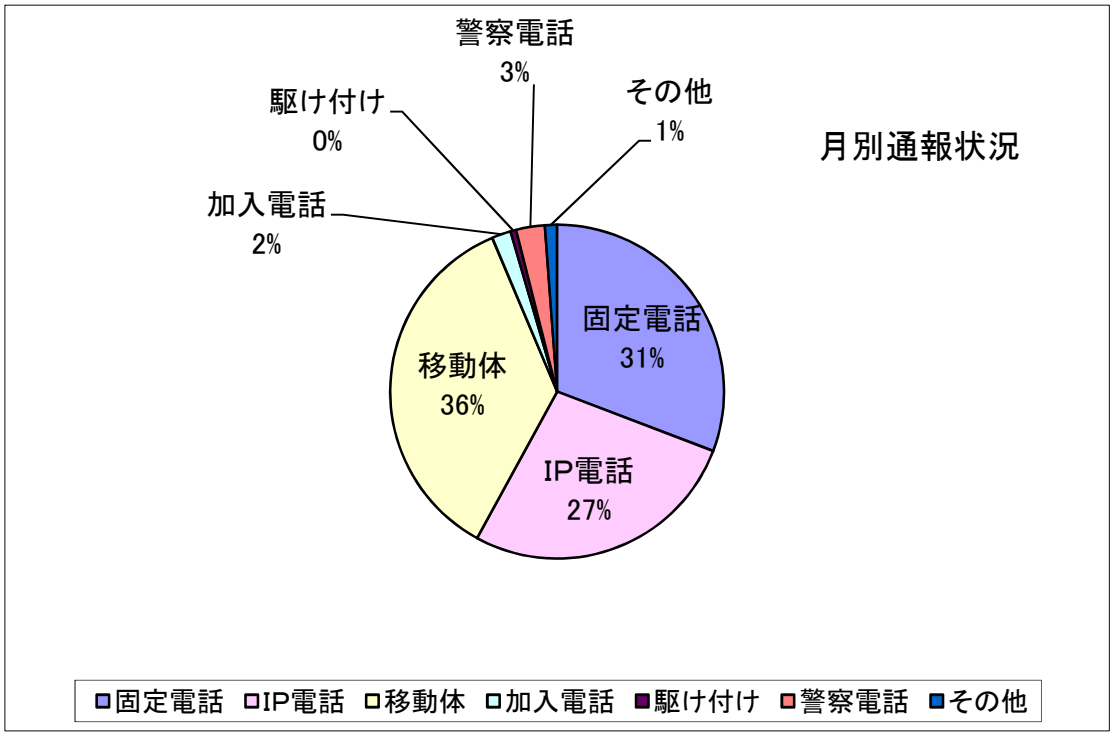


月別通報件数

区分	固定電話	IP電話	移動体	加入電話	駆け付け	警察電話	その他	通報総数
1月	506	399	515	28	7	39	10	1504
2月	464	420	471	16	7	26	15	1419
3月	525	378	533	44	11	37	19	1547
4月	415	323	458	12	5	34	6	1253
5月	467	372	514	42	7	51	19	1472
6月	419	370	478	17	8	38	14	1344
7月	396	398	557	20	8	46	17	1442
8月	394	415	535	15	5	36	25	1425
9月	426	359	463	29	7	31	15	1330
10月	449	434	605	47	8	47	24	1614
11月	431	417	501	17	11	44	18	1439
12月	440	424	549	34	7	57	20	1531
合計	5332	4709	6179	321	91	486	202	17320

月平均	444.3	392.4	514.9	26.8	7.6	40.5	16.8	1443.3

※　固定電話：119番通報のうち、NTT加入回線からの通報分。
※　加入電話：消防本部、消防署、分署および出張所へNTT回線からの通報分。
※　移動体：119番通報のうち、自動車電話や携帯電話による通報分。
※　その他：主として消防隊や救急隊などが発見したもの。
※　件　数：災害通報の件数を統計にしたもので、火災・救急件数とは異なります。



出動指令状況

平成30年中

種別＼件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
第一出動	3	5	6	2	0	5	0	1	2	1	3	8	36
第二出動	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3	2	8
第三出動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定出動	14	11	14	5	4	1	12	5	5	28	3	9	111
特命出動	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
調査出動	6	0	5	1	14	5	2	6	20	12	5	6	82
警戒出動	30	37	66	16	34	31	36	33	33	33	28	42	419
救助出動	22	20	17	8	42	27	35	22	19	22	15	27	276
救急応援救助	159	130	120	128	122	108	92	104	96	110	143	145	1,457
災害出動	6	3	49	0	42	1	0	0	18	43	0	14	176
救急出動	1108	1052	974	921	930	917	1023	1090	897	960	1015	1090	11,977
合計	1348	1259	1252	1081	1188	1095	1200	1261	1091	1210	1215	1343	14,543

指令外出動状況

平成30年中

種別＼件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
第一出動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第二出動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第三出動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定出動	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
特命出動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調査出動	2	4	6	4	3	3	2	1	7	8	5	10	55
警戒出動	6	0	5	1	3	2	4	2	0	3	0	4	30
救助出動	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
救急応援救助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
災害出動	2	0	10	0	12	0	0	0	1	1	1	4	31
救急出動	6	2	7	3	7	7	5	5	5	7	6	4	64
合計	16	7	29	8	26	12	11	8	13	19	12	22	183

口頭指導状況

平成30年中

種別＼件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
心肺蘇生（1人法）	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3
心肺蘇生（2人法）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胸骨圧迫	30	18	20	19	24	23	11	16	23	18	25	26	253
人工呼吸	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
気道確保	2	3	0	7	6	3	2	2	1	6	4	2	38
異物除去	0	2	1	0	2	2	2	1	0	0	0	3	13
体位管理	0	3	2	3	6	2	2	2	1	4	1	1	27
止血	4	3	3	11	8	8	9	10	4	13	10	9	92
その他	6	2	2	1	3	6	2	2	1	0	7	4	36
合計	33	26	23	30	38	30	19	21	25	28	30	41	463

※救急事案に対する口頭指導

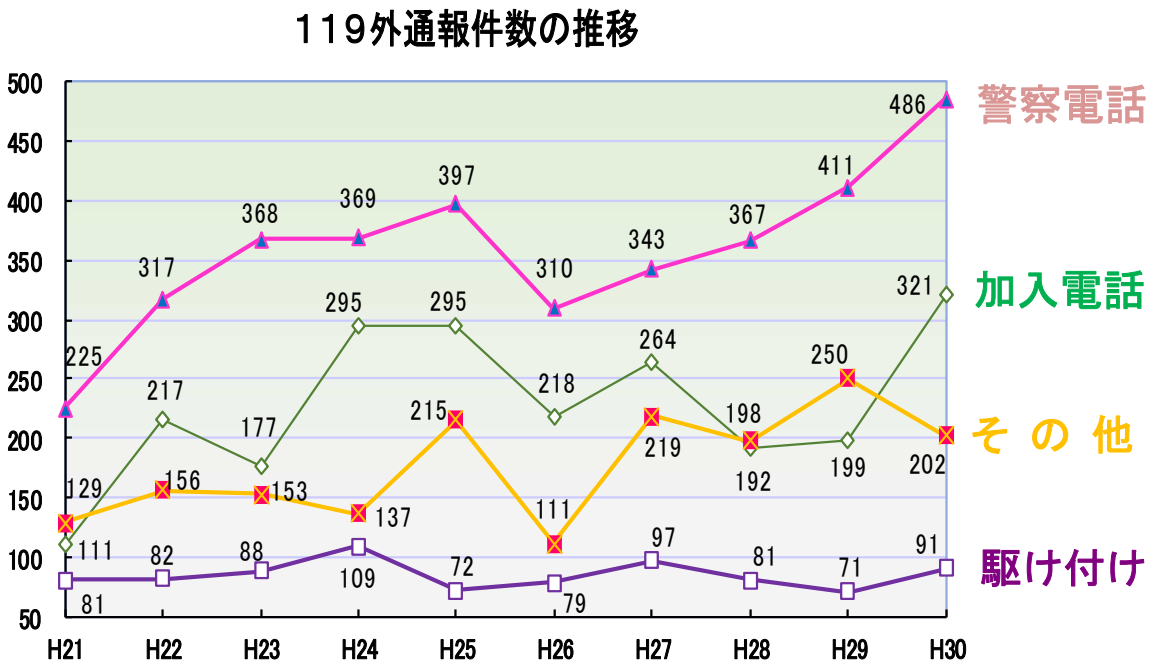
問い合わせ状況

平成30年中

月別＼種別	月計	病院問合せ		その他	
		119	（加入）	119	（加入）
合計	135	69	18	45	3
比率%	100%	51%	14%	33%	2%
1月	16	6	4	5	1
2月	2	1	0	1	0
3月	10	5	1	4	0
4月	12	1	2	9	0
5月	8	1	3	4	0
6月	7	4	1	2	0
7月	13	10	1	2	0
8月	21	17	1	3	0
9月	13	8	1	3	1
10月	10	6	1	3	0
11月	11	5	1	5	0
12月	12	5	2	4	1

１１９番外通報内訳件数の推移

内訳＼年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
加入電話	218	264	192	199	321
駆け付け	79	97	81	71	91
警察電話	310	343	367	411	486
その他	111	219	198	250	202
合計	718	923	838	931	1,100



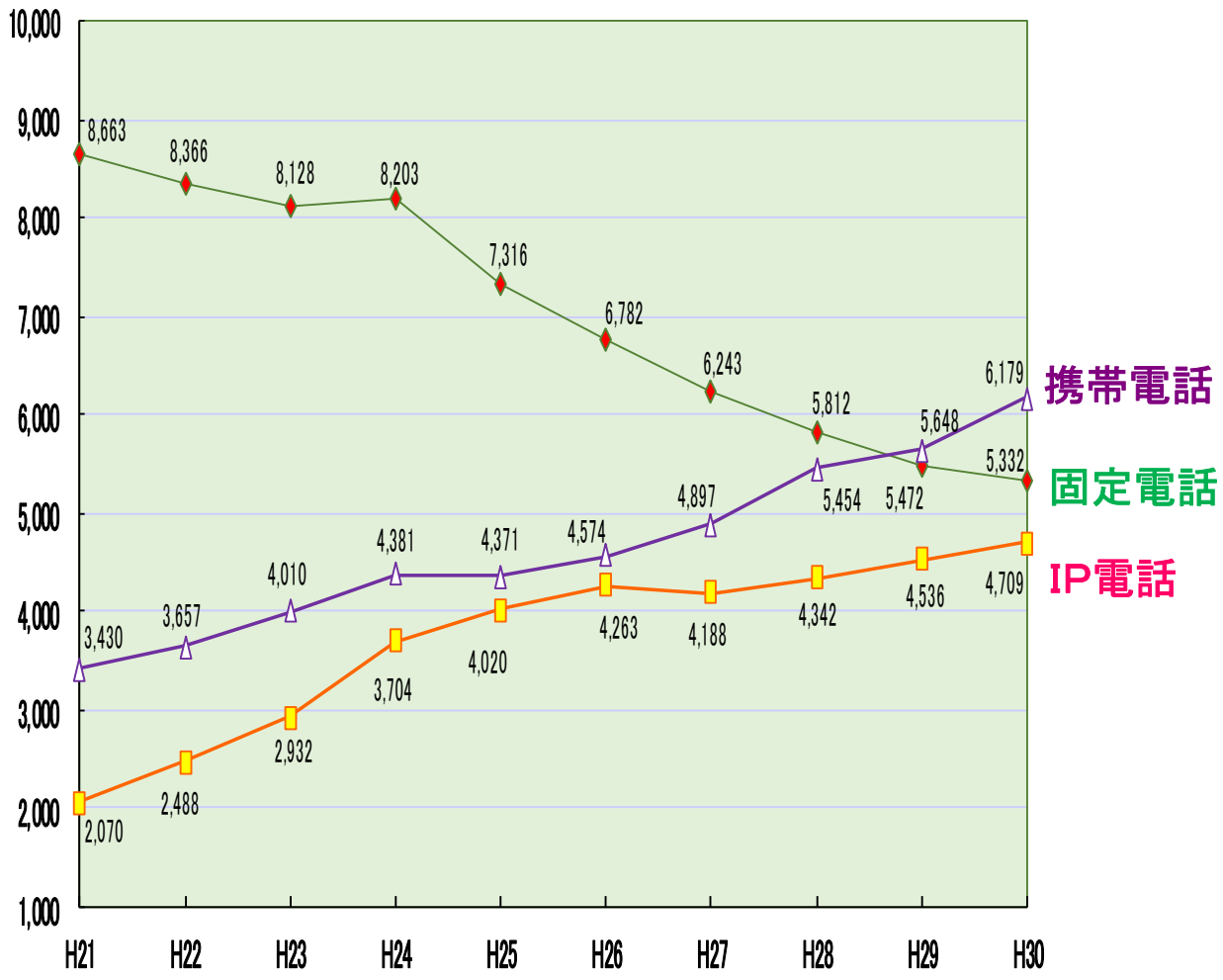
災害通報総件数の推移

区分＼年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
火災	200	187	167	191	182
救急	11,420	11,196	11,409	11,675	11,863
救助	177	202	228	256	274
警戒	265	308	222	251	221
調査	53	67	34	83	119
災害	13	60	22	166	235
悪戯	14	3	16	11	20
試験	38	11	278	2	9
間違い	273	227	244	188	256
その他	3,922	3,953	3,776	3,717	4,095
FAX	20	7	5	4	3
転送	26	30	45	43	43
合計	16,421	16,251	16,446	16,587	17,320

通報件数の推移

区分　　年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
災害通報総件数	14,709	15,283	15,856	17,225	16,686	16,421	16,251	16,446	16,587	17,320
１１９総件数	14,163	14,511	15,070	16,288	15,707	15,619	15,328	15,608	15,656	16,220
固定電話通報件数	8,663	8,366	8,128	8,203	7,316	6,782	6,243	5,812	5,472	5,332
ＩＰ電話通報件数	2,070	2,488	2,932	3,704	4,020	4,263	4,188	4,342	4,536	4,709
携帯電話通報件数	3,430	3,657	4,010	4,381	4,371	4,574	4,897	5,454	5,648	6,179
１１９外　通報件数	546	772	786	937	979	802	923	838	931	1,100

119番通報件数の推移



7　消　防　団

消防車両等機械器具の配備状況　（非常備）

消防団機械・人員等配備状況　　平成31年4月1日現在

区分 / 分団名	人員									機械					器具置場数	ホース乾燥塔
	総数		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	消防ポンプ自動車	救助資機材搭載型消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ積載車	小型動力ポンプ	救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車		
	定員	実員														
総数	2,100	1,810	1	5	37	32	121	250	1,364	7	2	97	59	4	167	156
団本部	26	46	1	5	5		5	3	27							
金足分団	149	137			1	1	6	16	113			5	9		14	14
上新城分団	56	41			1	1	3	7	29			2	2		4	4
下新城分団	107	88			1	1	5	12	69			4	3		7	7
飯島分団	56	50			1	1	3	7	38			2	2		4	4
外旭川分団	79	68			1	1	4	7	55			3	3		6	4
土崎北分団	47	45			1	1	3	6	34			1	1	1	3	3
土崎南分団	30	29			1	1	2	5	20	1			1		2	2
寺内分団	59	53			1	1	3	7	41			3	1		4	3
旭川分団	78	55			1	1	4	8	41			3	3		6	6
城東分団	49	42			1	1	3	8	29		1	1	2		4	3
保戸野分団	28	26			1	1	2	5	17	1			1		2	2
秋田東分団	38	36			1	1	2	5	27			1	2		3	3
秋田中央分団	29	28			1	1	3	6	17	1				1	2	2
秋田旭分団	24	18			1	1	2	5	9	1		1			2	2
川尻分団	19	14			1	1	2	4	6	1					1	1
牛島分団	18	14			1	1	2	3	7	1					1	1
太平分団	127	109			1	1	5	13	89			4	8		12	9
下北手分団	71	61			1	1	4	9	46			3	4		7	7
上北手分団	78	68			1	1	4	9	53			3	4		7	7
新屋分団	37	26			1	1	3	6	15		1	1			2	1
仁井田分団	58	53			1	1	3	7	41			2	3		5	4
四ツ小屋分団	60	49			1	1	3	6	38			2	3		5	5
浜田分団	49	41			1	1	3	5	31			2	1		3	3
豊岩分団	60	49			1	1	3	7	37			2	3		5	4
下浜分団	81	71			1	1	4	9	56			3	3	1	6	6
河辺第一分団	114	93			1	1	5	12	74			11			11	11
河辺第二分団	99	105			1	1	5	10	88			9			9	8
河辺第三分団	100	74			1	1	6	12	54	1		11			12	12
雄和第一分団	73	53			1	1	5	9	37			6		1	6	6
雄和第二分団	51	40			1	1	4	7	27			3			3	3
雄和第三分団	47	36			1	1	4	4	26			3			3	3
雄和第四分団	103	92			1	1	6	11	73			6			6	6

消防団員勤務年数

階級 / 年数	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
１年未満	79							79
１年以上～５年未満	303						3	300
５年以上～10年未満	255					1	9	245
10年以上～15年未満	270					3	30	237
15年以上～20年未満	310			2	2	10	67	229
20年以上～25年未満	231			4	7	27	61	132
25年以上～30年未満	201			9	6	51	49	86
30年以上	161	1	5	22	17	29	31	56
計	1,810	1	5	37	32	121	250	1,364
平均	14.7	32.0	34.6	31.3	29.0	25.9	20.9	11.7

消防団員年齢

階級 / 年数	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
20歳未満	3							3
20歳以上～25歳未満	33							33
25歳以上～30歳未満	53						2	51
30歳以上～35歳未満	106						1	105
35歳以上～40歳未満	168						8	160
40歳以上～45歳未満	301					3	24	274
45歳以上～50歳未満	293					9	51	233
50歳以上～55歳未満	235				3	21	66	145
55歳以上～60歳未満	267			6	12	47	57	145
60歳以上	351	1	5	31	17	41	41	215
計	1,810	1	5	37	32	121	250	1,364
平均	48.5	62.0	62.4	61.1	59.3	56.5	51.9	46.5

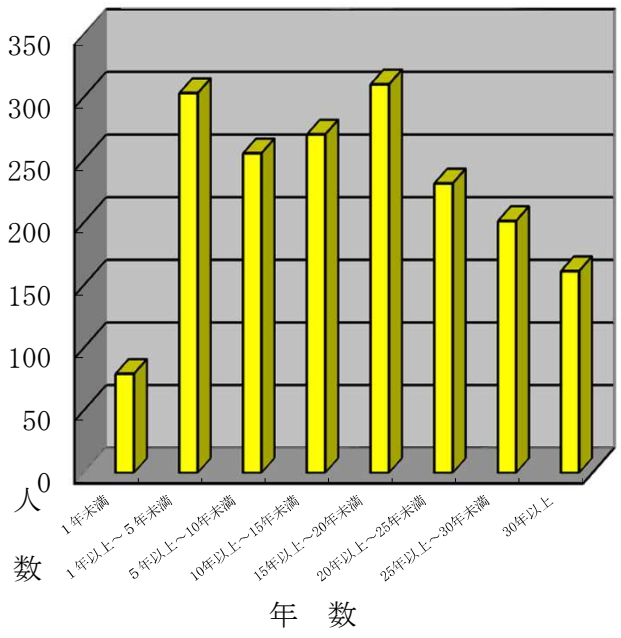
消防団員異動状況　　平成30年度中

区分＼階級	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
採用	89							89
退職	131			5	3	15	10	98
昇格	110	1	5	15	13	33	43	
降格	6							6
死亡	5						1	4

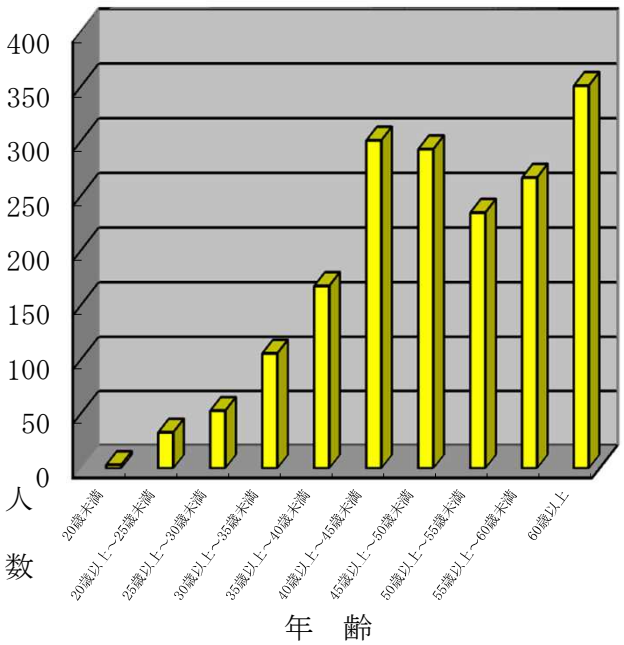
消防団員の年報酬および費用弁償額　　（単位：円）

区分＼階級	支給単位	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	
								基本団員	機能別団員
報酬	（年額）	112,300	81,900	50,500	40,100	32,800	27,100	22,000	7,300 3,700
費用弁償額	（１回）	災害の防御および救助活動4,000 その他3,000							
車両等管理	（年額）	5,000							

消防団員勤務年数比較



消防団員年齢比較



消防団消防ポンプ自動車配置状況

区分／分団名	配置場所	所在地	建築年月	建築構造	建築延面積（㎡）
土崎南分団	愛宕	土崎港南一丁目14-20	8.1	木二亜	33.12 62.92
城東分団	城東	広面字堤敷38-1	1.3	木二亜	24.30 48.60
保戸野分団	保戸野	保戸野すわ町9-56	10.12	木二亜	28.98 57.96
秋田中央分団	中通	中通五丁目8-46	14.8	木平亜	39.74
秋田旭分団	旭南	旭南一丁目10-9	10.1	木平亜	49.68
川尻分団	川尻	川尻総社町18-4	7.3	木二亜	33.12 62.92
牛島分団	牛島	牛島東三丁目4-5	49.9	木二亜	32.40 60.75
新屋分団	元町	新屋元町23-2	23.12	木平亜	33.95
河辺第三分団	岩見三内	河辺三内字外川原83-28	不明	不明	不明

消防団小型動力ポンプ付積載車配置状況

区分／分団名	配置場所	所在地	建築年月日	建築構造	建築延面積（㎡）
金足分団	黒川	金足黒川字黒川136-3	5.12	木平亜	19.87
金足分団	高岡	金足高岡字稲荷林156	50.9	木二亜	32.40 60.75
金足分団	堀内	金足堀内字堀内85	45.3	木平亜	16.53
金足分団	追分	金足追分字海老穴201-94	9.2	木二亜	33.12 62.93
金足分団	下刈	金足下刈字館越138	9.12	木平亜	19.87
上新城分団	五十丁	上新城五十丁字大村屋敷22	12.3	木二亜	33.12 60.75
上新城分団	道川	上新城道川字宮ノ下67-1	12.11	木平亜	19.87
下新城分団	笠岡	下新城笠岡字堰場193-4	5.10	木二亜	33.10 62.10
下新城分団	青崎下小友	下新城青崎字雷田186	2.12	木平亜	14.58
下新城分団	中野	下新城中野字街道端西29-5	22.12	木平亜	19.87
下新城分団	長岡笹島	下新城長岡字外脇77-1	12.11	木平亜	19.87
飯島分団	鼠田尻	飯島松根東町5-22	24.3	木平亜	22.36
飯島分団	鼠田	飯島鼠田四丁目7-27	8.12	木平亜	19.87
外旭川分団	神田	外旭川字梶ノ目525-1	25.3	木平亜	22.36
外旭川分団	向山	外旭川字堂ノ前205	15.3	木平亜	19.87
外旭川分団	笹岡	外旭川字家ノ前239	7.12	木平亜	19.87
土崎北分団	相染	土崎港中央七丁目4-19	12.12	木二亜	33.12 62.92
土崎北分団	旭町	土崎港中央三丁目233-12	12.3	木平亜	19.87

車　名	車両番号	初度登録	ポンプ製作所	摘　要
三　菱	秋田88 す 5600	7.12	森　田	
日　野	秋田800 す 4296	29.10	森　田	4WD　救助資機材搭載
三　菱	秋田88 す 4603	6.10	森　田	
三　菱	秋田88 す 5599	7.12	森　田	
三　菱	秋田88 す 4600	6.10	森　田	
三　菱	秋田88 す 5601	7.12	森　田	
三　菱	秋田88 す 3768	5. 9	森　田	4WD
三　菱	秋田880 す 4968	30.11	森　田	4WD　救助資機材搭載
三　菱	秋田88 す 3750	5. 9	森　田	4WD

車　名	車両番号	初度登録	摘　要
スバル	秋田80 あ 1179	12. 1	
三　菱	秋田80 あ 764	6.12	
ダイハツ	秋田880 あ 1657	30. 1	
スズキ	秋田880 あ 1780	31.1	
ダイハツ	秋田80 あ 1397	13.12	
スズキ	秋田880 あ 1779	31.1	
ダイハツ	秋田80 あ 1394	13.12	
スバル	秋田80 あ 932	8.12	
ダイハツ	秋田80 あ 848	8. 1	
スバル	秋田880 あ 864	24.3	
三　菱	秋田80 あ 1290	13. 1	
スバル	秋田80 あ 929	8.12	
三　菱	秋田80 あ 1291	13. 1	
三　菱	秋田80 あ 1017	10. 1	
三　菱	秋田80 あ 1509	14.12	
スバル	秋田80 あ 1181	12. 1	
いすゞ	秋田800 す 1901	26.1	救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車
三　菱	秋田80 あ 1513	14.12	

区分 / 分団名	配置場所	所在地	建築年月日	建築構造	建築延面積（㎡）
寺内分団	寺内	寺内児桜一丁目101	26.10	木平鋼	19.87
寺内分団	八橋	八橋南一丁目13-6	15.3	木平亜	13.44
寺内分団	将軍野南	将軍野南五丁目11－11	16. 3	木平亜	19.87
旭川分団	旭川	旭川新藤田東町9-1	9.12	木平亜	19.87
旭川分団	添川	添川字添川139-1	25.3	木平亜	22.36
旭川分団	仁別	仁別字家ハツレ19-1	29.12	木平亜	19.87
城東分団	赤沼	広面字赤沼88	4.12	木平亜	17.01
秋田東分団	広面	広面字広面98-1	12. 3	木平亜	19.87
秋田中央分団	築山	楢山南中町1-20	18.3	木二亜	33.12　66.24
秋田旭分団	旭北	大町四丁目5-3	14. 3	木平亜	24.84
太平分団	八田	太平八田字荒巻179	7. 3	木平亜	19.87
太平分団	本町	太平目長崎字上目長崎135	15.3	木二亜	33.12　62.93
太平分団	黒沢	太平黒沢字野崎56	29.12	木平亜	19.87
太平分団	皿見内	太平山谷字上皿見内93	54.11	木平亜	12.20
下北手分団	柳館	下北手柳館字向田261	4.11	木二亜	32.40　56.70
下北手分団	宝川	下北手宝川字堂ヶ下103	16. 3	木平亜	19.87
下北手分団	梨平	下北手梨平字梨平52	5.12	木平亜	19.87
上北手分団	大山田	上北手大山田字豊口120	1. 8	木平亜	14.68
上北手分団	館ノ下	上北手猿田字苗代沢139-4	14. 3	木二亜	33.12　62.92
上北手分団	小山田	上北手小山田字桜田183-1	4. 3	木平亜	14.58
新屋分団	割山	新屋船場町6-39	22.12	木平亜	19.87
仁井田分団	上新田	仁井田本町四丁目5-16	23.12	木平亜	22.36
仁井田分団	大野	仁井田字大野659-1	29.12	木平亜	19.87
四ッ小屋分団	城下当場	四ッ小屋字城下当場115-1	22.12	木平亜	22.36
四ッ小屋分団	小阿地	四ッ小屋小阿地字坂ノ下8	5.12	木平亜	19.87
浜田分団	自在山	浜田字自在山88-4	23.12	木平亜	22.36
浜田分団	内浜田	浜田字館ノ前71-5	26.10	木平鋼	19.87
豊岩分団	中島	豊岩豊巻字内縄尻344	17.3	木二亜	31.47　62.94
豊岩分団	小山	豊岩小山字狐森35	25.12	木平亜	19.87
下浜分団	羽川１ 羽川２	下浜羽川字下山48－39	29. 3	木平鋼	49.69
下浜分団	長浜	下浜長浜字荒郷屋61	16. 3	木二亜	33.21　62.92
下浜分団	楢田	下浜楢田字上野77-1	1.8	木平亜	14.68

車　名	車両番号	初度登録	摘　要
三　菱	秋田80 あ 732	6.10	
スバル	秋田80 あ 1640	15.12	
ダイハツ	秋田80 あ 1766	16.12	
ダイハツ	秋田880 あ 1656	30. 1	
スバル	秋田80 あ 931	8.12	
スズキ	秋田880 あ 1538	29. 3	
三　菱	秋田80 あ 1292	13. 1	
三　菱	秋田80 あ 1512	14.12	
いすず	秋田800 す 674	24.1	救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車
三　菱	秋田80 あ 1019	10. 1	
スバル	秋田80 あ 930	8.12	
ダイハツ	秋田880 あ 1655	30. 1	
三　菱	秋田80 あ 1510	14.12	
スズキ	秋田880 あ 1535	29.3	
三　菱	秋田80 あ 761	6.12	
スバル	秋田80 あ 1639	15.12	
スバル	秋田80 あ 1180	12. 1	
ダイハツ	秋田80 あ 1396	13.12	
スズキ	秋田880 あ 1781	31.1	
ダイハツ	秋田80 あ 1074	11. 1	
三　菱	秋田80 あ 1018	10. 1	
ダイハツ	秋田80 あ 850	8. 1	
スズキ	秋田880 あ 1783	31.1	
スバル	秋田80 あ 660	5.12	
三　菱	秋田80 あ 1020	10. 1	
ダイハツ	秋田80 あ 851	8. 1	
三　菱	秋田80 あ 763	6.12	
三　菱	秋田80 あ 762	6.12	
スズキ	秋田880 あ 1537	29. 3	
いすゞ	秋田800 す 3921	29. 3	救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車
三　菱	秋田80 あ 584	5. 1	
スバル	秋田80 あ 664	5.11	
ダイハツ	秋田80 あ 1395	13.12	

区分 分団名	配置 場所	所在地	建築 年月日	建築 構造	建築延面積 (㎡)
河辺第一分団	和田	河辺和田字上中野186	58.5	木平亜	33.12
河辺第一分団	下和田	河辺和田字和田2－3	不明	木平亜	20.90
河辺第一分団	上和田	河辺和田字岡村5-1	9.7	木平亜	28.31
河辺第一分団	式田	河辺和田字式田101-2	7.3	木平亜	15.15
河辺第一分団	諸井	河辺諸井字下諸井147-5	10.6	木平亜	15.18
河辺第一分団	山根	河辺諸井字山根129	16.11	木平亜	14.85
河辺第一分団	赤平	河辺赤平字小蟹沢45-4	1.12	木平亜	23.13
河辺第一分団	高岡	河辺高岡字川原田32-1	14.11	木平亜	19.87
河辺第一分団	坂本	河辺和田字宮崎地内	5.11	木平亜	9.75
河辺第一分団	神内	河辺神内字太田面11-2	10.10	木平亜	19.87
河辺第一分団	奥出	河辺神内字妙見118-1	15.10	木平亜	19.87
河辺第二分団	戸島上	河辺戸島字本町56	不明	木二亜	24.86　49.72
河辺第二分団	戸島下	河辺戸島字本町20-3	11.5	木平亜	19.87
河辺第二分団	白熊	河辺戸島字白熊沢97-2/98-2	16.11	木平亜	19.87
河辺第二分団	畑谷	河辺畑谷字中村74-1/74-2	不明	木平亜	19.44
河辺第二分団	豊成	河辺豊成字虚空蔵大台滝28-1	16.11	木平亜	19.87
河辺第二分団	畑	河辺北野田高屋字畑ノ沢211	15.11	木平亜	9.75
河辺第二分団	黒沼	河辺北野田高屋字神田302-1	12.3	木平亜	19.87
河辺第二分団	前田	河辺北野田高屋字前田31/32/33-2	12.9	木平亜	19.87
河辺第二分団	川原田	河辺松渕字川原田家ノ後63-3	8.10	木平亜	13.78
河辺第三分団	台	河辺岩見字鍛冶屋敷160-1	不明	木平亜	24.89
河辺第三分団	杉沢	河辺岩見字杉沢台3-1	不明	木平亜	23.81
河辺第三分団	東	河辺岩見字東86	不明	木平亜	17.01
河辺第三分団	野崎	河辺三内字野崎18-4	6.1	木平亜	16.52
河辺第三分団	新川	河辺岩見字新川上田面9-7	9.12	木平亜	16.58
河辺第三分団	鵜養	河辺岩見字鵜養21-1	27.12	木平鋼	27.74
河辺第三分団	小平岱	河辺岩見字小平岱14-49	7.11	木平亜	16.56
河辺第三分団	田尻	河辺三内字田尻下野田49-1	14.6	木平亜	19.87
河辺第三分団	曽場	河辺三内字曽場台42-1	16.10	木平亜	19.87
河辺第三分団	上三内	河辺岩見字萱森139-1	1.11	木平亜	23.13
河辺第三分団	砂子渕	河辺三内字岩谷袋7-1	11.8	木平亜	19.87

車　名	車両番号	初度登録	摘　要
スズキ	秋田880 あ 1394	28. 2	
スズキ	秋田880 あ 1782	31.1	
ニッサン	秋田800 さ 2080	12.12	
ダイハツ	秋田80 あ 770	7. 1	
ダイハツ	秋田80 あ 1014	9.12	
ダイハツ	秋田80 あ 1765	16.12	
ダイハツ	秋田88 あ 1261	27. 2	
ダイハツ	秋田80 あ 1492	14.10	
ダイハツ	秋田80 あ 675	5.12	
三菱	秋田80 あ 1072	10.12	
ダイハツ	秋田80 あ 1713	16. 9	
ダイハツ	秋田80 あ 944	9. 1	
ダイハツ	秋田80 あ 1714	16. 9	
ダイハツ	秋田80 あ 1763	16.12	
スズキ	秋田880 あ 1540	29. 3	
ダイハツ	秋田80 あ 1764	16.12	
ダイハツ	秋田80 あ 676	5.12	
ダイハツ	秋田80 あ 1491	14.10	
ダイハツ	秋田80 あ 1494	14.10	
ダイハツ	秋田80 あ 863	8. 3	
ダイハツ	秋田800 あ 548	21.9	
ダイハツ	秋田880 あ 1658	30. 1	
ダイハツ	秋田80 あ 862	8. 3	
ダイハツ	秋田80 あ 769	7. 1	
ダイハツ	秋田80 あ 1066	10.12	
ニッサン	秋田88 す 7751	10. 2	
ダイハツ	秋田80 あ 943	9. 1	
ダイハツ	秋田80 あ 1493	14.10	
ダイハツ	秋田80 あ 1715	16. 9	
スズキ	秋田880 す 1140	26.2	
ダイハツ	秋田80 あ 1148	11.10	

区分 分団名	配置 場所	所在地	建築 年月日	建築 構造	建築延面積 (㎡)
雄和第一分団	新波1 新波2	雄和新波字新町275	12.3	木平亜	52.17
雄和第一分団	萱ケ沢	雄和萱ケ沢字萱ケ沢77-3	8.2	木二亜	20.70 41.40
雄和第一分団	碇田	雄和碇田字梵天野27-1	16.1	木二亜	20.70 41.40
雄和第一分団	神ケ村	雄和神ケ村字大橋278	9.3	木二亜	20.70 41.40
雄和第一分団	繋	雄和繋字曽根5-2	11.3	木二亜	20.70 41.40
雄和第一分団	向野	雄和向野字牛ノ首50	16.10	木二亜	20.70 41.40
雄和第二分団	女米木	雄和女米木字宝生口158-1	3.11	木二亜	20.70 41.40
雄和第二分団	銅屋	雄和相川字上野111-1	6.11	木二亜	20.70 41.40
雄和第二分団	高野	雄和相川字高野123-1	10.3	木二亜	20.70 41.40
雄和第三分団	平尾鳥	雄和平尾鳥字中村82-1	6.3	木二亜	20.70 41.40
雄和第三分団	種沢	雄和種沢字太子前157-1	10.3	木二亜	20.70 41.40
雄和第三分団	左手子	雄和左手子字清水下126-2	2.10	木二亜	20.70 41.40
雄和第四分団	鹿野戸	雄和椿川字長者屋敷32	11.3	木二亜	20.70 41.40
雄和第四分団	安養寺	雄和椿川字関田67-1	14.3	木二亜	20.70 41.40
雄和第四分団	本田	雄和田草川字太田34-4	15.3	木二亜	20.70 41.40
雄和第四分団	芝野	雄和芝野新田字中台111-1	8.2	木二亜	20.70 41.40
雄和第四分団	下黒瀬	雄和下黒瀬字町屋敷90-1	9.3	木二亜	20.70 41.40
雄和第四分団	平沢	雄和平沢字大面6	13.3	木二亜	20.70 41.40

車　名	車両番号	初度登録	摘　要
いすず	秋田800 す 5101	31.2	救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車
スズキ	秋田80 あ 1746	16.10	
三菱	秋田80 あ 855	8. 1	
三菱	秋田80 あ 1647	16. 1	
三菱	秋田80 あ 927	8.12	
三菱	秋田80 あ 1085	11. 3	
三菱	秋田80 あ 1196	12. 3	
三菱	秋田880 あ 1536	29.3	
三菱	秋田80 あ 731	6.10	
三菱	秋田80 あ 1029	10. 3	
三菱	秋田80 あ 667	5.11	
三菱	秋田80 あ 1028	10. 3	
三菱	秋田80 あ 740	6.11	
三菱	秋田80 あ 1086	11. 3	
三菱	秋田80 あ 1419	14. 3	
ダイハツ	秋田880 あ 1654	30.1	
三菱	秋田80 あ 858	8. 2	
三菱	秋田80 あ 928	8.12	
三菱	秋田80 あ 1222	12. 6	

消防団器具置場および小型動力ポンプ配置状況

区分 / 分団名	部	配置場所	所在地	建築年月	建築構造	建築延面積(㎡)
金足分団	1部	黒川	金足黒川字黒川136-3	5.12	木平亜	19.87
		片田	金足片田字刈又62	2.12	木平亜	9.72
		吉田	金足吉田字羽中地内	8.12	木平亜	19.87
	2部	福田	金足片田字待入4-1	28.11	木平鋼	16.15
		高岡	金足高岡字稲荷林156	50.9	木二亜	60.75
	3部	浦山	金足浦山字浦山79-1	7.3	木平亜	19.87
		堀内	金足堀内字堀内85	45.3	木平亜	16.53
		岩瀬	金足岩瀬字北田3-1	14.3	木平亜	19.87
	4部	追分	金足追分字海老穴201-94	9.2	木二亜	62.93
		小泉	金足小泉字上前8	57.1	木平亜	9.72
		鳰崎	金足鳰崎字細首5番1の内・6番1の内	20.12	木平亜	19.87
	5部	牛坂	金足下刈字北野75-2	16.3	木平亜	19.87
		下刈	金足下刈字館越138	9.12	木平亜	19.87
		大清水	金足大清水字大清水台55	26.10	木平鋼	14.07
上新城分団	1部	五十丁	上新城五十丁字大村屋敷22	12.3	木二亜	60.75
		保多野	上新城保多野字家合54	17.3	木平亜	19.87
	2部	中	上新城中字袖ヶ沢84-1	7.3	木平亜	19.87
		道川	上新城道川字宮ノ下67-1	12.11	木平亜	19.87
下新城分団	1部	笠岡	下新城笠岡字堰場193-4	5.10	木二亜	62.10
		岩城	下新城岩城字上向174-1	62.7	木平亜	9.72
		槻ノ木	下新城岩城字右馬ノ丞184	4.1	木平亜	12.96
	2部	上小友	下新城小友字中坪98	63.9	木平亜	9.72
		青崎下小友	下新城青崎字雷田186	2.12	木平亜	14.58
	3部	中野	下新城中野字街道端西29-5	22.12	木平亜	19.87
	4部	長岡笹島	下新城長岡字外脇77-1	12.11	木平亜	19.87

ポンプ製作所	年式	馬力	放水量(ﾘｯﾄﾙ)	ポンプ配置年月	ホース乾燥塔 有・無	ホース乾燥塔 構造	備考
シバウラ	30	30	1290	30.10	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	17	46	1,000	17.8	有	コン柱	B－2級
シバウラ	60	30	1,000	62.6	有	コン柱	
ラビット	7	41	1,200	7.12	有	3 脚	B－2級
ラビット	13	44	1,270	13.12	有	3 脚	＊積載車に搭載、B－2級
トーハツ	2	40	1,158	2.6	有	コン柱	
トーハツ	12	60	1,290	13.1	有	コン柱	＊積載車に搭載、B－2級 平成4年度増築
トーハツ	62	36	1,116	62.6	有	コン柱	
シバウラ	11	43	1,000	12.1	有	コン柱	＊積載車に搭載、B－2級
シバウラ	1	28	1,000	1.7	有	3 脚	
ラビット	26	32	1,320	27.2	有	コン柱	
ラビット	19	44	1,280	19.12	有	コン柱	
ラビット	4	40	1,200	4.12	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	28	40	1290	29.2	有	コン柱	B－2級
トーハツ	12	60	1,290	13.1	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	5	43	1,100	5.11	有	コン柱	B－2級
ラビット	4	40	1,200	4.12	有	コン柱	
トーハツ	28	40	1290	29.2	有	コン柱	＊積載車に搭載、B－2級
ラビット	13	44	1,270	13.12	有	コン柱	＊積載車に搭載、B－2級
シバウラ	5	43	1,100	5.11	有	3 脚	B－2級
シバウラ	1	28	1,000	1.7	有	コン柱	
ラビット	15	34	1,270	15.12	有	3 脚	B－2級
シバウラ	8	43	1,100	8.12	有	3 脚	＊積載車に搭載、平成7年度増築
シバウラ	20	46	1,290	20.12	有	コン柱	＊積載車に搭載、B－2級
シバウラ	24	62	1,290	25.2	有	コン柱	＊積載車に搭載

区分 分団名	部	配置 場所	所在地	建築 年月	建築 構造	建築 延面積 (㎡)
飯島分団	1部	飯田	飯田一丁目7-3	30.9	木平亜	19.04
		鼠田尻	飯島松根東町5-22	24.3	木平亜	22.36
	2部	鼠田	飯島鼠田四丁目7-27	8.12	木平亜	19.87
		穀丁	飯島穀丁8-25	14.3	木平亜	17.39
外旭川	1部	八幡田	外旭川八幡田一丁目294-3	58.12	木平亜	9.72
		神田	外旭川字梶ノ目525-1	25.3	木平亜	22.36
	2部	八柳	外旭川字四百刈7	10.12	木平亜	19.87
		向山	外旭川字堂ノ前205	15.3	木平亜	19.87
	3部	四ツ谷	外旭川字前谷地125	54.5	木平亜	9.72
		笹岡	外旭川字家ノ前239	7.12	木平亜	19.87
土崎北分団	1部	相染	土崎港中央七丁目4-19	12.12	木二亜	62.92
	2部	旭町	土崎港中央三丁目233-12	12.3	木平亜	19.87
		港北	土崎港北四丁目15-50	62.7	木平亜	9.72
土崎南分団	1部	愛宕	土崎港南一丁目14-20	8.1	木二亜	62.92
		将軍野	土崎港東一丁目6-50	63.9	木平亜	9.72
寺内分団	1部	寺内	寺内児桜一丁目101	26.10	木平鋼	19.87
		八橋	八橋南一丁目13-6	15.3	木平亜	13.44
	2部	将軍野南	将軍野南五丁目11-11	16.3	木平亜	19.87
		将軍野東	将軍野東三丁目7-10	19.3	木平亜	19.87
旭川分団	1部	旭川	旭川新藤田東町9-1	9.12	木平亜	19.87
		濁川	濁川字家ノ前52-2	61.8	木平亜	9.72
	2部	添川	添川字添川139-1	25.3	木平亜	22.36
		松原	山内字田中118-3	1.8	木平亜	9.72
	3部	藤倉	山内字藤倉147-2･2	8.3	木平亜	19.87

ポンプ製作所	年式	馬力	放水量(ﾘｯﾄﾙ)	ポンプ配置年月	ホース乾燥塔 有・無	ホース乾燥塔 構造	備考
シバウラ	29		1,290	29.10	有	コン柱	
シバウラ	14	46	1,000	14.12	有	コン柱	＊積載車に搭載、Ｂ－2級
トーハツ	25	40	1,290	H26.2	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	6	53	1,277	6.10	有	コン柱	Ｂ－2級
シバウラ	30	30	1290	30.10	有	コン柱	
シバウラ	14	46	1,000	14.12	無		＊積載車に搭載、Ｂ－2級
ラビット	13	44	1,270	13.12	有	コン柱	Ｂ－2級
シバウラ	63	28	1,000	63. 8	有	コン柱	＊軽積載車に搭載
シバウラ	63	28	1,000	63. 8	有	3 脚	
トーハツ	21	30	1,000	21.11	無		＊積載車に搭載
トーハツ	25	40	1,290	26.2	有	コン柱	＊救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車
ラビット	7	41	1,200	7.12	有	コン柱	＊積載車に搭載、Ｂ－2級
トーハツ	9	56	1,277	10. 1	有	コン柱	Ｂ－2級
					有	コン柱	ポンプ自動車配置
ラビット	4	40	1,200	4.12	有	コン柱	
シバウラ	6	40	1,000	6.10	無		＊積載車に搭載
シバウラ	30	30	1290	30.10	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	63	28	1,000	63. 8	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	28	40	1290	29.2	有	コン柱	Ｂ－2級
シバウラ	8	43	1,100	8.12	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	3	28	1,000	3.11	有	コン柱	
シバウラ	14	46	1,000	14.12	有	コン柱	＊積載車に搭載、Ｂ－2級
トーハツ	9	56	1,277	10. 1	有	コン柱	Ｂ－2級
ラビット	10	60	1,270	11. 1	有	コン柱	Ｂ－2級

区分 分団名	部	配置 場所	所在地	建築 年月	建築 構造	建築 延面積 (㎡)
旭川分団		仁別	仁別字家ハツレ19-1	29.12	木平亜	19.87
保戸野分団	1部	保戸野	保戸野すわ町9-56	10.12	木二亜	57.96
		北ノ丸	千秋北ノ丸4-56	4.3	木平亜	9.72
城東分団	1部	城東	広面字堤敷38-1	1.3	木二亜	48.60
		田中	手形休下町10-51	63.9	木平亜	7.29
	2部	赤沼	広面字赤沼88	4.12	木平亜	17.01
		柳田	柳田字馬上田25	27.11	木平鋼	12.94
秋田東分団	1部	広面	広面字広面98-1	12.3	木平亜	19.87
		楢山	楢山大元町2-25	2.12	木平亜	8.64
		明田	東通明田1-3	20.3	木平亜	19.87
秋田中央分団	1部	中通	中通五丁目8-46	14.8	木平亜	39.74
	2部	築山	楢山南中町1-20	18.3	木二亜	66.24
秋田旭分団	1部	旭南	旭南一丁目10-9	10.1	木平亜	49.68
		旭北	大町四丁目5-3	14.3	木平亜	24.84
川尻分団	1部	川尻	川尻総社町18-4	7.3	木二亜	62.92
牛島分団	1部	牛島	牛島東三丁目4-5	49.9	木二亜	60.75
太平分団	1部	上八田	太平八田字田屋ノ前54-2	1.8	木平亜	9.72
		木曽石	太平八田字木曽石112-2	9.12	木平亜	19.87
		八田	太平八田字荒巻179	7.3	木平亜	19.87
	2部	古町	太平目長崎字目長崎135	4.12	木平亜	19.44
		寺中	太平中関字寺中65	57.10	木平亜	9.72
		本町	太平目長崎字上目長崎215-1	15.3	木二亜	62.93
	3部	黒沢	太平黒沢字野崎56	29.12	木平亜	19.87
		井関沢	太平中関字家ノ沢29	17.2	木平亜	19.87
		寺庭	太平寺庭字寺庭地内	56.12	木平亜	9.72
	4部	皿見内	太平山谷字上皿見内93	54.11	木平亜	12.20
		山谷	太平山谷字中山谷183-3	63.9	木平亜	9.72
		十三岱	太平山谷字十三岱36	25.12	木平亜	19.87

ポンプ製作所	年式	馬力	放水量(ﾘｯﾄﾙ)	ポンプ配置年月	ホース乾燥塔 有・無	構造	備考
シバウラ	63	28	1,000	63.8	無		＊積載車に搭載、平成3年度増築
					有	コン柱	ポンプ自動車配置
トーハツ	6	53	1,277	6.10	有	コン柱	B－2級
					無		ポンプ自動車配置
シバウラ	61	28	1,000	61.12	有	コン柱	
シバウラ	3	28	1,000	3.11	有	3 脚	＊積載車に搭載
シバウラ	8	43	1,100	8.12	有	コン柱	B－2級
シバウラ	14	46	1,000	14.12	有	コン柱	＊積載車に搭載、B－2級
シバウラ	63	28	1,000	63.8	有	コン柱	
シバウラ	20	46	1,290	20.12	有	コン柱	B－2級
					有	コン柱	ポンプ自動車配置
トーハツ	23	30	1,000	24.1	有	コン柱	＊救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車
					有	コン柱	ポンプ自動車配置
ラビット	19	44	1,280	19.12	有	コン柱	＊積載車に搭載
					有	コン柱	ポンプ自動車配置
					有	コン柱	ポンプ自動車配置 平成30年度大規模改修
シバウラ	59	28	1,000	59.10	無		
シバウラ	5	43	1,100	5.11	有	コン柱	B－2級
トーハツ	62	36	1,116	62.6	有	コン柱	＊積載車に搭載
ラビット	26	32	1,320	27.2	無		
ラビット	22	46	1,280	23.1	有	3 脚	
シバウラ	11	43	1,000	12.1	有	コン柱	＊積載車に搭載、B－2級
シバウラ	61	28	1,000	61.12	有	コン柱	＊積載車に搭載、平成14年度増築
シバウラ	61	28	1,000	61.12	有	コン柱	
シバウラ	30	30	1290	30.10	無		
シバウラ	29		1,290	29.10	有	コン柱	＊積載車に搭載、平成3年度増築
トーハツ	6	53	1,277	6.10	有	コン柱	B－2級
トーハツ	28	40	1290	29.2	有	コン柱	B－2級

区分 分団名	部	配置 場所	所在地	建築 年月	建築 構造	建築 延面積 (㎡)
下北手分団	1部	柳館	下北手柳館字向田261	4.11	木二亜	56.70
		松崎	下北手松崎字家ノ前197-1	7.12	木平亜	19.87
	2部	宝川	下北手宝川字堂ヶ下103	16.3	木平亜	19.87
		寒川	下北手寒川字寒川365	27.11	木平鋼	14.58
		通沢	下北手通沢字杉崎57	56.12	木平亜	9.72
	3部	横森	横森一丁目22-13	8.12	木平亜	19.87
		梨平	下北手梨平字梨平52	5.12	木平亜	19.87
上北手分団	1部	大山田	上北手大山田字豊口120	1.8	木平亜	14.68
		古野	上北手古野字脇田73	62.7	木平亜	9.72
		御所野	御所野元町四丁目7-8	13.3	木平亜	9.72
	2部	荒巻	上北手荒巻字前田138	24.2	木平亜	19.87
		館ノ下	上北手猿田字苗代沢139-4	14.3	木二亜	62.92
	3部	大戸	上北手大戸字堀ノ内50	61.1	木平亜	9.72
		小山田	上北手小山田字桜田183-1	4.3	木平亜	14.58
新屋分団	1部	元町	新屋元町23-2	23.12	木平亜	33.95
	2部	割山	新屋船場町6-39	22.12	木平亜	19.87
仁井田分団	1部	下新田	仁井田本町六丁目60-245	9.12	木平亜	19.87
		上新田	仁井田本町四丁目5-16	23.12	木平亜	22.36
		横山	仁井田横山地内	4.3	木平亜	14.58
	2部	大野	仁井田字大野659-1	29.12	木平亜	19.87
		福島	仁井田福島二丁目5-37	61.8	木平亜	9.72
四ッ小屋分団	1部	上野	四ッ小屋字上野58-1	61.8	木平亜	9.72
		城下当場	四ッ小屋字城下当場115-1	22.12	木平亜	22.36
	2部	中野	四ッ小屋字中野104-3	8.12	木平亜	19.87
		小阿地	四ッ小屋小阿地字坂ノ下8	5.12	木平亜	19.87
		末戸松本	四ッ小屋末戸松本字柳田200	8.3	木平亜	19.87
浜田	1部	自在山	浜田字自在山88-4	23.12	木平亜	22.36

ポンプ製作所	年式	馬力	放水量(ﾘｯﾄﾙ)	ポンプ配置年月	ホース乾燥塔 有・無	構造	備考
ラビット	13	44	1,270	13.12	有	コン柱	＊積載車に搭載、B－2級
ラビット	4	40	1,200	4.12	有	コン柱	
トーハツ	2	40	1,158	2.6	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	1	28	1,000	1.7	有	コン柱	
ラビット	10	60	1,270	11.1	有	コン柱	B－2級
シバウラ	27		1,290	28.2	有	コン柱	
ラビット	19	44	1,280	19.12	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	5	43	1,100	5.11	有	3 脚	＊積載車に搭載、B－2級 平成12年度増築
トーハツ	28	40	1290	29.2	有	4 脚	B－2級
トーハツ	9	56	1,277	10.1	有	コン柱	B－2級
シバウラ	29		1,290	29.10	有	コン柱	
シバウラ	11	43	1,000	12.1	有	コン柱	＊積載車に搭載、B－2級
トーハツ	25	40	1,290	H26.2	有	3 脚	
トーハツ	6	53	1,277	6.10	有	3 脚	＊積載車に搭載、B－2級
					有	コン柱	ポンプ自動車配置
トーハツ	16	60	1,000	16.12	無		＊積載車に搭載 B－2級
シバウラ	29		1,290	29.10	有	コン柱	
トーハツ	12	60	1,290	13.1	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	27		1,290	28.2	無		
トーハツ	62	36	1,116	62.6	有	3 脚	＊積載車に搭載、平成5年度増築
トーハツ	6	53	1,277	6.10	有	コン柱	B－2級
シバウラ	29		1,290	29.10	有	4 脚	
ラビット	13	44	1,270	13.12	有	コン柱	＊積載車に搭載、B－2級
シバウラ	8	43	1,100	8.12	有	コン柱	B－2級
シバウラ	60	30	1,000	60.10	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	30	30	1290	30.10	有	コン柱	
シバウラ	14	46	1,000	14.12	有	コン柱	＊積載車に搭載、B－2級

区分 / 分団名	部	配置場所	所在地	建築年月	建築構造	建築延面積(㎡)
浜田	2部	滝ノ下	浜田字滝ノ下148	5.12	木平亜	19.87
		内浜田	浜田字館ノ前71-5	26.10	木平鋼	19.87
豊岩分団	1部	石田坂	豊岩石田坂字坂ノ下28	4.3	木平亜	12.01
		居使	豊岩豊巻字居使93	7.12	木平亜	22.77
		中島	豊岩豊巻字内縄尻344	17.3	木二亜	62.94
	2部	前郷	豊岩豊巻字大日沢2	4.12	木平亜	28.22
		小山	豊岩小山字狐森35	25.12	木平亜	19.87
下浜分団	1部	羽川1 羽川2	下浜羽川字下山48-39	29.3	木平鋼	49.69
		名ケ沢	下浜名ケ沢字浦田6	58.12	木平亜	9.72
	2部	桂根	下浜桂根字上ノ山50-2	61.8	木平亜	9.72
		長浜	下浜長浜字荒郷屋61	16.3	木二亜	62.92
	3部	楢田	下浜楢田字上野77-1	1.8	木平亜	14.68
		八田	下浜八田字鳥屋沢50-2	63.9	木平亜	9.72
河辺第一分団	第1部	和田	河辺和田字上中野186	28.11	木平鋼	22.35
		下和田	河辺和田字和田2-3	不明	木平亜	20.90
		上和田	河辺和田字岡村5-1	9.7	木平亜	28.31
		式田	河辺和田字式田101-2	7.3	木平亜	15.15
	第2部	諸井	河辺諸井字下諸井147-5	10.6	木平亜	15.18
		山根	河辺諸井字山根129	16.11	木平亜	14.85
	第3部	赤平	河辺赤平字小蟹沢45-4	1.12	木平亜	23.13
		高岡	河辺高岡字川原田32-1	14.11	木平亜	19.87
	第4部	坂本	河辺和田字宮崎地内	5.11	木平亜	9.75
		神内	河辺神内字太田面11-2	10.10	木平亜	19.87
		奥出	河辺神内字妙見118-1	15.10	木平亜	19.87
河辺第二分団	第1部	戸島上	河辺戸島字本町56	不明	木二亜	49.72
		戸島下	河辺戸島字本町20-3	11.5	木平亜	19.87
		白熊	河辺戸島字白熊沢97-2/98-2	16.11	木平亜	19.87
	第2部	畑谷	河辺畑谷字中村74-1/74-2	不明	木平亜	19.44

ポンプ製作所	年式	馬力	放水量(ﾘｯﾄﾙ)	ポンプ配置年月	ホース乾燥塔 有・無	ホース乾燥塔 構造	備考
シバウラ	8	43	1,100	8.12	有	コン柱	Ｂ－2級
ラビット	10	60	1,270	11.1	有	コン柱	＊積載車に搭載、平成6年度増築 Ｂ－2級
シバウラ	5	43	1,100	5.11	有	コン柱	Ｂ－2級
シバウラ	3	28	1,000	3.11	有	コン柱	
シバウラ	11	43	1,000	12.1	有	コン柱	＊積載車に搭載、Ｂ－2級
トーハツ	2	40	1,158	2.6	無		平成5年度増築
ラビット	15	34	1,270	15.12	有	コン柱	＊積載車に搭載、Ｂ－2級　平成3年度増築
シバウラ	28		1,290	29.3	有	コン柱	＊救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車
シバウラ	20	46	1,290	20.12			＊積載車に搭載、平成4年度増築
ラビット	4	40	1,200	4.12	有	3 脚	
シバウラ	24	62	1290	25.2	有	コン柱	
トーハツ	12	60	1,290	13.1	有	コン柱	＊積載車に搭載、Ｂ－2級
シバウラ	1	28	1,000	1.7	有	コン柱	＊積載車に搭載、平成12年度増築
トーハツ	2	40	1,158	2.6	有	3 脚	
トーハツ	62	40	1,200	62.9	有	コン柱	＊積載車に搭載
ラビット	4	40	1,000	4.9	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	12	57	1,200	12.12	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	7	40	1,200	7.1	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	9	55	1,200	9.12	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	16	不明	1,200	16.12	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	1	40	1,200	1.12	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	14	58	1,200	14.10	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	5	40	1,200	5.12	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	10	50	1,000	10.12	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	16	不明	1,200	16.9	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	8	40	1,200	9.1	無		＊積載車に搭載
トーハツ	16	不明	1,200	16.9	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	16	不明	1,200	16.12	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	3	40	1,200	4.3	有	コン柱	＊積載車に搭載

区分 分団名	部	配置 場所	所在地	建築 年月	建築 構造	建築 延面積 (㎡)
河辺第二分団	第2部	豊成	河辺豊成字虚空蔵大台滝28-1	16.11	木平亜	19.87
	第3部	畑	河辺北野田高屋字畑ノ沢211	15.11	木平亜	9.75
		黒沼	河辺北野田高屋字神田302-1	12.3	木平亜	19.87
	第4部	前田	河辺北野田高屋字前田31/32/33-2	12.9	木平亜	19.87
		川原田	河辺松渕字川原田家ノ後63-3	8.10	木平亜	13.78
河辺第三分団	第1部	台	河辺岩見字鍛冶屋敷160-1	不明	木平亜	24.89
		杉沢	河辺岩見字杉沢台3-1	不明	木平亜	23.81
		東	河辺岩見字東86	不明	木平亜	17.01
	第2部	野崎	河辺三内字野崎18-4	6.1	木平亜	16.52
		岩見三内	河辺三内字外川原83-28	不明	不明	不明
	第3部	新川	河辺岩見字新川上田面9-7	9.12	木平亜	16.58
		鵜養	河辺岩見字鵜養21-1	27.12	木平鋼	27.74
		小平岱	河辺岩見字小平岱14-49	7.11	木平亜	16.56
	第4部	田尻	河辺三内字田尻下野田49-1	14.6	木平亜	19.87
		曽場	河辺三内字曽場台42-1	16.10	木平亜	19.87
	第5部	上三内	河辺岩見字萱森139-1	1.11	木平亜	23.13
		砂子渕	河辺三内字岩谷袋7-1	11.8	木平亜	19.87
雄和第一分団	第1部	新波1 新波2	雄和新波字新町275	12.3	木平亜	52.17
	第2部	萱ケ沢	雄和萱ケ沢字萱ケ沢77-3	8.2	木二亜	41.40
	第3部	碇田	雄和碇田字梵天野27-1	16.1	木二亜	41.40
		神ケ村	雄和神ケ村字大橋278	9.3	木二亜	41.40
	第4部	繋	雄和繋字曽根5-2	11.3	木二亜	41.40
		向野	雄和向野字牛ノ首50	16.10	木二亜	41.40
雄和第二分団	第1部	女米木	雄和女米木字宝生口158-1	3.11	木二亜	41.40
	第2部	銅屋	雄和相川字上野111-1	6.11	木二亜	41.40
	第3部	高野	雄和相川字高野123-1	10.3	木二亜	41.40
雄和第三分団	第1部	平尾鳥	雄和平尾鳥字中村82-1	6.3	木二亜	41.40
	第2部	種沢	雄和種沢字太子前157-1	10.3	木二亜	41.40

ポンプ製作所	年式	馬力	1放水量(ﾘｯﾄﾙ)	ポンプ配置年月	ホース乾燥塔 有・無	構造	備考
トーハツ	16	不明	1,200	16.12	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	5	48	1,200	5.12	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	14	58	1,200	14.10	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	14	58	1,200	14.10	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	8	40	1,200	8.3	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	63	43	1,000	60.8	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	3	40	1,200	4.3	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	8	40	1,200	8.3	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	7	40	1,200	7.1	有	コン柱	＊積載車に搭載
					有	コン柱	＊ポンプ自動車配置
トーハツ	10	40	1,200	10.12	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	10	55	1,000	10.2	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	8	40	1,200	9.1	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	14	58	1,200	14.10	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	16	不明	1,200	16.9	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	1	40	1,200	1.11	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	11	50	1,200	11.10	有	コン柱	＊積載車に搭載
トーハツ	31	22	1000	31.2	有	コン柱	＊救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車
シバウラ	12	40	1,000	12.3			＊積載車に搭載
シバウラ	8	40	1,000	8.1	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	15	40	1,000	16.1	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	8	40	1,000	8.12	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	11	40	1,000	11.3	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	14	40	1,000	14	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	3	40	1,000	3.12	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	6	40	1,000	6.10	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	10	40	1,000	10.3	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	2	40	1,000	5.11	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	10	40	1,000	10.3	有	コン柱	＊積載車に搭載

区分 分団名	部	配置 場所	所在地	建築 年月	建築 構造	建築 延面積 (㎡)
雄和第三分団	第3部	左手子	雄和左手子字清水下126-2	2.10	木二亜	41.40
雄和第四分団	第1部	鹿野戸	雄和椿川字長者屋敷32	11.3	木二亜	41.40
		安養寺	雄和椿川字関田67-1	14.3	木二亜	41.40
	第2部	本田	雄和田草川字太田34-4	15.3	木二亜	41.40
	第3部	芝野	雄和芝野新田字中台111-1	8.2	木二亜	41.40
	第4部	下黒瀬	雄和下黒瀬字町屋敷90-1	9.3	木二亜	41.40
	第5部	平沢	雄和平沢字大面6	13.3	木二亜	41.40

ポンプ製作所	年式	馬力	放水量(ﾘｯﾄﾙ)	ポンプ配置年月	ホース乾燥塔 有・無	ホース乾燥塔 構造	備考
シバウラ	15	40	1,000	6.11	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	11	40	1,000	11.3	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	14	40	1,000	14.3	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	4	40	1,000	4.10	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	8	40	1,000	8.2	有	コン柱	＊積載車に搭載
ラビット	15	40	1,000	8.12	有	コン柱	＊積載車に搭載
シバウラ	12	40	1,000	12.6	有	コン柱	＊積載車に搭載

※ ホース乾燥塔 コン柱 ・・・ コンクリートポール製
3 脚 ・・・ 鉄骨(L鋼)3脚
4 脚 ・・・ 鉄骨(L鋼)4脚

※ 河辺・雄和分団のポンプに関しては、B－2級

８　防　　災

防　　災

1　秋田市総合防災訓練実施状況

平成20年	御野場地区・御所野地区	地震・火災・一般災害 コンビナート災害 特殊災害	1,517
平成21年	茨島地区・新屋地区 雄物川右岸	地震・火災・一般災害 コンビナート災害 特殊災害	1,115
平成22年	中通地区・八橋地区 新屋地区	地震・火災・一般災害 特殊災害	849
平成23年	土崎地区・飯島地区	津波・地震・火災 一般災害・特殊災害 コンビナート災害	706
平成24年	上北手地区	地震・火災・一般災害 特殊災害	1,211
平成25年	河辺地区	地震・火災・一般災害 特殊災害	957
平成26年	新屋地区・雄物川右岸	地震・火災・一般災害 津波	1,644
平成27年	御所野地区	地震・火災・一般災害 特殊災害	1,246
平成28年	本庁舎・中通地区 東通地区・広面地区	地震・火災・一般災害 特殊災害	2,800
平成29年	土崎地区	地震・一般災害・ 特殊災害・津波避難	2,900
平成30年	大雨警報・洪水警報発表のため中止 （中央地区）	地震・一般災害・ 特殊災害	

2　避難看板設置状況

設置年度	昭和54年～平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	計
避難場所標識	101	0	0	0	101
避難場所案内板	38	0	0	0	38
避難場所誘導標識	13	0	0	0	13
津波避難ビル等案内標識	－	－	－	13	13

3　自主防災組織結成状況

年度	昭和43年～平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
結成数	733	12	9	3	3
組織結成数累計	732	744	753	756	759
結成率（%）	71.3	72.7	73.6	73.9	74.3

指定緊急避難場所一覧（318箇所）

平成31年3月31日現在

No	施設・場所名	地区	住所	案内図	対象となる異常な現象の種類					指定避難所との重複	想定収容人数	※特設公衆電話設置台数
					洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	津波	大規模な火事			
1	市立体育館第2駐車場	中央	秋田県秋田市八橋本町6地内	http://yahoo.jp/u_lk_n		○	○				575人(2㎡あたり1人)	
2	八橋墓地公園	中央	秋田県秋田市八橋本町6地内			○	○				300人(2㎡あたり1人)	
3	八橋地区コミュニティセンター(2階和室、会議室および談話コーナー)	中央	秋田県秋田市八橋本町5-2-27	http://yahoo.jp/1qPLxL				○			160人(1㎡あたり1人)	
4	八橋地区コミュニティセンター(多目的ホール)	中央	秋田県秋田市八橋本町5-2-27	http://yahoo.jp/1qPLxL	○	○	○			○	122人(3㎡あたり1人)	1台
5	秋田市立体育館(メインアリーナ固定観覧席および2階上部ジョギングコースほか、サブアリーナ固定観覧席)	中央	秋田県秋田市八橋本町6-12-20	http://yahoo.jp/1x5vlh				○			5,000人(1㎡あたり1人)	
6	秋田県JAビル(3階から10階までの廊下、3階から9階までのエレベータホールおよび屋上)	中央	秋田県秋田市八橋南2-10-16	http://yahoo.jp/WzHCWk				○			1,500人(1㎡あたり1人)	
7	八橋小学校(校舎2階〔普通教室、学習室、多目的ホールおよび廊下〕、3階〔普通教室、多目的ホールおよび廊下〕)	中央	秋田県秋田市八橋大沼町7-1	http://yahoo.jp/B0yD6X				○			2,558人(1㎡あたり1人)	
8	八橋小学校(体育館)	中央	秋田県秋田市八橋大沼町7-1	http://yahoo.jp/pkzbrr	○	○	○			○	309人(3㎡あたり1人)	3台
9	八橋小学校グラウンド	中央	秋田県秋田市八橋大沼町7-1	http://yahoo.jp/5tOzn9	○	○	○				5,215人(2㎡あたり1人)	
10	八橋運動公園	中央	秋田県秋田市八橋運動公園地内	http://yahoo.jp/j7EXsi	○	○	○	○	○		津波117,000人(1㎡あたり1人) 津波以外58,500人(2㎡あたり1人)	
11	八橋球技場	中央	秋田県秋田市八橋運動公園地内	http://yahoo.jp/NNfU2E	○	○	○				8,130人(2㎡あたり1人)	
12	八橋第2球技場・健康広場	中央	秋田県秋田市八橋運動公園地内	http://yahoo.jp/4-60F1	○	○	○				4,970人(2㎡あたり1人)	
13	八橋硬式野球場	中央	秋田県秋田市八橋運動公園1-7	http://yahoo.jp/UEEtvq	○	○	○				8,815人(2㎡あたり1人)	
14	八橋陸上競技場	中央	秋田県秋田市八橋運動公園1-10	http://yahoo.jp/TGb4at	○	○	○				14,725人(2㎡あたり1人)	
15	中央市民サービスセンター(多目的ホール)	中央	秋田県秋田市山王1-1-1	http://yahoo.jp/Ts-bha	○	○	○			○	125人(3㎡あたり1人)	3台

No	施設・場所名	地区	住所	案内図	対象となる異常な現象の種類					指定避難所との重複	想定収容人数	※特設公衆電話設置台数
					洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	津波	大規模な火事			
16	山王中学校グラウンド	中央	秋田県秋田市山王3-1-24	http://yahoo.jp/NpSlth		○	○				4,545人(2㎡あたり1人)	
17	山王中学校(体育館)	中央	秋田県秋田市山王3-1-24	http://yahoo.jp/5Asoqh		○	○			○	653人(3㎡あたり1人)	3台
18	旭北小学校グラウンド	中央	秋田県秋田市山王3-1-35	http://yahoo.jp/fRgRpd		○	○				3,200人(2㎡あたり1人)	
19	旭北小学校(体育館)	中央	秋田県秋田市山王3-1-35	http://yahoo.jp/KYNqBs		○	○			○	364人(3㎡あたり1人)	3台
20	山王第一街区公園	中央	秋田県秋田市山王3地内	http://yahoo.jp/o3dHbV		○	○				3,500人(2㎡あたり1人)	
21	山王プレスビル(2階から屋上の屋外施設および踊り場等)	中央	秋田県秋田市山王6-1－13	http://yahoo.jp/mbYFSI				○			248人(1㎡あたり1人)	
22	秋田県児童会館(2階から3階までのホールと各室)	中央	秋田県秋田市山王中島町1－2	http://yahoo.jp/AMm89N				○			681人(1㎡あたり1人)	
23	フォレストヒルズ山王(3階から4階までの共通通路)	中央	秋田県秋田市山王沼田町10－33	http://yahoo.jp/ixfdAM				○			140人(1㎡あたり1人)	
24	川尻地区コミュニティセンター	中央	秋田県秋田市川尻みよし町8-16	http://yahoo.jp/NhLFYS	○	○	○			○	120人(3㎡あたり1人)	1台
25	川尻小学校グラウンド	中央	秋田県秋田市川尻みよし町8-31	http://yahoo.jp/deF9Sa	○	○	○				3,665人(2㎡あたり1人)	
26	川尻小学校(体育館)	中央	秋田県秋田市川尻みよし町8-31	http://yahoo.jp/3eHuaW	○	○	○			○	337人(3㎡あたり1人)	3台
27	川尻小学校(校舎3階教室と廊下)	中央	秋田県秋田市川尻みよし町8-31	http://yahoo.jp/jlmo_D				○			920人(1㎡あたり1人)	
28	秋田市営川尻住宅(1号棟から7号棟まで〔2階から5階までの階段および踊り場〕)	中央	秋田県秋田市川尻上野町1	http://yahoo.jp/SrtMBW				○			480人(1㎡あたり1人)	
29	ドジャース食品館屋上駐車場(屋上駐車場)	中央	秋田県秋田市川尻大川町8－25	http://yahoo.jp/V73kqJ				○			1,100人(1㎡あたり1人)	
30	総社神社街区公園	中央	秋田県秋田市川尻総社町地内	http://yahoo.jp/ia5Czx	○	○	○	○			津波8,200人(1㎡あたり1人) 津波以外4,100人(2㎡あたり1人)	
31	株式会社ユアテック秋田支社(3階から5階までの通路と屋内階段および踊り場)	中央	秋田県秋田市川尻町字大川反233－9	http://yahoo.jp/7pDis0				○			260人(1㎡あたり1人)	
32	秋田県赤十字血液センター(3階会議室)	中央	秋田県秋田市川尻町字大川反233－186	http://yahoo.jp/p1YyxT				○			120人(1㎡あたり1人)	
33	旭南小学校グラウンド	中央	秋田県秋田市旭南1-15-1	http://yahoo.jp/pW8xEU		○	○				4,590人(2㎡あたり1人)	

No	施設・場所名	地区	住所	案内図	対象となる異常な現象の種類					指定避難所との重複	想定収容人数	※特設公衆電話設置台数
					洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	津波	大規模な火事			
34	旭南小学校（体育館）	中央	秋田県秋田市旭南1-15-1	http://yahoo.jp/nrpka7		○	○			○	409人（3㎡あたり1人）	2台
35	旭南地区コミュニティセンター	中央	秋田県秋田市旭南1-15-5	http://yahoo.jp/CszUAc		○	○			○	59人（3㎡あたり1人）	1台
36	中通小学校グラウンド	中央	秋田県秋田市中通5-8-22	http://yahoo.jp/9kkIU3		○	○				2,720人（2㎡あたり1人）	
37	中通小学校（体育館）	中央	秋田県秋田市中通5-8-22	http://yahoo.jp/jqwS7L		○	○			○	300人（3㎡あたり1人）	3台
38	株式会社さわやか倶楽部介護付有料老人ホームさわやか桜弐番館（3階から4階までの通路と食堂）	中央	秋田県秋田市卸町1－10－3	http://yahoo.jp/h5uPCI				○			600人（1㎡あたり1人）	
39	天然温泉グランスパホテルこまち立体駐車場（3階、屋上）	中央	秋田県秋田市卸町1－2－3	http://yahoo.jp/2ISvRL				○			1,150人（1㎡あたり1人）	
40	茨島体育館	中央	秋田県秋田市茨島1-4-71	http://yahoo.jp/jZhY91		○	○			○	425人（3㎡あたり1人）	2台
41	茨島地区コミュニティセンター	中央	秋田県秋田市茨島1-4-71	http://yahoo.jp/zIyEnM		○	○			○	87人（3㎡あたり1人）	1台
42	茨島多目的運動広場	中央	秋田県秋田市茨島1-12-12	http://yahoo.jp/ggWnA2		○	○				2,000人（2㎡あたり1人）	
43	秋田モータースクール自動車教習場	中央	秋田県秋田市茨島4-3-36	https://yahoo.jp/THZiz0		○	○				9,419人（2㎡あたり1人）	
44	楢山緑地（楢山公園）	中央	秋田県秋田市楢山南中町1-9	http://yahoo.jp/gKjmaP		○	○				3,000人（2㎡あたり1人）	
45	楢山地区コミュニティセンター	中央	秋田県秋田市楢山南中町1-9	http://yahoo.jp/UhABVg		○	○			○	209人（3㎡あたり1人）	2台
46	城南中学校グラウンド	中央	秋田県秋田市楢山城南町4-1	http://yahoo.jp/qMOEc1	○	○	○				4,280人（2㎡あたり1人）	
47	城南中学校（体育館）	中央	秋田県秋田市楢山城南町4-1	http://yahoo.jp/-7dgOU	○	○	○			○	611人（3㎡あたり1人）	3台
48	築山小学校グラウンド	中央	秋田県秋田市楢山古川新町55-1	http://yahoo.jp/nemT5P		○	○				3,085人（2㎡あたり1人）	
49	築山小学校（体育館）	中央	秋田県秋田市楢山古川新町55-1	http://yahoo.jp/D4DSpe		○	○			○	346人（3㎡あたり1人）	3台
50	聖霊女子短期大学付属高等学校グラウンド	中央	秋田県秋田市南通みその町4-82	https://yahoo.jp/P_Zx5r		○	○				2,500人（2㎡あたり1人）	
51	秋田南中学校グラウンド	中央	秋田県秋田市南通宮田15-1	http://yahoo.jp/SfFVtN		○	○				5,355人（2㎡あたり1人）	

No	施設・場所名	地区	住所	案内図	対象となる異常な現象の種類					指定避難所との重複	想定収容人数	※特設公衆電話設置台数
					洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	津波	大規模な火事			
52	秋田南中学校（体育館）	中央	秋田県秋田市南通宮田15-1	http://yahoo.jp/jAgIm5		○	○			○	654人（3㎡あたり1人）	3台
53	秋田県立秋田北高等学校グラウンド	中央	秋田県秋田市千秋中島町8-1	http://yahoo.jp/O8hQ4q	○	○	○	○			津波8,000人（1㎡あたり1人） 津波以外4,000人（2㎡あたり1人）	
54	保戸野小学校グラウンド	中央	秋田県秋田市保戸野すわ町9-60	http://yahoo.jp/ndH-fv	○	○	○				3,670人（2㎡あたり1人）	
55	保戸野小学校（体育館）	中央	秋田県秋田市保戸野すわ町9-60	http://yahoo.jp/g-J_Wc	○	○	○			○	419人（3㎡あたり1人）	3台
56	保戸野地区コミュニティセンター	中央	秋田県秋田市保戸野中町6-12	http://yahoo.jp/gx9g-n	○	○	○			○	111人（3㎡あたり1人）	2台
57	秋田県立秋田工業高等学校多目的グラウンド	中央	秋田県秋田市保戸野金砂町3-1	http://yahoo.jp/hwEXts	○	○	○	○			津波10,950人（1㎡あたり1人） 津波以外5,475人（2㎡あたり1人）	
58	国立大学法人秋田大学附属中学校屋外運動場	中央	秋田県秋田市保戸野原の町7-75	http://yahoo.jp/S5nMcs	○	○	○	○			津波8,550人（1㎡あたり1人） 津波以外4,275人（2㎡あたり1人）	
59	泉小学校グラウンド	中央	秋田県秋田市泉中央6-2-1	http://yahoo.jp/oQbyNw	○	○	○				4,555人（2㎡あたり1人）	
60	泉小学校（体育館）	中央	秋田県秋田市泉中央6-2-1	http://yahoo.jp/BYqpno	○	○	○			○	333人（3㎡あたり1人）	3台
61	泉地区コミュニティセンター	中央	秋田県秋田市泉北1-20-27	http://yahoo.jp/BoriBC	○	○	○			○	120人（3㎡あたり1人）	1台
62	泉中学校グラウンド	中央	秋田県秋田市泉北2-6-1	http://yahoo.jp/Q2aceD	○	○	○				5,055人（2㎡あたり1人）	
63	泉中学校（体育館）	中央	秋田県秋田市泉北2-6-1	http://yahoo.jp/4E9Pn_	○	○	○			○	591人（3㎡あたり1人）	3台
64	秋操近隣公園	中央	秋田県秋田市泉中央6-3	http://yahoo.jp/HmIrLX	○	○	○				9,500人（2㎡あたり1人）	
65	旭北地区コミュニティセンター	中央	秋田県秋田市大町4-4-15	http://yahoo.jp/gg5cdp	○	○	○			○	111人（3㎡あたり1人）	1台
66	拠点第一街区公園	中央	秋田県秋田市東通仲町16	http://yahoo.jp/9I7dGw		○	○				3,750人（2㎡あたり1人）	
67	秋田県青少年交流センター駐車場	中央	秋田県秋田市寺内神屋敷地内	http://yahoo.jp/xvd0OH				○			3,120人（1㎡あたり1人）	
68	寺内地区コミュニティセンター敷地	中央	秋田県秋田市寺内神屋敷地内	http://yahoo.jp/7rkYTp	○	○	○	○			津波1,700人（1㎡あたり1人） 津波以外850人（2㎡あたり1人）	
69	社会福祉法人感恩講児童保育院グラウンド	中央	秋田県秋田市寺内神屋敷2-1	https://yahoo.jp/ZkVzdQN	○		○	○			津波5,000人（1㎡あたり1人） 津波以外2,500人（2㎡あたり1人）	

No	施設・場所名	地区	住所	案内図	対象となる異常な現象の種類					指定避難所との重複	想定収容人数	※特設公衆電話設置台数
					洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	津波	大規模な火事			
70	寺内地区コミュニティセンター	中央	秋田県秋田市寺内神屋敷13-23	http://yahoo.jp/7rkYTp	○	○	○			○	80人(3㎡あたり1人)	1台
71	秋田市環境部旧庁舎(2階屋上部分、3階ホール)	中央	秋田県秋田市寺内蛭根3－24－3	http://yahoo.jp/FlQ7Zz				○			690人(1㎡あたり1人)	
72	高清水公園	中央	秋田県秋田市寺内大畑地内	http://yahoo.jp/1AT2QI				○			105,000人(1㎡あたり1人)	
73	寺内小学校グラウンド	中央	秋田県秋田市寺内堂ノ沢2-14-1	http://yahoo.jp/oDEkA8	○	○	○	○			津波8,490人(1㎡あたり1人) 津波以外4,245人(2㎡あたり1人)	
74	寺内小学校(体育館)	中央	秋田県秋田市寺内堂ノ沢2-14-1	http://yahoo.jp/g_RDBh	○	○	○			○	364人(3㎡あたり1人)	3台
75	千秋公園	東部	秋田県秋田市千秋公園1	http://yahoo.jp/OG18Lm	○		○		○		51,000人(2㎡あたり1人)	
76	明徳小学校グラウンド	東部	秋田県秋田市千秋公園1-13	http://yahoo.jp/2MBIay	○		○				5,890人(2㎡あたり1人)	
77	明徳小学校(体育館)	東部	秋田県秋田市千秋公園1-13	http://yahoo.jp/RLX_3X	○		○			○	341人(3㎡あたり1人)	3台
78	秋田東中学校グラウンド	東部	秋田県秋田市手形休下町10-51	http://yahoo.jp/p8xqb8	○	○	○				4,120人(2㎡あたり1人)	
79	秋田東中学校(体育館)	東部	秋田県秋田市手形休下町10-51	http://yahoo.jp/NAATQi	○	○	○			○	591人(3㎡あたり1人)	3台
80	明徳地区コミュニティセンター	東部	秋田県秋田市手形住吉町2-27	http://yahoo.jp/E5uU8B	○	○	○			○	102人(3㎡あたり1人)	1台
81	国立大学法人秋田大学陸上競技場	東部	秋田県秋田市手形住吉町6	http://yahoo.jp/35zHQY	○	○	○	○			津波28,300人(1㎡あたり1人) 津波以外14,150人(2㎡あたり1人)	
82	国立大学法人秋田大学野球場	東部	秋田県秋田市手形学園町1	http://yahoo.jp/qHmrdl	○	○	○	○			津波20,370人(1㎡あたり1人) 津波以外10,185人(2㎡あたり1人)	
83	秋田県立秋田高等学校陸上競技場	東部	秋田県秋田市手形字中台1	http://yahoo.jp/0aYxhn	○	○	○				7,500人(2㎡あたり1人)	
84	旭川地区コミュニティセンター	東部	秋田県秋田市手形字才ノ浜51-2	http://yahoo.jp/fmBV_4	○		○			○	122人(3㎡あたり1人)	1台
85	旭川小学校グラウンド	東部	秋田県秋田市手形字才ノ浜63	http://yj.pn/tMdo6j	○		○				2,715人(2㎡あたり1人)	
86	旭川小学校(体育館)	東部	秋田県秋田市手形字才ノ浜63	http://yahoo.jp/lOZGKr	○		○			○	338人(3㎡あたり1人)	3台
87	広面小学校グラウンド	東部	秋田県秋田市広面字蟹沢29	http://yahoo.jp/vemrIi	○		○				5,715人(2㎡あたり1人)	

No	施設・場所名	地区	住所	案内図	対象となる異常な現象の種類					指定避難所との重複	想定収容人数	※特設公衆電話設置台数
					洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	津波	大規模な火事			
88	広面小学校（体育館）	東部	秋田県秋田市広面字蟹沢29	http://yahoo.jp/Q5EAn8	○	○	○			○	347人(3㎡あたり1人)	3台
89	城東中学校グラウンド	東部	秋田県秋田市広面字鍋沼17	http://yahoo.jp/TZutol		○	○				6,195人(2㎡あたり1人)	
90	城東中学校（体育館）	東部	秋田県秋田市広面字鍋沼17	http://yahoo.jp/5aC9dJ		○	○			○	677人(3㎡あたり1人)	3台
91	東地区コミュニティセンター	東部	秋田県秋田市広面字鬼頭38	http://yahoo.jp/uo3Ifa		○	○			○	122人(3㎡あたり1人)	1台
92	東部市民サービスセンター	東部	秋田県秋田市広面字釣瓶町13-3	http://yahoo.jp/IkI4YI	○	○	○			○	157人(3㎡あたり1人)	1台
93	太平小学校グラウンド	東部	秋田県秋田市太平目長崎字上目長崎144	http://yahoo.jp/TIs5kM		○	○				3,245人(2㎡あたり1人)	
94	太平小学校（体育館）	東部	秋田県秋田市太平目長崎字上目長崎144	http://yahoo.jp/zALlq_		○	○			○	172人(3㎡あたり1人)	1台
95	太平地区コミュニティセンター	東部	秋田県秋田市太平目長崎字沼田42	http://yahoo.jp/rX33kP			○			○	93人(3㎡あたり1人)	1台
96	旧山谷小学校グラウンド	東部	秋田県秋田市太平山谷字中山谷143	http://yahoo.jp/RD1VII	○	○	○				2,805人(2㎡あたり1人)	
97	旧山谷小学校（体育館）	東部	秋田県秋田市太平山谷字中山谷143	http://yahoo.jp/RD1VII	○	○	○			○	186人(3㎡あたり1人)	1台
98	下北手小学校グラウンド	東部	秋田県秋田市下北手松崎字谷崎202-1	http://yahoo.jp/v5yvpF	○		○				5,550人(2㎡あたり1人)	
99	下北手小学校（体育館）	東部	秋田県秋田市下北手松崎字谷崎202-1	http://yahoo.jp/Dh5QA7			○			○	260人(3㎡あたり3人)	2台
100	下北手中学校グラウンド	東部	秋田県秋田市下北手松崎字走り崎14	http://yahoo.jp/XBihxa	○	○	○				5,500人(2㎡あたり1人)	
101	下北手中学校（体育館）	東部	秋田県秋田市下北手松崎字走り崎14	http://yahoo.jp/NjpLMJ	○	○	○			○	282人(3㎡あたり1人)	2台
102	ノースアジア大学グラウンド	東部	秋田県秋田市下北手桜字守沢46-1	https://yahoo.jp/V5fhF9	○	○	○				8,000人（2㎡あたり1人）	
103	ノースアジア大学明桜高等学校グラウンド	東部	秋田県秋田市下北手桜字守沢8-1	https://yahoo.jp/Z297h0	○	○	○				16,000人（2㎡あたり1人）	
104	下北手地区コミュニティセンター	東部	秋田県秋田市下北手柳館字前田面133-1	http://yahoo.jp/IdYyN8	○	○	○			○	63人(3㎡あたり1人)	1台
105	一つ森公園コミュニティ体育館	東部	秋田県秋田市下北手桜字蛭沢141-7	http://yahoo.jp/5BbZJQ	○	○	○			○	456人(3㎡あたり1人)	3台

No	施設・場所名	地区	住所	案内図	対象となる異常な現象の種類					指定避難所との重複	想定収容人数	※特設公衆電話設置台数
					洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	津波	大規模な火事			
106	東小学校グラウンド	東部	秋田県秋田市東通2-11-1	http://yahoo.jp/UxIWk3		○	○				4,590人(2㎡あたり1人)	
107	東小学校(体育館)	東部	秋田県秋田市東通2-11-1	http://yahoo.jp/SjvUmH		○	○			○	329人(3㎡あたり1人)	3台
108	秋田市民交流プラザ	東部	秋田県秋田市東通仲町4-1	http://yahoo.jp/Idesmy	○	○	○			○	336人(3㎡あたり1人)	3台
109	桜小学校グラウンド	東部	秋田県秋田市桜4-12-1	http://yahoo.jp/Jr4w0S	○	○	○				3,560人(2㎡あたり1人)	
110	桜小学校(体育館)	東部	秋田県秋田市桜4-12-1	http://yahoo.jp/Jr4w0S	○	○	○			○	320人(3㎡あたり1人)	3台
111	桜中学校グラウンド	東部	秋田県秋田市桜台1-1-1	http://yahoo.jp/r25c3O	○	○	○				6,395人(2㎡あたり1人)	
112	桜中学校(体育館)	東部	秋田県秋田市桜台1-1-1	http://yahoo.jp/bjg-EE	○	○	○			○	560人(3㎡あたり1人)	3台
113	桜地区コミュニティセンター(多目的ホール)	東部	秋田県秋田市桜台1-1-4	http://yahoo.jp/VWAgF0	○	○	○			○	117人(3㎡あたり1人)	2台
114	桜台中央公園	東部	秋田県秋田市桜台2-5	http://yahoo.jp/B25ieo	○	○	○				3,000人(2㎡あたり1人)	
115	桜ガ丘第二街区公園	東部	秋田県秋田市桜ガ丘3-4	http://yahoo.jp/dsRenV	○	○	○				2,195人(2㎡あたり1人)	
116	横森地域運動広場	東部	秋田県秋田市横森3-3	http://yahoo.jp/D8gRto	○	○	○				4,170人(2㎡あたり1人)	
117	大平台もみの木公園	東部	秋田県秋田市大平台1-14	http://yahoo.jp/IWnP2c	○	○	○				3,220人(2㎡あたり1人)	
118	平和公園	東部	秋田県秋田市泉字五庵山135	http://yahoo.jp/acnkeF	○		○				30,000人(2㎡あたり1人)	
119	秋田商業高等学校	西部	秋田県秋田市新屋勝平台1-1	http://yahoo.jp/K409js	○	○	○			○	1,250人(3㎡あたり1人)	3台
120	秋田商業高等学校グラウンド(サッカー場、硬式野球場、陸上競技場)	西部	秋田県秋田市新屋勝平台1-1	http://yahoo.jp/o4Fm3f	○	○	○	○			津波37,060人(1㎡あたり1人) 津波以外18,530人(2㎡あたり1人)	
121	勝平小学校グラウンド	西部	秋田県秋田市新屋松美ガ丘北町14-1	http://yahoo.jp/lin4wU	○	○	○	○			津波9,970人(1㎡あたり1人) 津波以外4,985人(2㎡あたり1人)	
122	勝平小学校(体育館)	西部	秋田県秋田市新屋松美ガ丘北町14-1	http://yahoo.jp/spujxW	○	○	○			○	514人(3㎡あたり1人)	3台
123	勝平地区コミュニティセンター	西部	秋田県秋田市新屋松美ガ丘東町10-10	http://yahoo.jp/g9j-79	○	○	○			○	124人(3㎡あたり1人)	1台

No	施設・場所名	地区	住所	案内図	対象となる異常な現象の種類					指定避難所との重複	想定収容人数	※特設公衆電話設置台数
					洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	津波	大規模な火事			
124	新屋松美町緑道（勝平日吉神社隣接広場）	西部	秋田県秋田市新屋松美町地内	http://yahoo.jp/AGxdfO	○	○	○	○			津波6,300人（1㎡あたり1人） 津波以外3,150人（2㎡あたり1人）	
125	松美ヶ丘第三街区公園	西部	秋田県秋田市新屋松美ガ丘南町地内	http://yahoo.jp/E2b2lS	○	○	○	○			津波3,000人（1㎡あたり1人） 津波以外1,500人（2㎡あたり1人）	
126	勝平中学校グラウンド	西部	秋田県秋田市新屋北浜町13-1	http://yahoo.jp/ypZO6L	○	○	○	○			津波10,810人（1㎡あたり1人） 津波以外5,405人（2㎡あたり1人）	
127	勝平中学校（体育館）	西部	秋田県秋田市新屋北浜町13-1	http://yahoo.jp/JRs8Yn	○	○	○			○	561人（3㎡あたり1人）	3台
128	日新小学校グラウンド	西部	秋田県秋田市新屋栗田町24-1	http://yahoo.jp/O2N96Y	○	○	○	○			津波6,710人（1㎡あたり1人） 津波以外3,355人（2㎡あたり1人）	
129	日新小学校（体育館）	西部	秋田県秋田市新屋栗田町24-1	http://yahoo.jp/oQzSF8	○	○	○			○	289人（3㎡あたり1人）	2台
130	秋田県立栗田支援学校グラウンド	西部	秋田県秋田市新屋栗田町地内	http://yahoo.jp/Z0MIGL				○			1,540人（1㎡あたり1人）	
131	勝平市民グラウンド	西部	秋田県秋田市新屋豊町153-1	http://yahoo.jp/tPelcb	○	○	○				11,770人（2㎡あたり1人）	
132	秋田西中学校グラウンド	西部	秋田県秋田市新屋大川町19-75	http://yahoo.jp/bZxsTD	○	○	○				10,260人（2㎡あたり1人）	
133	秋田西中学校（校舎3階教室と廊下、塔屋1階部分）	西部	秋田県秋田市新屋大川町19-75	http://yahoo.jp/q5dn0Z				○			1,810人（1㎡あたり1人）	
134	秋田西中学校（体育館）	西部	秋田県秋田市新屋大川町19-75	http://yahoo.jp/cXZY7Y	○	○	○			○	603人（3㎡あたり1人）	3台
135	秋田公立美術大学ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	西部	秋田県秋田市新屋大川町12-3	http://yahoo.jp/UDy9Ar	○	○	○				3,450人（2㎡あたり1人）	
136	秋田公立美術大学	西部	秋田県秋田市新屋大川町12-3	http://yahoo.jp/UDy9Ar	○	○	○			○	399人（3㎡あたり1人）	
137	秋田公立美術大学附属高等学院（体育館）	西部	秋田県秋田市新屋大川町12-3	http://yahoo.jp/RppT3x	○	○	○			○	284人（3㎡あたり1人）	
138	秋田公立美術大学（講義棟2階の各室と通路）	西部	秋田県秋田市新屋大川町12-3	http://yahoo.jp/UDy9Ar				○			850人（1㎡あたり1人）	
139	西部市民サービスセンター（3階各室と廊下およびホール）	西部	秋田県秋田市新屋扇町13-34	http://yahoo.jp/9TfK8e				○			590人（1㎡あたり1人）	
140	西部市民サービスセンター（多目的ホール）	西部	秋田県秋田市新屋扇町13-34	http://yahoo.jp/9TfK8e	○	○	○			○	183人（3㎡あたり1人）	2台
141	割山自動車教習所コース部敷地	西部	秋田県秋田市新屋割山町地内	http://yahoo.jp/rEjmBI				○			9,050人（1㎡あたり1人）	

No	施設・場所名	地区	住所	案内図	対象となる異常な現象の種類					指定避難所との重複	想定収容人数	※特設公衆電話設置台数
					洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	津波	大規模な火事			
142	国土交通省秋田防災ステーション敷地	西部	秋田県秋田市新屋町字天秤野地内	http://yahoo.jp/CaNW6d				○			9,400人(1㎡あたり1人)	
143	秋田カントリークラブコース内、クラブ前駐車場	西部	秋田県秋田市新屋町字砂奴寄地内	http://yahoo.jp/5h3w9k				○			110,350人(1㎡あたり1人)	
144	向浜運動広場内旧運転練習場	西部	秋田県秋田市新屋町字砂奴寄地内ほか	http://yahoo.jp/1fQi7j				○			10,000人(1㎡あたり1人)	
145	下浜小・中学校グラウンド	西部	秋田県秋田市下浜羽川字水垂92	http://yahoo.jp/dOv34F	○	○	○	○			津波5,180人(1㎡あたり1人) 津波以外2,590人(2㎡あたり1人)	
146	下浜小学校(体育館)	西部	秋田県秋田市下浜羽川字水垂92	http://yahoo.jp/Ufyn4d	○	○	○			○	252人(3㎡あたり1人)	2台
147	下浜中学校(体育館)	西部	秋田県秋田市下浜羽川字水垂92	http://yahoo.jp/dOv34F	○	○	○			○	235人(3㎡あたり1人)	2台
148	下浜工業団地緑地	西部	秋田県秋田市下浜羽川字下山地内	http://yahoo.jp/YUY6EC	○	○	○	○			津波830人(1㎡あたり1人) 津波以外415人(2㎡あたり1人)	
149	下浜地区コミュニティセンター	西部	秋田県秋田市下浜羽川字下野1-76	http://yahoo.jp/G13SYV	○	○	○			○	66人(3㎡あたり1人)	1台
150	下浜羽川遊園地	西部	秋田県秋田市下浜羽川字二十町41-2	https://yahoo.jp/PcdIJu	○	○	○				480人(2㎡あたり1人)	
151	コスモエ機株式会社　秋田工場敷地	西部	秋田県秋田市下浜羽川字五郎池地内	http://yahoo.jp/DOnnKe				○			3,900人(1㎡あたり1人)	
152	八幡神社境内	西部	秋田県秋田市下浜羽川字家ノ腰地内	http://yahoo.jp/JyqlHK				○			900人(1㎡あたり1人)	
153	珠林寺　墓地駐車場	西部	秋田県秋田市下浜羽川字寺ノ下地内	http://yahoo.jp/u_Yf08				○			750人(1㎡あたり1人)	
154	羽川岩城地区周辺山林	西部	秋田県秋田市下浜羽川字岩城地内	http://yahoo.jp/05ogjh				○			1,000人(1㎡あたり1人)	
155	下浜旧ゲートボール場	西部	秋田県秋田市下浜羽川字横長根地内	http://yahoo.jp/hKhRtJ				○			3,830人(1㎡あたり1人)	
156	長浜地区運動公園	西部	秋田県秋田市下浜長浜字藤木台・兜森地内	http://yahoo.jp/8tDSzO				○			3,500人(1㎡あたり1人)	
157	下浜長浜公民館敷地	西部	秋田県秋田市下浜長浜字荒郷屋70	https://yahoo.jp/k9ed6h			○	○			津波1,181人(1㎡あたり1人) 津波以外590人(2㎡あたり1人)	
158	桂根グラウンドゴルフ場	西部	秋田県秋田市下浜桂根字大台地内	http://yahoo.jp/v4pyJo				○			14,000人(1㎡あたり1人)	
159	下浜八田地域運動広場 (旧八田小学校ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ)	西部	秋田県秋田市下浜八田字餅田42	http://yahoo.jp/vCYZgP	○	○	○				2,030人(2㎡あたり1人)	

No	施設・場所名	地区	住所	案内図	対象となる異常な現象の種類					指定避難所との重複	想定収容人数	※特設公衆電話設置台数
					洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	津波	大規模な火事			
160	大森山公園	西部	秋田県秋田市浜田地内	http://yahoo.jp/pJ2cNw				○			100,300人(1㎡あたり1人)	
161	浜田小学校グラウンド	西部	秋田県秋田市浜田字自在山47-2	http://yahoo.jp/IXqgJO	○		○	○			津波8,500人(1㎡あたり1人) 津波以外4,252人(2㎡あたり1人)	
162	大森山老人と子どもの家	西部	秋田県秋田市浜田字出小屋333-1	http://yahoo.jp/vLdWIV	○					○	250人(3㎡あたり1人)	1台
163	医療法人緑陽会笠松病院敷地	西部	秋田県秋田市浜田字藍ノ原地内	http://yahoo.jp/dz7_rb				○			3,200人(1㎡あたり1人)	
164	もしもしピット秋田市はまなす広場	西部	秋田県秋田市浜田字滝ノ元地内	http://yahoo.jp/Uuj6dm				○			1,800人(1㎡あたり1人)	
165	豊岩小学校グラウンド	西部	秋田県秋田市豊岩豊巻字内縄尻90	http://yahoo.jp/e6i3C5			○				2,125人(2㎡あたり1人)	
166	豊岩中学校(体育館)	西部	秋田県秋田市豊岩豊巻字内縄尻90-2	http://yahoo.jp/H0HtFp			○			○	218人(3㎡あたり2人)	2台
167	豊岩地区コミュニティセンター	西部	秋田県秋田市豊岩豊巻字内縄尻224-1	http://yahoo.jp/MrOaJP		○	○			○	48人(3㎡あたり1人)	1台
168	秋田県立新屋高等学校グラウンド(野球場・陸上競技場)	西部	秋田県秋田市豊岩石田坂字鎌塚地内	http://yahoo.jp/aHGR54	○	○	○	○			津波21,538人(1㎡あたり1人) 津波以外10,769人(2㎡あたり1人)	
169	牛島運動公園	南部	秋田県秋田市牛島東1-5	http://yahoo.jp/6YVSwJ		○	○				2,780人(2㎡あたり1人)	
170	南部市民サービスセンター別館(多目的ホール)	南部	秋田県秋田市牛島東6-4-5	https://yahoo.jp/U3XKhG		○	○			○	121人(3㎡あたり1人)	
171	牛島小学校グラウンド	南部	秋田県秋田市牛島東6-6-1	http://yahoo.jp/YkMg8r		○	○				4,975人(2㎡あたり1人)	
172	牛島小学校(体育館)	南部	秋田県秋田市牛島東6-6-1	http://yahoo.jp/cQ_0x1		○	○			○	417人(3㎡あたり1人)	3台
173	牛島清水町市営住宅(1号棟から3号棟まで〔3階から4階までの廊下と階段および踊り場〕)	南部	秋田県秋田市牛島西4ー29	http://yahoo.jp/VnhBjy				○			240人(1㎡あたり1人)	
174	仁井田小学校グラウンド	南部	秋田県秋田市仁井田本町4-7-1	http://yahoo.jp/gk1AiM		○	○				6,520人(2㎡あたり1人)	
175	仁井田小学校(体育館)	南部	秋田県秋田市仁井田本町4-7-1	http://yahoo.jp/vgDSUf		○	○			○	337人(3㎡あたり1人)	3台
176	大住小学校グラウンド	南部	秋田県秋田市仁井田字西潟敷33	http://yahoo.jp/o-iE9h		○	○				5,510人(2㎡あたり1人)	
177	大住小学校(体育館)	南部	秋田県秋田市仁井田字西潟敷33	http://yahoo.jp/pbKl4W		○	○			○	329人(3㎡あたり1人)	3台

No	施設・場所名	地区	住所	案内図	対象となる異常な現象の種類					指定避難所との重複	想定収容人数	※特設公衆電話設置台数
					洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	津波	大規模な火事			
178	大住小学校（校舎3階教室と廊下）	南部	秋田県秋田市仁井田字西潟敷33	http://yahoo.jp/VtS-Y6				○			1,820人(1㎡あたり1人)	
179	御野場中学校グラウンド	南部	秋田県秋田市仁井田字中新田223	http://yahoo.jp/S0yXKO		○	○				6,275人(2㎡あたり1人)	
180	御野場中学校（体育館）	南部	秋田県秋田市仁井田字中新田223	http://yahoo.jp/isP5LS		○	○			○	597人(3㎡あたり1人)	3台
181	大住地区コミュニティセンター	南部	秋田県秋田市仁井田字西潟敷463	http://yahoo.jp/9TD0mt		○	○			○	115人(3㎡あたり1人)	1台
182	秋田県立秋田南高等学校陸上競技場	南部	秋田県秋田市仁井田緑町4-1	http://yahoo.jp/6EKTZT		○	○	○			津波10,200人(1㎡あたり1人) 津波以外5,100人(2㎡あたり1人)	
183	上北手小学校グラウンド	南部	秋田県秋田市上北手猿田字館ノ下38	http://yahoo.jp/90-bAo			○				3,105人(2㎡あたり2人)	
184	上北手小学校（体育館）	南部	秋田県秋田市上北手猿田字館ノ下38	http://yahoo.jp/eITA1O			○			○	274人(3㎡あたり2人)	2台
185	上北手地区コミュニティセンター	南部	秋田県秋田市上北手猿田字四ツ小屋29-1	http://yahoo.jp/3KX4s6	○		○			○	42人(3㎡あたり1人)	1台
186	学校法人日本赤十字学園日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学グラウンド	南部	秋田県秋田市上北手猿田字苗代沢17-3	http://yahoo.jp/bStjXF	○	○	○	○			津波9,400人(1㎡あたり1人) 津波以外4,700人(2㎡あたり1人)	
187	秋田県立秋田きらり支援学校グラウンド	南部	秋田県秋田市上北手百崎諏訪ノ沢3-127	http://yahoo.jp/9TpEGK	○	○	○	○			津波9,130人(1㎡あたり1人) 津波以外4,565人(2㎡あたり1人)	
188	四ツ小屋小学校グラウンド	南部	秋田県秋田市四ツ小屋字街道東256-1	http://yahoo.jp/mfxHRt		○	○				6,435人(2㎡あたり1人)	
189	四ツ小屋小学校（体育館）	南部	秋田県秋田市四ツ小屋字街道東256-1	http://yahoo.jp/mfxHRt		○	○			○	326人(3㎡あたり1人)	3台
190	南部市民サービスセンター(多目的ホール)	南部	秋田県秋田市御野場1-5-1	http://yahoo.jp/qBaSHf		○	○			○	127人(3㎡あたり1人)	1台
191	御所野小学校グラウンド	南部	秋田県秋田市御所野元町5-1-1	http://yahoo.jp/54q-3Y	○	○	○				5,595人(2㎡あたり1人)	
192	御所野小学校（体育館）	南部	秋田県秋田市御所野元町5-1-1	http://yahoo.jp/65p9qm	○	○	○			○	419人(3㎡あたり1人)	3台
193	御所野学院中学校・高等学校グラウンド	南部	秋田県秋田市御所野地蔵田4-31	http://yahoo.jp/GSzMIC	○	○	○				12,315人(2㎡あたり1人)	
194	御所野学院中学校（体育館）	南部	秋田県秋田市御所野地蔵田4-1-1	http://yahoo.jp/4cBsal	○	○	○			○	477人(3㎡あたり1人)	3台
195	御所野学院高等学校（体育館）	南部	秋田県秋田市御所野地蔵田4-1-1	http://yahoo.jp/k_ZmNs	○	○	○			○	396人(3㎡あたり1人)	3台

No	施設・場所名	地区	住所	案内図	対象となる異常な現象の種類					指定避難所との重複	想定収容人数	※特設公衆電話設置台数
					洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	津波	大規模な火事			
196	秋田県中央地区老人福祉総合エリア駐車場	南部	秋田県秋田市御所野下堤5-1-1	http://yahoo.jp/1e91RQ6	○	○	○	○			津波24,320人(1㎡あたり1人) 津波以外12,160人(2㎡あたり1人)	
197	医療法人正和会五十嵐記念病院在宅総合ケアセンター(病院屋上、ケアセンター屋上)	北部	秋田県秋田市土崎港中央1-17-23	http://yahoo.jp/3-6Odr				○			500人(1㎡あたり1人)	
198	土崎小学校グラウンド	北部	秋田県秋田市土崎港中央3-1-78	http://yahoo.jp/rhha9H	○	○	○				2,104人(2㎡あたり1人)	
199	土崎小学校(体育館)	北部	秋田県秋田市土崎港中央3-1-78	http://yahoo.jp/rhha9H	○	○	○			○	319人(3㎡あたり1人)	3台
200	土崎小学校(校舎3階教室と廊下および屋上)	北部	秋田県秋田市土崎港中央3-1-78	http://yahoo.jp/TjEC5H				○			2,680人(1㎡あたり1人)	
201	社会福祉法人はまなす会ケアハウス土崎(3階から8階までのホール、屋外階段と踊り場)	北部	秋田県秋田市土崎港中央3－4－40	http://yahoo.jp/OT0CAE				○			500人(1㎡あたり1人)	
202	琴平第二街区公園	北部	秋田県秋田市土崎港中央4地内	http://yahoo.jp/XXJ8eN	○	○	○	○			津波1,800人(1㎡あたり1人) 津波以外900人(2㎡あたり1人)	
203	医療法人運忠会土崎病院介護老人保健施設なぎさ(病院外来棟屋上、介護老人保健施設屋上・6階ベランダ)	北部	秋田県秋田市土崎港中央4－4－26	http://yahoo.jp/a72c34				○			580人(1㎡あたり1人)	
204	土崎マンション(3階から4階までの通路)	北部	秋田県秋田市土崎港中央6-16-17	http://yahoo.jp/nM4KG2				○			130人(1㎡あたり1人)	
205	土崎聖書キリスト教会グローリアチャペル(3階ホールと和室)	北部	秋田県秋田市土崎港中央6-16-34	http://yahoo.jp/5d5SFS				○			150人(1㎡あたり1人)	
206	土崎南小学校グラウンド	北部	秋田県秋田市土崎港東1-6-39	http://yahoo.jp/kLGZ5B	○	○	○	○			津波5,470人(1㎡あたり1人) 津波以外2,735人(2㎡あたり1人)	
207	土崎南小学校(体育館)	北部	秋田県秋田市土崎港東1-6-39	http://yahoo.jp/kLGZ5B	○	○	○			○	326人(3㎡あたり1人)	3台
208	ホテルルートイン秋田土崎(4階から8階までの通路)	北部	秋田県秋田市土崎港西2-12-30	http://yahoo.jp/zzzNu7				○			850人(1㎡あたり1人)	
209	ビレッジハウス土崎(1号棟から3号棟まで〔3階から5階までの階段と踊り場〕)	北部	秋田県秋田市土崎港西2-12-48	http://yahoo.jp/wwaB1K				○			90人(1㎡あたり1人)	
210	チャレンジオフィスあきた(3階〔大小多目的室、通路〕、屋上)	北部	秋田県秋田市土崎港西3-9-15	http://yahoo.jp/BZozJm				○			970人(1㎡あたり1人)	
211	古川町街区公園(土崎市民グラウンド)	北部	秋田県秋田市土崎港西4-3-1	http://yahoo.jp/shSHPE	○	○	○				4,700人(2㎡あたり1人)	
212	北部市民サービスセンター(立体駐車場3階、庁舎3階〔フロア、バルコニー〕および屋上)	北部	秋田県秋田市土崎港西5-3-1	http://yahoo.jp/I9Awux				○			4,830人(1㎡あたり1人)	
213	北部市民サービスセンター(体育館)	北部	秋田県秋田市土崎港西5-3-1	http://yahoo.jp/I9Awux	○	○	○			○	405人(3㎡あたり1人)	2台

No	施設・場所名	地区	住所	案内図	対象となる異常な現象の種類					指定避難所との重複	想定収容人数	※特設公衆電話設置台数
					洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	津波	大規模な火事			
214	イオンリテール株式会社イオン土崎港店敷地	北部	秋田県秋田市土崎港南2地内	http://yahoo.jp/pzXAVK				○			10,480人(1㎡あたり1人)	
215	秋田県立秋田中央高等学校野球場・ラグビー場	北部	秋田県秋田市土崎港南3−2−78	http://yahoo.jp/f2UvAL	○	○	○	○			津波15,540人(1㎡あたり1人) 津波以外7,770人(2㎡あたり1人)	
216	土崎中学校グラウンド	北部	秋田県秋田市土崎港北1−3−1	http://yahoo.jp/DoEWzl	○	○	○				5,365人(2㎡あたり1人)	
217	土崎中学校(体育館)	北部	秋田県秋田市土崎港北1−3−1	http://yahoo.jp/DoEWzl	○	○	○			○	611人(3㎡あたり1人)	3台
218	土崎中学校(校舎2階から3階までの教室と廊下)	北部	秋田県秋田市土崎港北1−3−1	http://yahoo.jp/bI8T8z				○			1,140人(1㎡あたり1人)	
219	土崎駅東第三街区公園	北部	秋田県秋田市土崎港北2−18	http://yahoo.jp/UWX2jJ	○	○	○				1,750人(2㎡あたり1人)	
220	港北地区コミュニティセンター	北部	秋田県秋田市土崎港北3−7−9	http://yahoo.jp/whyyRm	○	○	○			○	111人(3㎡あたり1人)	1台
221	港北小学校グラウンド	北部	秋田県秋田市土崎港北4−6−1	http://yahoo.jp/ga28E9	○	○	○				7,913人(2㎡あたり1人)	
222	港北小学校(体育館)	北部	秋田県秋田市土崎港北4−6−1	http://yahoo.jp/ga28E9	○	○	○			○	412人(3㎡あたり1人)	3台
223	港北小学校(校舎3階教室と廊下)	北部	秋田県秋田市土崎港北4−6−1	http://yahoo.jp/G3WNh1				○			2,160人(1㎡あたり1人)	
224	秋田県営土崎港住宅(3階から4階までの階段と踊り場)	北部	秋田県秋田市土崎港相染町字中谷地47−2ほか	http://yahoo.jp/2ns8oL				○			199人(1㎡あたり1人)	
225	光沼近隣公園	北部	秋田県秋田市土崎港相染町字沼端77	http://yahoo.jp/9X16Gk	○	○	○				14,450人(2㎡あたり1人)	
226	株式会社　ジーンズエムシーディ物流棟・工場棟(屋上)	北部	秋田県秋田市土崎港相染町字浜ナシ山17−3	http://yahoo.jp/v1qQsr				○			1,000人(1㎡あたり1人)	
227	飯島小学校グラウンド	北部	秋田県秋田市飯島鼠田2−2−1	http://yahoo.jp/CfUQ-x	○	○	○				8,669人(2㎡あたり1人)	
228	飯島小学校(体育館)	北部	秋田県秋田市飯島鼠田2−2−1	http://yahoo.jp/CfUQ-x	○	○	○			○	359人(3㎡あたり1人)	3台
229	飯島小学校校庭・グラウンド	北部	秋田県秋田市飯島鼠田2−2−1	http://yahoo.jp/gnd27k				○			19,970人(1㎡あたり1人)	
230	飯島中学校グラウンド	北部	秋田県秋田市飯島字田尻堰越48	http://yahoo.jp/ty7SP7	○	○	○				4,890人(2㎡あたり1人)	
231	飯島中学校(体育館)	北部	秋田県秋田市飯島字田尻堰越48	http://yahoo.jp/ty7SP7	○	○	○			○	611人(3㎡あたり1人)	3台

No	施設・場所名	地区	住所	案内図	対象となる異常な現象の種類					指定避難所との重複	想定収容人数	※特設公衆電話設置台数
					洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	津波	大規模な火事			
232	飯島地区コミュニティセンター	北部	秋田県秋田市飯島松根東町5-22	http://yahoo.jp/91zkDY	○	○	○			○	128人(3㎡あたり1人)	1台
233	飯島地区コミュニティセンター敷地	北部	秋田県秋田市飯島松根東町地内	http://yahoo.jp/91zkDY	○	○	○	○			津波1,300人(1㎡あたり1人) 津波以外650人(2㎡あたり1人)	
234	飯島神社街区公園	北部	秋田県秋田市飯島松根西町地内	http://yahoo.jp/HTSfj0	○	○	○	○			津波4,600人(1㎡あたり1人) 津波以外2,300人(2㎡あたり1人)	
235	飯島穀丁第四児童遊園地(松風団地)	北部	秋田県秋田市飯島穀丁地内	http://yahoo.jp/HtHgba	○	○	○	○			津波250人(1㎡あたり1人) 津波以外125人(2㎡あたり1人)	
236	宗教法人雲祥院霊園および山林	北部	秋田県秋田市飯島穀丁地内	http://yahoo.jp/wcwxqi				○			1,700人(1㎡あたり1人)	
237	飯島道東一丁目第一児童遊園地	北部	秋田県秋田市飯島道東1地内	http://yahoo.jp/9Tleic	○	○	○	○			津波500人(1㎡あたり1人) 津波以外250人(2㎡あたり1人)	
238	医療法人久盛会秋田緑ヶ丘病院　第二、第三駐車場	北部	秋田県秋田市飯島字堀川地内	http://yahoo.jp/s8GlZN				○			2,000人(1㎡あたり1人)	
239	飯島老人いこいの家敷地	北部	秋田県秋田市飯島字堀川地内	http://yahoo.jp/PXmBmL				○			970人(1㎡あたり1人)	
240	雇用促進住宅　緑ヶ丘宿舎(1号棟から2号棟まで〔2階から4階までの廊下と階段および踊り場〕)	北部	秋田県秋田市飯島緑丘町11－1	http://yahoo.jp/LIciDr				○			540人(1㎡あたり1人)	
241	秋田工業高等専門学校グラウンド	北部	秋田県秋田市飯島文京町地内	http://yahoo.jp/c0eZAM	○	○	○	○			津波30,400人(1㎡あたり1人) 津波以外15,200人(2㎡あたり1人)	
242	飯島南小学校グラウンド	北部	秋田県秋田市飯島西袋1-1-2	http://yahoo.jp/0BSnBI	○	○	○				4,780人(2㎡あたり1人)	
243	飯島南小学校(体育館)	北部	秋田県秋田市飯島西袋1-1-2	http://yahoo.jp/0BSnBI	○	○	○			○	328人(3㎡あたり1人)	3台
244	飯島南地区コミュニティセンター(多目的ホール)	北部	秋田県秋田市飯島字南場掛318-2	https://yahoo.jp/WEkPyW	○	○	○			○	100人(3㎡あたり1人)	
245	飯島西部街区公園	北部	秋田県秋田市飯島川端3地内	http://yahoo.jp/IZ9dqo	○	○	○	○			津波2,500人(1㎡あたり1人) 津波以外1,250人(2㎡あたり1人)	
246	秋田県職員港北新町公舎(2階から3階までの階段と踊り場)	北部	秋田県秋田市港北新町10－1	http://yahoo.jp/pOzT9i				○			100人(1㎡あたり1人)	
247	高清水小学校グラウンド	北部	秋田県秋田市将軍野南1-2-16	http://yahoo.jp/XsBRPT	○	○	○	○			津波13,700人(1㎡あたり1人) 津波以外6,850人(2㎡あたり1人)	
248	高清水小学校(体育館)	北部	秋田県秋田市将軍野南1-2-16	http://yahoo.jp/XsBRPT	○	○	○			○	416人(3㎡あたり1人)	3台
249	将軍野中学校グラウンド	北部	秋田県秋田市将軍野南1-12-1	http://yahoo.jp/Otywds	○	○	○	○			津波12,920人(1㎡あたり1人) 津波以外6,460人(2㎡あたり1人)	

No	施設・場所名	地区	住所	案内図	対象となる異常な現象の種類					指定避難所との重複	想定収容人数	※特設公衆電話設置台数
					洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	津波	大規模な火事			
250	将軍野中学校（体育館）	北部	秋田県秋田市将軍野南1-12-1	http://yahoo.jp/Otywds	○	○	○			○	601人(3㎡あたり1人)	3台
251	将軍野地区コミュニティセンター	北部	秋田県秋田市将軍野南4-8-8	http://yahoo.jp/_GLHDT	○	○	○			○	80人(3㎡あたり1人)	1台
252	外旭川小学校グラウンド	北部	秋田県秋田市外旭川字梶ノ目262-2	http://yahoo.jp/6ILZQu	○	○	○				5,350人(2㎡あたり1人)	
253	外旭川小学校（体育館）	北部	秋田県秋田市外旭川字梶ノ目262-2	http://yahoo.jp/xkXwnq	○	○	○			○	357人(3㎡あたり1人)	3台
254	外旭川中学校グラウンド	北部	秋田県秋田市外旭川字梶ノ目50	http://yahoo.jp/h3ZV3d	○	○	○				11,475人(2㎡あたり1人)	
255	外旭川中学校（体育館）	北部	秋田県秋田市外旭川字梶ノ目50	http://yahoo.jp/MK1TVt	○	○	○			○	336人(3㎡あたり1人)	3台
256	外旭川地区コミュニティセンター	北部	秋田県秋田市外旭川字四百刈76	http://yahoo.jp/pr55ik	○	○	○			○	122人(3㎡あたり1人)	1台
257	外旭川地域運動広場 （旧外旭川中学校グラウンド）	北部	秋田県秋田市外旭川八幡田1-18	http://yahoo.jp/61u7fL	○	○	○				5,085人(2㎡あたり1人)	
258	前谷地近隣公園	北部	秋田県秋田市外旭川字前谷地地内	http://yahoo.jp/2lBsIb	○	○	○				10,000人(2㎡あたり1人)	
259	下新城小学校グラウンド	北部	秋田県秋田市下新城笠岡字佐戸反10	http://yahoo.jp/D0c--6		○	○				12,110人(2㎡あたり1人)	
260	下新城小学校（体育館）	北部	秋田県秋田市下新城笠岡字佐戸反10	http://yahoo.jp/D0c--6		○	○			○	304人(3㎡あたり1人)	3台
261	秋田北中学校グラウンド	北部	秋田県秋田市下新城中野字街道端西241-90	http://yahoo.jp/UmIMDo	○	○	○				4,855人(2㎡あたり1人)	
262	秋田北中学校（体育館）	北部	秋田県秋田市下新城中野字街道端西241-90	http://yahoo.jp/UmIMDo	○	○	○			○	553人(3㎡あたり1人)	3台
263	下新城地区コミュニティセンター	北部	秋田県秋田市下新城笠岡字堰場193-4	http://yahoo.jp/MFGfac		○	○			○	48人(3㎡あたり1人)	1台
264	下新城交流センター	北部	秋田県秋田市下新城中野字前谷地263	http://yahoo.jp/ORbcVv		○				○	229人(3㎡あたり1人)	1台
265	秋田県立大学陸上競技場	北部	秋田県秋田市下新城中野字街道端西241-7	https://yahoo.jp/8jGLiF	○	○	○				11,173人（2㎡あたり1人）	
266	上新城小学校グラウンド	北部	秋田県秋田市上新城五十丁字大村屋敷22	http://yahoo.jp/46VnRb		○	○				4,555人(2㎡あたり1人)	
267	上新城小学校（体育館）	北部	秋田県秋田市上新城五十丁字大村屋敷22	http://yahoo.jp/46VnRb		○	○			○	225人(3㎡あたり1人)	2台

No	施設・場所名	地区	住所	案内図	対象となる異常な現象の種類					指定避難所との重複	想定収容人数	※特設公衆電話設置台数
					洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	津波	大規模な火事			
268	上新城地区コミュニティセンター	北部	秋田県秋田市上新城五十丁字小林88-5	http://yahoo.jp/W5B6Fn			○			○	42人(3㎡あたり1人)	1台
269	金足西小学校グラウンド	北部	秋田県秋田市金足大清水字大清水台1	http://yahoo.jp/X9j6xK	○	○	○				6,925人(2㎡あたり1人)	
270	金足西小学校(体育館)	北部	秋田県秋田市金足大清水字大清水台1	http://yahoo.jp/X9j6xK	○	○	○			○	264人(3㎡あたり1人)	2台
271	旧金足東小学校グラウンド	北部	秋田県秋田市金足片田字待入109	http://yahoo.jp/5nit69	○		○				3,175人(2㎡あたり1人)	
272	旧金足東小学校(体育館)	北部	秋田県秋田市金足片田字待入109	http://yahoo.jp/5nit69	○		○			○	239人(3㎡あたり1人)	1台
273	金足地域センター	北部	秋田県秋田市金足小泉字上前55	http://yahoo.jp/S3LS0V	○	○	○			○	72人(3㎡あたり1人)	1台
274	秋田県立金足農業高等学校野球場・ラグビー場	北部	秋田県秋田市金足追分字海老穴102-4	http://yahoo.jp/VYMGDo	○	○	○	○			津波13,680人(1㎡あたり1人) 津波以外6,840人(2㎡あたり1人)	
275	河辺小学校グラウンド	河辺	秋田県秋田市河辺和田字岡村164-1	http://yahoo.jp/vmclTM	○		○				8,330人(2㎡あたり1人)	
276	河辺小学校(体育館)	河辺	秋田県秋田市河辺和田字岡村164-1	http://yahoo.jp/1cgB_A	○		○			○	341人(3㎡あたり1人)	3台
277	河辺市民サービスセンター	河辺	秋田県秋田市河辺和田字北条ヶ崎38-2	http://yahoo.jp/ogjb-m	○	○	○			○	186人(3㎡あたり1人)	2台
278	和田駅前駐車場	河辺	秋田県秋田市河辺和田字上中野129	http://yahoo.jp/WI-6PI	○	○	○				2,140人(2㎡あたり1人)	
279	河辺体育館駐車場	河辺	秋田県秋田市河辺和田字上中野186	http://yahoo.jp/fJEgwj	○	○	○				2,620人(2㎡あたり1人)	
280	河辺体育館	河辺	秋田県秋田市河辺和田字上中野186	http://yahoo.jp/oQzvtH	○	○	○			○	336人(3㎡あたり1人)	1台
281	河辺中学校グラウンド	河辺	秋田県秋田市河辺北野田高屋字雷谷地84	http://yahoo.jp/2nLYrR	○		○				24,080人(2㎡あたり1人)	
282	河辺中学校(体育館)	河辺	秋田県秋田市河辺北野田高屋字雷谷地84	http://yahoo.jp/ubWSSV	○		○			○	562人(3㎡あたり1人)	3台
283	河辺総合福祉交流センター駐車場	河辺	秋田県秋田市河辺北野田高屋字上前田表66-1	http://yahoo.jp/63FmbG	○	○	○				7,350人(2㎡あたり1人)	
284	戸島小学校グラウンド	河辺	秋田県秋田市河辺戸島字本町123	http://yahoo.jp/illgec	○	○	○				7,085人(2㎡あたり1人)	
285	河辺総合福祉交流センター	河辺	秋田県秋田市河辺北野田高屋字上前田表66-1	http://yahoo.jp/63FmbG	○	○	○			○	703人(3㎡あたり1人)	2台

No	施設・場所名	地区	住所	案内図	対象となる異常な現象の種類					指定避難所との重複	想定収容人数	※特設公衆電話設置台数
					洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	津波	大規模な火事			
286	戸島小学校（体育館）	河辺	秋田県秋田市河辺戸島字本町123	http://yahoo.jp/jsJ5dc	○	○	○			○	292人（3㎡あたり1人）	2台
287	旧赤平小学校グラウンド	河辺	秋田県秋田市河辺赤平字小曽根80	http://yahoo.jp/aoan1Q	○	○	○				6,115人（2㎡あたり1人）	
288	旧赤平小学校（体育館）	河辺	秋田県秋田市河辺赤平字小曽根80	http://yahoo.jp/2bw_jn	○	○	○			○	197人（3㎡あたり1人）	1台
289	旧岩見三内小学校グラウンド	河辺	秋田県秋田市河辺岩見字鍛冶屋敷14	http://yahoo.jp/xkimI5		○	○				7,270人（2㎡あたり1人）	
290	岩見三内中学校グラウンド	河辺	秋田県秋田市河辺三内字外川原39	http://yahoo.jp/ksbGoE		○	○				6,260人（2㎡あたり1人）	
291	岩見三内小学校（体育館）	河辺	秋田県秋田市河辺三内字外川原39	http://yahoo.jp/qqXEL2		○	○			○	110人（3㎡あたり1人）	1台
292	岩見三内中学校（体育館）	河辺	秋田県秋田市河辺三内字外川原39	http://yahoo.jp/ubgkCO		○	○			○	348人（3㎡あたり1人）	3台
293	河辺岩見三内地区コミュニティセンター	河辺	秋田県秋田市河辺三内字外川原34-1	http://yahoo.jp/pwT4X2		○	○			○	259人（3㎡あたり1人）	1台
294	秋田県健康増進交流センター駐車場	河辺	秋田県秋田市河辺三内字丸舞1-1	http://yahoo.jp/un-F4u	○	○	○	○			津波750人（1㎡あたり1人） 津波以外375人（2㎡あたり1人）	
295	秋田市河辺高齢者健康づくりセンター（ユフォーレ体育館）	河辺	秋田県秋田市河辺三内字丸舞1-1	http://yahoo.jp/9twBaR	○	○	○			○	178人（3㎡あたり1人）	1台
296	雄和小学校（体育館）	雄和	秋田県秋田市雄和石田字蟹沢40	http://yahoo.jp/w9XXoi	○		○			○	182人（3㎡あたり1人）	3台
297	雄和中学校（体育館）	雄和	秋田県秋田市雄和石田字蟹沢40	http://yahoo.jp/Qu5aDM	○		○			○	470人（3㎡あたり1人）	2台
298	雄和花の森野球場	雄和	秋田県秋田市雄和石田字蟹沢39	http://yahoo.jp/c2MVly	○		○				6,920人（2㎡あたり1人）	
299	秋田なまはげ農業協同組合雄和支店駐車場	雄和	秋田県秋田市雄和石田字中大部3	https://yahoo.jp/ChxJbr		○	○				2,890人（2㎡あたり1人）	
300	雄和市民サービスセンター	雄和	秋田県秋田市雄和妙法字上大部48-1	http://yahoo.jp/aIEzLO		○	○			○	280人（3㎡あたり1人）	2台
301	雄和ふれあいプラザ敷地（一部）	雄和	秋田県秋田市雄和妙法字上大部46、47-2	http://yahoo.jp/IL7bny		○	○				1,269人（2㎡あたり1人）	
302	雄和体育館	雄和	秋田県秋田市雄和妙法字上大部95-1	http://yahoo.jp/Pc7pTZ		○	○			○	364人（3㎡あたり1人）	2台
303	旧川添小学校グラウンド	雄和	秋田県秋田市雄和椿川字長者屋敷36-1	http://yahoo.jp/6mSEVO	○	○	○				9,055人（2㎡あたり1人）	

No	施設・場所名	地区	住所	案内図	対象となる異常な現象の種類					指定避難所との重複	想定収容人数	※特設公衆電話設置台数
					洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	津波	大規模な火事			
304	旧川添小学校（体育館）	雄和	秋田県秋田市雄和椿川字長者屋敷36-1	http://yahoo.jp/-FJOjh	○	○	○			○	237人（3㎡あたり1人）	1台
305	長者やま荘（雄和地区北部ｺﾐｭﾆﾃｨ施設）	雄和	秋田県秋田市雄和椿川字長者屋敷38-1	http://yahoo.jp/lXJJjs	○	○	○			○	113人（3㎡あたり1人）	1台
306	雄和サイクリングターミナル	雄和	秋田県秋田市雄和椿川字奥椿岱145-2	http://yahoo.jp/I9c2kf	○	○	○			○	151人（3㎡あたり1人）	1台
307	秋田県立中央公園	雄和	秋田県秋田市雄和椿川字駒坂台4-1	https://yahoo.jp/TF2KOq	○	○	○				38,500人（2㎡あたり1人）	
308	秋田県農業試験場駐車場第1駐車場	雄和	秋田県秋田市雄和相川字源八沢34-1	http://yahoo.jp/_yg3rX	○	○	○	○			津波2,240人（1㎡あたり1人） 津波以外1,120人（2㎡あたり1人）	
309	旧種平小学校グラウンド	雄和	秋田県秋田市雄和種沢字戸草沢209	http://yahoo.jp/Fujeqk		○	○				4,875人（2㎡あたり1人）	
310	旧種平小学校（体育館）	雄和	秋田県秋田市雄和種沢字戸草沢209	http://yahoo.jp/3-g11V		○	○			○	237人（3㎡あたり1人）	1台
311	旧戸米川小学校グラウンド	雄和	秋田県秋田市雄和戸賀沢字金山沢20	http://yahoo.jp/Sglqj7	○	○	○				9,745人（2㎡あたり1人）	
312	旧大正寺小学校グラウンド	雄和	秋田県秋田市雄和新波字寺沢32-8	http://yahoo.jp/gKWWh3	○		○				10,200人（2㎡あたり1人）	
313	旧大正寺小学校（体育館）	雄和	秋田県秋田市雄和新波字寺沢32-8	http://yahoo.jp/GIgc0A	○		○			○	288人（3㎡あたり1人）	1台
314	雄和新波野球場	雄和	秋田県秋田市雄和新波字寺沢31-1	http://yahoo.jp/fJEgwj	○	○	○				5,755人（2㎡あたり1人）	
315	竹の花公園	雄和	秋田県秋田市雄和新波字清水木233	http://yahoo.jp/4eRFkQ	○	○	○				2,500人（2㎡あたり1人）	
316	雄和基幹集落センター（大正寺連絡所）	雄和	秋田県秋田市雄和新波字樋口62-2	http://yahoo.jp/plxZsr		○	○			○	154人（3㎡あたり1人）	1台
317	秋田なまはげ農業協同組合大正寺資材倉庫駐車場	雄和	秋田県秋田市雄和新波字本屋敷1-1	https://yahoo.jp/x9k_1b		○	○				1,000人（2㎡あたり1人）	
318	雄和南体育館	雄和	秋田県秋田市雄和神ヶ村字陳笠259	http://yahoo.jp/ZiD4N7		○	○			○	263人（3㎡あたり1人）	1台

※「特設公衆電話」 災害発生時寺等の緊急時に避難場所に設置され、通話料無料で利用される電話です。

５　津波警報サイレン吹鳴装置

設　置　場　所	設置年月日	出　力・種　別
秋田市向浜一丁目13-1	Ｓ59．６．25 （H24.3.23改修）	240W　電子サイレン 7.5ＫＷモーターサイレン
秋田市新屋栗田町地内	Ｓ59．６．25 （H24.3.23改修）	120W　電子サイレン 7.5ＫＷモーターサイレン
秋田市下浜長浜字荒郷屋61	Ｓ59．６．25 （H24.3.23改修）	120W　電子サイレン 7.5ＫＷモーターサイレン
秋田市飯島字堀川118	H8．3．22 （H24.3.23改修）	240W　電子サイレン 3.7ＫＷモーターサイレン
秋田市土崎港相染町字大浜9-1	H24．10．19 （新　設）	240W　電子サイレン 3.7ＫＷモーターサイレン
秋田市新屋字天秤野148	H24．10．19 （新　設）	240W　電子サイレン 2.2ＫＷモーターサイレン
秋田市浜田字境川53番地	H24．10．19 （新　設）	240W　電子サイレン 3.7ＫＷモーターサイレン
秋田市飯島穀丁210-4	H28．５．31 （新　設）	200W　電子サイレン 3.7ＫＷ　モーターサイレン

※他の目的で設置したが、津波警報発令時に連動・吹鳴できるサイレンとして、土崎消防署、秋田市役所、下浜羽川の３ヶ所がある。

秋 田 市 緊 急 救 援 物 資 備 蓄 状 況(H31年4月1日現在)

品目＼場所	本庁舎	八橋小学校	中通小学校	保戸野コミュニティセンター	城東中学校	東部市民サービスセンター	アルヴェ(プラザ管理室)	河辺市民サービスセンター	西部市民サービスセンター	御野場中学校	南部市民サービスセンター	南部市民ＳＣ別館	雄和市民サービスセンター	大正寺連絡所	北部市民サービスセンター	港北小学校	旧八田小学校	総合環境センター	その他(コミセン等)	合計
パン缶	6,581 食	1,296 食	1,632 食	1,032 食		1,728 食	360 食	840 食	2,760 食		1,056 食	1,800 食	1,200 食		1,272 食	3,672 食			240 食	25,469 食
アルファ化米(白飯)	550 食	50 食	100 食	100 食	400 食	650 食		450 食	1,700 食	100 食	550 食	100 食	150 食	50 食	950 食	350 食				6,250 食
アルファ化米(わかめ・味付)	924 食	200 食	250 食	250 食	150 食	550 食		200 食	250 食	100 食	500 食	100 食	200 食	50 食	700 食	350 食				4,774 食
おかゆ	2,759 食					500 食			800 食		884 食	240 食	168 食		720 食	960 食				7,031 食
飲料水	1,255 ℓ	7,152 ℓ	1,428 ℓ	1,200 ℓ	3,252 ℓ	2,388 ℓ	3,072 ℓ	6,108 ℓ	2,604 ℓ	3,000 ℓ	2,652 ℓ	720 ℓ	600 ℓ	324 ℓ	2,976 ℓ	3,720 ℓ		1,080 ℓ	300 ℓ	43,831 ℓ
粉ミルク	2,600 g					2,600 g			2,600 g		2,600 g				2,600 g					13,000 g
ほ乳瓶				195 個																195 個
毛布	272 枚	530 枚	380 枚	562 枚	1,014 枚	300 枚	120 枚	269 枚	284 枚	510 枚	282 枚	344 枚	907 枚	125 枚	526 枚	740 枚	1,380 枚	840 枚	334 枚	9,719 枚
石油ストーブ	12 台	14 台	5 台	3 台	10 台		8 台	1 台	2 台	6 台	10 台				11 台	16 台			100 台	198 台
簡易トイレ(和式)		2 台	3 台		4 台			1 台		2 台						5 台		3 台		20 台
簡易トイレ(洋式)			1 台		1 台					1 台					2 台	3 台		2 台		10 台
排便処理袋	2,000 枚	1,000 枚	1,000 枚	1,000 枚	1,000 枚	2,000 枚		1,000 枚	1,000 枚	1,000 枚	2,000 枚	1,400 枚	2,000 枚	400 枚	2,000 枚	1,000 枚	2,000 枚	4,600 枚		26,400 枚
トイレットペーパー		1,200 巻	1,520 巻	2,850 巻	3,160 巻			1,060 巻	1,400 巻	1,440 巻	1,520 巻		400 巻		400 巻	2,880 巻				17,830 巻
紙おむつ(大人用)				486 枚					216 枚		324 枚					1,026 枚				2,052 枚
紙おむつ(子ども用)	528 枚			1,776 枚		292 枚			292 枚		292 枚	292 枚			292 枚					3,764 枚
生理用品	1,256 枚			3,640 枚		628 枚			628 枚		628 枚				628 枚					7,408 枚
自家発電機																			100 台	100 台
投光器																			100 台	100 台
コードリール				1 台															100 台	101 台
燃料タンク				48 個															100 個	148 個
タオル	1,048 枚	3,000 枚	2,550 枚	960 枚	3,850 枚	1,480 枚	100 枚	300 枚	2,500 枚	2,830 枚	2,560 枚		500 枚		1,200 枚	3,100 枚				25,978 枚
医薬品セット	2	3 個		3 個		3 個		1 個	3 個	2 個	1 個	1 個	1 個		4 個					24 個

秋　田　市　災　害　年　表

西　暦	年　号	種　別	記　事
１９２７	昭和２年	火　災	4月3日土崎港下酒田町西裏俗称八軒町から出火、東風にあおられ永覚町･古川町･上酒田町のほか第1波止場、第2波止場に燃え広がり、住家83戸79棟、非住家46棟を全焼、被害額は33万円
１９２７	昭和２年	火　災	6月24日土崎港愛宕町から出火、新城町･川反町･上酒田町･下酒田町に燃え広がり、住家203戸194棟、非住家45棟を全焼し、被害額は49万円、出火当時秋田では7.5mの風が吹いており、湿度50%､晴天が7日も続いていたので、火災の発生しやすい状態となっていた。
１９２７	昭和２年	火　災	12月7日土崎港肴町から出火、住家49戸、非住家9棟全焼
１９２８	昭和３年	異常乾燥 火　災	7月18日から8月20日まで雨が全くなく、無降水継続日数が34日となり、観測開始以来の記録となった。18日秋田市常盤町飲食店喜楽から出火した火は、常盤町の遊郭ほか鉄砲町･花立町の住家180戸164棟全焼、破損15戸、死者1人、傷者10人を出す大火となり、また18日から21日まで県内に6件の山林火災が発生した。
１９３０	昭和５年	異常乾燥 火　災	4月12日から18日まで雨がなく17日日中は湿度が42%まで下がり、10mの西風が吹き大火の発生しやすい状況であった｡18日牛島町で大火が発生し、住家97戸、非住家10棟焼失
１９３１	昭和６年	火　災	5月15日秋田市牛島橋通りから出火、追廻･下浜･川口･川尻に燃え移り、住家311戸、345世帯、非住家87棟、半焼住家4戸、非住家3棟、破壊住家2戸をだし、翌16日ようやく刑務所付近で消し止められた。秋田市は11日以降5日間雨がなく、湿度は14日29%、15日38%まで下がり、出火当日は61%で異常乾燥の状態であった。
１９３７	昭和１２年	洪　水	8月30日浸水家屋3,000戸
１９３９	昭和１４年	（地震）	5月1日14時58分男鹿半島を中心とする強い地震が発生した｡震源の深さは約10kmで土崎では27cmの小津波も観測された。また有感の余震は1日28回、2日11回あった。 (男鹿地震)
１９４５	昭和２０年	火　災	(1回目)4月16日秋田市保戸野本町で住家14棟を全焼 (2回目)常盤町で住家96棟全焼、死者2人
１９４５	昭和２０年	空　襲	8月14日土崎港日石株式会社秋田製油所、B29延130機により空襲され、同製油所および社宅104棟全焼、半焼社宅6棟、全壊12棟、半壊13棟、死者70人、傷者80人
１９４５	昭和２０年	火　災	8月17日高清水国民学校全焼
１９４５	昭和２０年	火　災	12月5日県立秋田中学校全焼
１９４６	昭和２１年	火　災	2月24日秋田国民学校全焼

西　　暦	年　　号	種　　別	記　　事
１９４６	昭和２１年	火　　災	3月25日土崎第二国民学校焼失
１９４６	昭和２１年	火　　災	2月25日中通小学校焼失
１９４７	昭和２２年	火　　災	4月27日県立秋田女子医学専門学校焼失
１９４７	昭和２２年	火　　災	11月12日秋田刑務所で工場､舎房11棟焼失
１９５０	昭和２５年	火　　災	3月29日秋田市保戸野八丁から出火、82棟86世帯を全焼、損害5,633万円
１９５０	昭和２５年	火　　災	5月15日外旭川小学校焼失
１９５４	昭和２９年	台　　風	9月26日早朝、台風15号は14時から15時にかけて秋田県の西方200kmの海上を通過｡12時ころ15m以上の風が吹き始め、15時から20m以上の暴風となり、16時57分最大瞬間風速30.7m(観測開始以来第2位の記録)、17時最大瞬間風速42.7m(観測開始以来第1位の記録)を記録した。その後も20m以上の暴風が21時まで続いた。函館港に仮泊していた洞爺丸を含む青函連絡船5隻が遭難し、多数の人命が失われた｡秋田市では､被害死者1人、重傷3人、軽傷2人、住家全壊8棟、半壊11棟、非住家全壊31棟、壊55棟　(洞爺丸台風)
１９５５	昭和３０年	洪　　水	6月25日から26日にかけて、総雨量300mmに達する豪雨があり旭川、太平川が増水した。家屋全壊1棟床上浸水1,139棟、床下浸水1,355棟のほか、農作物、公共施設に大きな被害を受けた｡(災害救助法適用)
１９５６	昭和３１年	火　　災	1月25日敬愛高校男子部校舎全焼
１９５６	昭和３１年	火　　災	2月12日日新中学校から出火、同校舎３棟1,396㎡を全焼
１９５６	昭和３１年	火　　災	4月28日川反二丁目焼失家屋8棟1,239万円
１９５６	昭和３１年	火　　災	5月2日田中字田中焼失家屋11棟1,156万円
１９５６	昭和３１年	洪　　水	8月5日から8日にかけて長雨があり、総雨量は186mmとなった。死傷者4人、床上浸水183棟、床下浸水592棟のほか田畑に被害を受けた。
１９５６	昭和３１年	火　　災	9月10日近火により土崎中学校類焼(強風下)
１９５６	昭和３１年	放射能雨	9月17日夜降った雨の中から、16,500cpm/tの観測開始以来最大の放射能雨となった｡(秋田市)
１９５７	昭和３２年	連続放火	5月25日13件の放火事件、長野下新町南丁倉庫事務室等462㎡全焼、翌26日12件の放火事件あり、犯人逮捕、6月2日犯行自供
１９５７	昭和３２年	干　　天	6月上旬から降雨がなく、6月の月間雨量は39.2mm　これにより上水道の給水を制限し、また、500世帯にトラック給水を実施した。
１９５７	昭和３２年	火　　災	8月12日秋田県庁庁舎全焼、損害1億6,710万円
１９５８	昭和３３年	暴 風 雪	1月22日秋田市で最大瞬間風速31.7mの暴風雪となり各所で停電した。

西　暦	年　号	種　別	記　事
１９５８	昭和３３年	火　災	5月23日楢山愛宕下住家全焼8棟、半焼2棟 (火災警報発令中)
１９５９	昭和３４年	大　雨	7月10日県下全域に豪雨があり、市内で堤防決壊、橋の流出が29ヵ所、家屋半壊1棟、床上浸水116棟床下浸水322棟の被害を受けたほか、農地にも多数の被害を受けた。
１９５９	昭和３４年	竜　巻	9月12日秋田市に発生、築山小学校屋根2か所吹き飛ばされた。
１９５９	昭和３４年	台　風	9月27日の台風で秋田市は全市停電し、列車･貨車の運休は20本に上った。(伊勢湾台風)
１９６１	昭和３６年	大　雪	2月3日夕方から4日早朝にかけ秋田市を中心とする海岸部に大雪が降り、交通機関が大混乱し、列車は24本680両が運休した。
１９６１	昭和３６年	火　災 (爆発)	12月14日川尻川口境、東部ガス秋田事業所のガス機械室のガス圧入器が爆発し、ガスに引火したため、同社のガス供給は、約3日全面的にストップした。
１９６３	昭和３８年	竜　巻	1月31日2時半ころ秋田市に発生、2戸が屋根を吹き飛ばされたうえ、建物の一部が壊された。
１９６３	昭和３８年	火　災	3月20日浜田滝ノ下から出火、住家8棟、非住家6棟が全焼、8世帯42人が焼け出された。
１９６４	昭和３９年	(地震)	6月16日13時2分7秒、新潟沖を震源とする強い地震があった。県内各地の損害は、死者5人、傷者30人のほか、住家の全壊13戸、半壊147戸、一部破損4,196戸、床上浸水8戸、床下浸水129戸、非住家1,862棟等生活基盤施設をはじめ各部門にわたり11億7,549万円余りの被害が出た。 (新潟地震)
１９６４	昭和３９年	集中豪雨	8月12日午後から13日にかけて、県中央部と県北の一部に集中豪雨があり、秋田市で一時間雨量72.4mmを観測し、このため傷者2人、住家全壊13戸、半壊14戸、床上浸水456戸、床下浸水2,998戸、非住家19棟のほか、水道、農業、林業、土地改良、土木など合わせて11億8,436万円余りの損害が出た。(災害救助法適用)
１９６５	昭和４０年	雪　害	1月9日秋田市大町の貸しガレージが倒壊、14台の乗用車が被害にあった。
１９６５	昭和４０年	山林火災	5月2日秋田市上北手猿田字寺ノ沢で山林火災が発生、約30haを焼いて消し止めた。この火事で死者1名を出した。
１９６５	昭和４０年	火　災	6月11日秋田市外旭川沖神田から出火、住家17棟17世帯、非住家12棟全焼した。
１９６６	昭和４１年	火　災	1月11日山王中学校校舎1棟を残し7棟を焼失(6,528㎡)被害9,108万円

西　　暦	年　　号	種　　別	記　　事
１９６６	昭和４１年	梅雨前線大雨	7月15日早朝から18日にかけて県中央部と県北の一部を襲った豪雨は、16日正午現在、藤琴186mm、太平山181mm、秋田市中央部115mmを記録した。このため旭川、岩見川等県中央部の中小河川が氾濫し、特に秋田市手形からみでん、泉地区では床上浸水184戸、床下浸水371戸
１９６６	昭和４１年	台　　風	9月10日秋田市で最大瞬間風速27.5mを記録。そのため7,000戸が停電した。
１９６７	昭和４２年	火　　災	3月18日秋田市立高校教員室付近から出火し、同校舎4,801㎡を全焼した。損害は5,868万円
１９６７	昭和４２年	火　　災	4月19日秋田市旭南三丁目本山商事菓子工場全焼、損害1,259万円
１９６７	昭和４２年	火　　災	10月28日秋田市太平山谷から出火、空気が乾燥していたのと折からの12～13mの強風にあおられ部落中心部の住家8棟、非住家15棟が全焼、また、太平農協山谷支所が全焼、保管中の米5,000俵が焼失した。
１９６８	昭和４３年	火　　災	9月10日秋田東中学校で1棟8教室1,257㎡焼失、損害は、1,600万円
１９６９	昭和４４年	水　　害	7月28日から8月5日まで大雨が続き、床上浸水15棟、床下浸水408棟、田畑冠水241ha
１９６９	昭和４４年	水　　害	8月23日から27日にかけて台風9号の影響による大雨が続き、床上浸水2棟、床下浸水329棟
１９６９	昭和４４年	水　　害	9月6日、この年3回目の大雨となり、家屋半壊1棟床上浸水9棟、床下浸水456棟
１９７０	昭和４５年	暴風雨	台風なみに発達した低気圧により1月30日から風を伴う雨が降り、2月1日午前9時までの降水量は44m、最大瞬間風速は33.8mを記録した。家屋一部破損6棟、床上浸水6棟、床下浸水55棟
１９７０	昭和４５年	火　　災	3月5日秋田駅前市場協同組合全焼、傷者3名、損害1億4,926万円
１９７０	昭和４５年	火　　災	3月10日秋田母子寮と同保育所が全焼、死者2名、29世帯被災、損害1,007万円
１９７０	昭和４５年	火　　災	5月12日秋田市立秋田南中学校校舎北側から出火、校舎2棟、住家7棟10世帯を焼失、損害3,503万円
１９７１	昭和４６年	火　　災	8月29日秋田市旭南三丁目から出火、アパート1棟を含む住家など15棟を全半焼、19世帯被災、損害1,728万円
１９７１	昭和４６年	火　　災	9月11日中通二丁目小野時計店から出火、焼損面積766㎡、損害9,344万円
１９７２	昭和４７年	火　　災	4月13日千秋久保田町パチンコ店等火災 、全焼2棟損害6,075万円
１９７３	昭和４８年	火　　災	1月30日秋田市茨島六丁目の住家から出火、住家1棟を半焼し、この火災で母子3人が一酸化炭素中毒により死亡

西　暦	年　号	種　別	記　事
１９７４	昭和４９年	豪　雪	断続的に短期間集中的に降った里雪型の豪雪であったため、除･排雪に難渋し、屋根の降雪作業等による人身事故が数多く発生した。死者13人、傷者29人、家屋の倒壊、浸水等503棟のほか果樹を中心とした農業、造林木、造山施設の林業、土木公共施設など合わせて158億5,161万円という甚大な被害となった。
１９７４	昭和４９年	豪　雪	1月25日豪雪、市内交通マヒ、奥羽本線不通、国道7号線寸断
１９７４	昭和４９年	豪　雪	2月9日積雪記録、秋田市で117㎝(過去30年間の最高記録)
１９７４	昭和４９年	豪　雪	2月12日太平中学校の体育館倒壊
１９７５	昭和５０年	火　災	4月23日南通亀の町日活映画劇場1,053㎡焼失死者1人
１９７６	昭和５１年	火　災	1月21日秋田市土崎港南二丁目東北製綱株式会社工場から出火、工場3,016㎡全焼
１９７６	昭和５１年	火　災	2月5日秋田市茨島一丁目株式会社秋田林産製材工場1棟2,180㎡全焼
１９７６	昭和５１年	（火災）	(10月29日酒田市大火)
１９７７	昭和５２年	火　災	2月25日秋田市泉字道田の住家から出火、住家1棟を全焼、この火事で家族3人が一酸化炭素中毒により死亡した。原因は電気こたつ
１９７７	昭和５２年	連続放火 （内訳）	11月23日連続放火犯逮捕される。 4月10日　住家46㎡､作業場23㎡全焼(明田) 6月22日　秋大サークル棟1,448㎡全焼(手形) 7月 9日　勝平神社27㎡(新屋･砂妙寄) 8月31日　住家100㎡(太平･八田) 9月30日　稲荷神社49.5㎡(新藤田) 10月 4日　原木400本(新屋･砂妙寄) 10月 5日　熊野神社83㎡(泉) 11月 8日　墓石鞘堂3.3㎡(手形)
１９７９	昭和５４年	大　雨	6月18日から19日にかけてオホ-ツク海低気圧から南西にのびる前線の活動により、県中央部を中心に大雨となり、18日秋田市における日降水量は88.0㎜に達し、秋田気象台観測以来第4位の記録となった｡このため秋田市で住家の全壊1戸、床下浸水58戸のほか、水稲、農業用施設および土木関係等合わせて7億3,040万円の被害がでた。
１９７９	昭和５４年	大　雨	6月26日から28日にかけて、北上した梅雨前線の活動と、日本海を北東進した低気圧の影響により全県的に大雨となり、大雨洪水警報が発表された｡26日の降水量は県内各地とも50㎜以上となり、秋田市下新城小学校では浸水等のため27日から29日の間、臨時休校となった。

西　暦	年　号	種　別	記　事
１９７９	昭和５４年	大　雨	7月8日樺太から日本海北部にのびる寒冷前線と日本海に発生した低気圧により大気が不安定となり、大雨洪水警報が発表され山沿い地方で大雨となった。
１９７９	昭和５４年	大　雨	7月23日梅雨前線が東北地方に停滞し、また、日本海低気圧が東進して活動したため、県中央部と北部で大雨となり、8日の日降水量は太平山で141mm、秋田市でも120mm以上を記録し、市の中心部を流れる太平川は増水し警戒水位を超えた。このため、秋田市を中心に住家の床上浸水55棟、床下浸水672棟のほか、農業用施設、林業、土木関係等を合わせて3億7,267万円余りの被害がでた。
１９８３	昭和５８年	地　震	5月26日午後0時ころ、能代沖を震源とするM7.7の地震が発生し、秋田市で震度5を記録した。沿岸部には津波が押し寄せた。死者3人、重軽傷者53人、住家全壊35棟、半壊270棟、一部破損691棟のほか公共施設等に大きな被害を与えた。（日本海中部地震）（災害救助法適用）
１９８４	昭和５９年	雪　害	3月1日秋田駅前繁華街緑屋デパートのアーケードが積雪の重みで倒壊する。下敷者1人救助
１９８５	昭和６０年	火　災（放火）	8月20日秋田市旭南三丁目田原木材株式会社から出火、住家6棟非住家9棟が被災し、1,824㎡を焼失した。この火災により9世帯20人がり災し、1億561万円余りの被害がでた。
１９８５	昭和６０年	大　雨	9月10日夜半から明け方にかけて、総雨量が所により150mmを超えるおそれがあるため大雨洪水警報が発令された。降雨量は、秋田市で117mmを記録。住家床上浸水139棟、床下浸水289棟、ほかに田畑等にも被害が及んだ。
１９８７	昭和６２年	大　雨	8月16日夜半から明け方にかけて、降雨量が150mmを超えるおそれがあるため大雨洪水警報が発令された。夜明け前から床上浸水等の被害が出始め被害が甚大となってきたため、17日12時秋田市集中豪雨災害対策本部を設置した。住家床上浸水186棟、床下浸水402棟、ほかに農林業、土木関係等合わせて18億5,944万円余りの被害がでた。 8月16･17日降り始めからの総雨量(ピーク時) 市街地　128mm(8月17日　4:00～5:00　52mm) 仁　別　166mm(8月16日　21:00～22:00　48mm)
１９８８	昭和６３年	火　災	8月23日秋田市大町六丁目(横町商店街)から出火、密集した飲食店、店舗併用住宅等4棟全焼のほか3棟を一部焼損、焼失面積1,214㎡、損害7,407万円余り
１９９０	平成２年	火　災	７月９日午前3時15分ころ、時限発火装置を使用した放火により秋田県護国神社から出火し社殿など３棟、434㎡を焼失した。損害額4,317万円
１９９１	平成３年	台　風	9月28日早朝4時ころ、台風19号は秋田市の西約240kmの海上を通過。27日夜半過ぎから南よりの強風が吹き始め、28日5時ころから8時前にかけて県内の所々で20m以上の強

西　暦	年　号	種　別	記　事
			風が吹き荒れ、秋田市では最大風速25.6m、28日5時59分最大瞬間風速51.4m(観測開始以来第1位の記録)を記録、秋の収穫前の果樹等農作物や農業用施設に大きな被害をもたらした。また、台風の接近に伴い27日夜半過ぎから28日朝にかけ、フェーン現象となり、秋田市での気温は31.5℃となった。秋田市の被害は死者1人、重傷4人、軽傷5人、住家全壊1棟、半壊3棟、一部破損1,309棟、非住家全壊40棟、半壊21棟、一部破損1,351棟、農業関係約5億円、林産関係約5.8億円、被害総額約22億円
１９９３	平成５年	火　災	1月22日秋田市飯島鼠田三丁目の住家から出火し、住家1棟を全焼した。この火災で家族3人が一酸化炭素中毒等により死亡した。
１９９４	平成６年	火　災	12月18日から19日にかけての未明、秋田市川元小川町富士製粉産業株式会社から出火、作業場兼倉庫1棟を全焼、焼失面積1,078㎡、損害2億3,725万円
１９９６	平成８年	火　災	12月22日秋田港内を航行中の油タンカー(第2金洋丸2,998ｔ)が落雷により爆発炎上し行方不明者1人が発生した。　損害額は8,232万円
１９９８	平成１０年	大　雨	6月26日夜半から明け方にかけて、総雨量が所により150mmを超えるおそれがあるため大雨洪水警報が発令された。降雨量は、秋田市で188mmを記録。住家床上浸水4棟、床下浸水72棟、ほかに農林業、土木関係等合わせて2億5,441万円余りの被害がでた。
２００１	平成１３年	大　雨	7月31日未明からの雨が昼ころにかけて強まり、総雨量が所により150mmを超えるおそれがあるため大雨洪水警報が発令された。住家床上浸水5棟、床下浸水19棟、ほかに農林業、土木関係等合わせて2億3,676万円余りの被害がでた。太平八田地区4世帯に避難勧告 降り始めからの総雨量(ピーク時) 市街地　38mm(7月31日　4:00～5:00　12mm) 仁　別　131mm(7月31日　9:00～10:00　48mm)
２００２	平成１４年	薬品漏出	6月28日午後6時過ぎ秋田製錬飯島製錬所から発煙硫酸が漏出、秋田市では午後8時50分に秋田市災害警戒対策部を設置して対応
２００２	平成１４年	大　雨	8月11日未明から12日にかけて、東北北部に停滞する前線が活発となり、総雨量が所により150mmを超えるおそれがあるため大雨洪水警報が発令された。朝方から床上浸水等の被害が出始め被害が甚大となってきたため、12日午後7時30分に秋田市災害警戒対策部を設置した。住家床上浸水62棟、床下浸水397棟、ほかに農林業、土木関係等合わせて3億894万円余の被害がでた。広面地区、楢山地区約120世帯に避難勧告

西　　暦	年　　号	種　　別	記　　事
２００２	平成１４年	火　　災	9月9日秋田市土崎港中央一丁目の寺院から出火し、同寺院を半焼したほか2棟を一部焼損した。 焼失面積1,062㎡、損害額5,655万円
２００３	平成１５年	薬品漏出	8月5日午後2時過ぎ日本メッキ(株)の塩酸タンクが破裂し、塩酸が漏出、秋田市では午後3時に秋田市災害警戒対策部を設置して対応
２００４	平成１６年	タンク爆発	6月8日午前11時過ぎ(株)ジェムコのフッ素入りタンク(直径95cm×高さ100cm)が爆発し、1人死亡、3人負傷 有機フッ素化合物製造施設の配管から希水フッ素が漏れ、改修作業中に爆発したもの、同日午後2時23分に消防本部から安全宣言
２００４	平成１６年	台　　風	8月19日夜半から20日にかけ、台風15号の接近と前線が東北地方に停滞したため、暴風･波浪警報、高潮警報が発表され、秋田市では最大風速23.2m、最大瞬間風速41.1mを記録、20日午後5時30分に秋田市災害警戒対策室を設置した｡秋田市の被害は軽傷者5人、住家一部破損89戸、非住家半壊以上10件、塀の倒壊7か所、文教施設被害3か所、病院施設被害1か所、道路冠水2か所、倒木等90か所、電線スパーク18か所、パイプハウス被害70棟、船舶被害2隻、市内全戸のうち半数近くが停電した。
２００４	平成１６年	台　　風	8月30日夜半から31日にかけて大型台風16号が接近した。接近とともに風雨が強まり、暴風･波浪警報、大雨･洪水警報が発表され、秋田市では最大風速21.3m、最大瞬間風速37.2mを記録、31日午前8時55分に秋田市災害警戒対策室を設置した。秋田市の被害は、軽傷者1人、住家一部破損16戸、塀の倒壊5か所、文教施設被害8か所、道路冠水7か所、倒木等17か所、電線スパーク6か所、パイプハウス被害2棟、看板落下･破損10か所、市内で約26,900戸が停電した。
２００４	平成１６年	台　　風	9月8日早朝にかけ秋田県沖を通過する台風18号にともない、暴風、波浪警報が発表され、秋田市では最大風速19.9m、最大瞬間風速33.8mを記録、7日午後11時00分に秋田市災害警戒対策室を設置した。秋田市の被害は、住家一部破損8戸、塀の倒壊2か所、文教施設被害1か所、倒木等5か所、パイプハウス被害10棟。新屋地区で約2,260戸が停電した。
２００４	平成１６年	台　　風	9月29日昼ころから雨が降り始め、30日にかけて台風21号の接近にともない風雨が強まり、大雨･洪水･暴風警報が発表され、秋田市では最大風速15.0m、最大瞬間風速28.0mを記録、秋田市の被害は、住家一部破損2棟、非住家一部破損1棟、道路冠水12か所、土砂崩落1か所、倒木等4か所、看板落下･破損2か所

西　　暦	年　　号	種　　別	記　　事
２００５	平成１７年	火　　災	3月14日午後1時05分ころに日本大昭和板紙東北(株)敷地内で、カットタイヤの貯蔵庫から出火、3月25日午後2時00分に鎮火するまで、カットタイヤ約180ｔが焼損、消防職員延べ1,221人、消防車両延べ342台が出動した。
２００５	平成１７年	雪　　害	平成18年豪雪 12月上旬から1月上旬にかけて日本各地で低温となり、日本海側を中心に暴風を伴った大雪となった。秋田市では交通網の麻痺や除排雪に難渋し、降雪作業等による人身事故が数多く発生した。死亡5人、重軽傷55人、家屋等の損壊、倒木、農産関係被害等の被害は甚大であった。市職員による独居老人宅の雪寄せは延べ1,409人が実施した。 17年12月24日　秋田市雪害対策本部設置　(10:00) 18年 1月 5日　秋田市災害対策本部設置　(9:30) 1月9～11日　自衛隊災害派遣（除雪数111件） 1月31日　秋田市災害対策本部廃止　(12:00) 秋田市雪害警戒対策部に切り替え 2月28日　秋田市雪害警戒対策部廃止（12:00）
２００６	平成１８年	大　　雨	7月2日朝方から断続的に強い雨が降り、総雨量が所により150㎜を超えるおそれがあるため大雨洪水警報が発令された。3日朝方から床下浸水等の被害が発生したことから、3日午前11時に秋田市災害警戒対策室を設置した。住家床上浸水1棟、床下浸水38棟、道路冠水38か所、水田埋没・冠水357.4ha、畑冠水42ha の被害が出た。仁別では3日の降水量が観測開始以来最大の216㎜を記録した。
２００６	平成１８年	火　　災	5月19日秋田市仁井田地内の住宅から出火、住家１棟を全焼、家族4人が死亡した。また、11月28日秋田市雄和椿川地内の住家から出火した火災では家族2人が死亡した。秋田市における火災発生件数は過去最少の79件であったが火災による死者数は過去最多の11人を記録した。
２００７	平成１９年	大　　雨	9月17日未明、台風11号から変わった温帯低気圧から、暖かく湿った空気が東北北部に停滞する前線に流れ込み、広い範囲で大雨となり午前4時30分大雨洪水警報が発令された。朝方から床下浸水等の被害が発生したことから、午前7時50分に秋田市災害警戒対策室を設置した。さらに床上浸水、崖崩れ等被害が甚大となってきたため、午後4時10分には秋田市災害警戒対策部に切り替えた。17日は秋田市で９月期最大24時間降水量135.5㎜を観測し全年を通して1位(統計開始：1971年)住家床上浸水21棟、床下浸水132棟、道路冠水78か所、土砂崩れ26か所、ほかに農林業、土木関係等合わせて2億1500万円余りの被害がでた。下新城地区、雄和女米木地区約300世帯に避難勧告
２００７	平成１９年	火　　災	12月22日秋田市八橋地内の住宅から出火、住家１棟を全焼、住居者４人が死亡した。

西　　暦	年　　号	種　　別	記　　事
２００９	平成２１年	飛翔体	3月12日国際海事機関（IMO）から、日本を含むIMO加盟国に対し、北朝鮮当局からIMOに対する「試験通信衛星」の打ち上げのための事前通告があった旨の連絡があった。北朝鮮は、4月4日から8日までの毎日11時から16時まで（日本時間）、日本海（秋田県沖）および太平洋の一部に危険区域を設定した。このため3月16日に秋田市飛翔体情報連絡室を設置し、3月31日には秋田市災害警戒対策部へと移行し警戒にあたった。4月5日に北朝鮮が発射した飛翔体が本県上空を通過し、被害が確認されなかったことから翌日に警戒態勢を解いた。
２００９	平成２１年	大　　雨	7月9日から降り続いた大雨により新城川が増水したことから、10日午前6時20分に秋田市災害警戒対策部を設置した。下新城地区165世帯に避難勧告を発令した。
２００９	平成２１年	大　　雨	7月18日朝から降り続いた大雨により市内各河川が増水し、18日午後8時55分に秋田市災害警戒対策部を設置した。この大雨により、住家床上浸水4棟、床下浸水32棟、道路冠水21か所等の被害が発生した。下新城地区165世帯、金足片田字待入･深田地区62世帯に避難勧告を発令
２００９	平成２１年	台　　風	大型の台風18号が強い勢力を維持しながら10月8日深夜から9日朝にかけて秋田県に最も接近するため、暴風・波浪警報が発表され、秋田市では8日午前10時30分秋田市災害警戒対策部を設置した。この台風により、市内の小中学校は一斉休校、美術短大附属高等学院と御所野学院高校は一校時終了後下校、商業高校は三校時終了後下校の対応をとった。
２００９	平成２１年	大　　雨	11月4日夜から降り続いた大雨により、秋田市では5日午前10時30分秋田市災害警戒対策部を設置した。秋田市全域に土砂災害警戒情報が発表され、住家床上浸水1棟、床下浸水3棟、道路冠水13か所、道路法面崩れ2か所、土砂崩れ3か所の被害が発生した。太平地区の目長崎・中関・黒沢・寺庭の一部、下北手地区の寒川・宝川・通沢の一部、上北手大山田の一部、河辺地区の北野田高屋・和田・高岡・諸井の一部298世帯に避難勧告を発令した。
２０１０	平成２２年	大　　雨	7月29日から降り続いた雨により7月30日、午後12時40分に気象庁が秋田市河辺雄和地域に土砂災害警戒情報を発表、同時刻に秋田市災害警戒対策部を設置した。更に13時20分に秋田市全域に土砂災害警戒情報を発表した。 この大雨により床下浸水3棟、道路被害22箇所、土砂崩れ4箇所等の被害が発生した。
２０１０	平成２２年	大　　雨	8月14日から15日にかけて秋田市全域に大雨が発生 8月14日、14時に秋田市災害警戒対策部を設置 同日、15時25分に下新城5地区169世帯に対し、避難勧告を発令したほか、20時30分に雄和碇田地区47世帯に対

西　暦	年　号	種　別	記　事
			し避難勧告を発令した。 　この大雨により床上浸水6棟、床下浸水56棟、道路被害92箇所、土砂崩れ49箇所、農業用施設99箇所等の被害が発生した。
2　0　1　1	平成２３年	地　震	3月11日14時46分、三陸沖(北緯38度、東経142.9度）震源の深さ24km、地震の規模マグニチュード9.0（東日本大震災） 　秋田市の震度は、雄和妙法で震度5強、山王および河辺において震度5弱を観測 　同時刻に市長を本部長とする秋田市災害対策本部を設置した。被害状況は、地震直後に秋田市全域が停電、けが人5人(重傷1人、軽傷4人)、学校等の建物被害10件、その他、地盤沈下5箇所、水道断水および漏水被害が13箇所など。 　また、各避難所33箇所を開設し、最大時の避難者は15施設、約720人にのぼった。 　秋田県緊急消防援助隊として、秋田市消防本部は延べ47隊158人を岩手県宮古市に、延べ15隊42人を宮城県本吉郡南三陸町に派遣し活動にあたった。
2　0　1　1	平成２３年	地　震	4月7日23時32分、宮城県沖（北緯38.2度、東経142.0度）震源の深さ40km、地震の規模マグニチュード7.4 　秋田市の震度は、雄和妙法で震度5強、山王および河辺において震度4を観測 　同時刻に市長を本部長とする秋田市災害対策本部を設置、被害状況は、地震直後に秋田市全域で停電した。
2　0　1　1	平成２３年	大　雨	6月23日から24日にかけての大雨により、6月24日5時30分に秋田市災害警戒対策部を設置、同日5時40分、下新城地区164世帯に避難勧告を発令した。 　また、7時36分気象庁が河辺・雄和地域の全域に土砂災害警戒情報を発表、同日7時40分、雄和碇田地区46世帯に避難勧告を発令したほか、17時30分に下浜楢田上野地区33世帯、雄和地区女米木、下黒瀬、平沢の一部、石田、妙法の全部324世帯にも避難勧告を発令した。 　この大雨により床上浸水2棟、床下浸水13棟、土砂崩れ15箇所、農業用施設11箇所等の被害が出た。
2　0　1　2	平成２４年	火　災	1月20日　日本大昭和板紙株式会社秋田工場から出火、建物等を焼損した。損害額14,423千円
2　0　1　2	平成２４年	暴　風	4月3日、低気圧が急速に発達しながら日本海を進み、4日未明には東北地方北部を通過した。秋田市では3日から4日にかけて暴風が続き、けが人5人(重傷2人、軽傷3人)、屋根剥離等の住家一部損壊402件、半壊以上の非住家32件、道路への倒木等70ヶ所、ビニールハウス倒壊など農業関係で約2億1,200万円余りの被害がでたほか、市

西　　暦	年　　号	種　　別	記　　事
			内各所で最大35,491戸が停電した。 　また避難所1か所を開設し最大4世帯4人が避難した。
2　0　1　2	平成24年	火　　災	飯島地区において放火の疑いのある火災が連続して発生した。 　5月28日　農業用機械を覆っていた樹脂製シートを焼損 　6月 1日　工作物内に置かれた農業用機械を焼損 　6月 9日　農業資材を収納した納屋を焼損(4㎡)
2　0　1　2	平成24年	火　　災	8月 2日　東北電力(株)秋田火力発電所の3号機ボイラー建屋から出火、ボイラー等を焼損した。被害額35,121千円
2　0　1　2	平成24年	ガス中毒	7月10日午後4時半頃、秋田市総合環境センター内で溶融炉を点検作業中に一酸化炭素が発生し、作業員9人が中毒症状を発症し、救急車で搬送された。これに伴い17時40分、秋田市危機管理現地対策本部が設置された。
2　0　1　3	平成25年	火　　災	３月16日19時15分頃、秋田市向浜一丁目の県有雑種地に上架された船舶37艘のうち17艘が焼損した火災が発生した。被害額は8,532千円
2　0　1　3	平成25年	竜　　巻	11月7日午後5時頃、泉地区で竜巻が発生し、住家16箇所、非住家１箇所、事業所3箇所、工作物2箇所に物的被害が生じた。 　平成25年度は災害対策部、本部設置なし 　平成26年度は災害対策部、本部設置なし
2　0　1　5	平成27年	火　　災	1月13日17時30分覚知、秋田市向浜二丁目秋田船川港秋田区向浜岸壁に停泊していた、カンボジア王国船籍貨物船(総重量4,999ｔ)船そう内の積荷2,800梱包のうち、過半を超える単板が焼損した火災が発生した。 　1月22日17時00分鎮火　被害総額104,297千円
2　0　1　5	平成27年	火　　災	5月23日19時07分覚知、秋田市外旭川字中谷地32番地1ＭＱリゾート外旭川店で火災が発生した。 　同日22時30分鎮火　被害総額253,525千円
2　0　1　6	平成28年	火　　災	４月６日18時33分覚知、秋田市向浜一丁目の秋田プライウッド株式会社から出火、建物等を焼損した。 　４月８日７時40分鎮火　被害総額1,328,799千円
2　0　1　6	平成28年	竜　　巻	10月31日午後０時30分頃、八橋、泉中央地区および向浜地区において竜巻による被害が発生した。車両破損７台、建物被害は11棟、秋田市は災害警戒対策室を設置した。
2　0　1　6	平成28年	竜　　巻	11月８日13時30分頃、金足地区において竜巻による被害が発生した。建物被害は10棟、秋田市は災害警戒対策室を設置した。

西　　暦	年　　号	種　　別	記　　事
2　0　1　7	平成29年	大　　雨	7月22日から23日にかけて降り続いた記録的な大雨を受け、22日15時25分に秋田市災害警戒対策部が設置された。秋田市には土砂災害警戒情報が発表され、床上浸水154棟、床下浸水357棟、道路冠水128箇所、土砂崩れ213箇所の被害が発生し、農林関係の被害は20億円以上となった。市長は下浜、浜田地区全域、豊岩地区の一部、雄和地区全域、河辺地区の一部、下新城地区の一部、大住、仁井田、牛島地区の一部、太平地区の一部、柳田地区全域、広面、楢山地区の一部合計17,412世帯39,304人に対して、避難勧告を発令した。
2　0　1　8	平成30年	大　　雨	5月18日から19日にかけて降り続いた記録的な大雨を受け、18日16時30分に秋田市災害警戒対策部が設置された。秋田市には土砂災害警戒情報が発表され、床上浸水146棟、床下浸水232棟の被害が発生した。市長は下新城地区の一部、太平地区の一部、柳田地区全域、広面地区の一部、楢山地区の一部、横森地区の一部、金足地区の一部、仁井田地区の一部、御野場地区の一部、大住地区の一部、牛島地区の一部合計13,082世帯28,941人に対して、避難勧告を発令した。

令和元年６月１日　　印刷
令和元年６月１日　　発行

消　防　年　報

編集・発行
秋田市消防本部
〒０１０－０９５１
秋田市山王一丁目１番１号
電　話（０１８）８２３－４０００
ＦＡＸ（０１８）８２３－９００６